CBETA電子佛典集成

CBETA Chinese Electronic Tripitaka Collection

eBook

GA009n0008

# 重修普陀山志

明　周應賓撰

財團法人 佛教電子佛典基金會

# 目次


- 編輯說明
- 章節目次
  - 版本說明
  - 序
    - 重修普陀志叙
    - 補陀山志序
    - 重鋟補陀志序
  - 目錄
  - 宸翰
    - 敕諭
      - 皇帝敕諭普陀山寶陀禪寺住持及僧眾人等
      - 敕諭南海普陀山普陀寺住持及僧眾人等
      - 皇帝敕諭南海普陀山普陀寺住持及僧眾人等
    - 御製
      - 御製聖母印施佛藏經序
      - 御製新刊續入藏經序
      - 御製重建普陀寺碑
    - 普陀寺殿圖
  - 圖考
    - 序
    - 普陀山圖
    - 山圖十四幅
      - 山圖一之一：香爐山
      - 山圖一之二：飛沙磬
      - 山圖二之一
      - 山圖二之二：光熙峰
      - 山圖三之一：茶山、菩薩頂
      - 山圖三之二
      - 山圖四之一
      - 山圖四之二
      - 山圖五之一
      - 山圖五之二
      - 山圖六之一
      - 山圖六之二

        - 山圖七之一：仙人井
        - 山圖七之二
        - 山圖八之一：東天門、金沙灘
        - 山圖八之二：放生池、獅子岩
        - 山圖九之一：龍湾、普同塔
        - 山圖九之二：司基湾、善財礁、達磨峯
        - 山圖十之一：一葉扁舟、白華嶺、玉趣峯
        - 山圖十之二
        - 山圖十一之一：說法臺石
        - 山圖十一之二：磐陀石、二龜聽法石
        - 山圖十二之一：新螺礁
        - 山圖十二之二
        - 山圖十三之一
        - 山圖十三之二
        - 山圖十四：金鉢盂山、石牛港
    - 山水
        - 序
        - 山
            - 補陀洛伽山
            - 梵山
            - 金鉢盂山
            - 香爐花瓶山
            - 茶山
        - 峯
            - 金剛峯
            - 玉趣峯
            - 彌陀峯
            - 塔子峯
            - 達磨峯
            - 靈鷲峯
            - 妙應峯
            - 白衣峯
            - 觀音峯
            - 菩薩頂
            - 煉丹峯
            - 白華峯
            - 光熙峯
            - 會仙峰

- 巖
  - 獅子巖
  - 鷹嘴巖
  - 東方巖
  - 象巖
  - 佛手巖
  - 虎巖
  - 圓通巖
  - 玲瓏巖
  - 西方巖
- 洞
  - 潮音洞
  - 龍女洞
  - 金剛窟
  - 法華洞
  - 摩尼洞
- 嶺
  - 白華嶺
  - 栴檀嶺
  - 饑飽嶺
  - 圓通嶺
  - 青鼓嶺
  - 笑天獅
- 石
  - 磐陀石
  - 無畏石
  - 天篦石
  - 疊子石
  - 毛跳石
  - 求現臺
  - 觀
  - 佛牙石
  - 香爐石
  - 不二石
  - 真歇石
  - 巫山石
  - 西天門石
  - 東天門

- 海天佛國石
- 礁
  - 新螺礁
  - 善財礁
- 罨
  - 搗飯罨
  - 飛沙罨
- 沙
  - 千步沙
  - 金沙
- 地
  - 三摩地
- 洋
  - 蓮花洋
  - 東大洋
- 港
  - 石牛港
  - 白沙港
  - 箭港
- 池
  - 蓮花池
  - 放生池
  - 光明池
- 道頭
  - 短姑道頭
- 泉
  - 菩薩泉
  - 慧泉
  - 靈一泉
- 潭
  - 龍潭
  - 龜潭
- 井
  - 葛洪井
  - 仙人井
  - 金沙井
- 境
  - 清淨境

        - 空
        - 西方境
        - 藤蘿境
    - 街
        - 玉堂街
- 殿宇
    - 序
    - 敕建護國永壽普陀禪寺
    - 御製藏經序碑亭
    - 敕賜護國鎮海禪寺
    - 敕賜祝延聖壽磐陀禪院
    - 茶山靜室
        - 朝陽庵
        - 慧濟庵
        - 圓覺庵
        - 吉祥庵
        - 方廣庵
        - 琉璃庵
        - 法喜庵
        - 觀音庵
        - 梵音庵
        - 崇德庵
        - 湧泉庵
        - 華
        - 弘覺庵
        - 智勝庵
        - 圓應庵
        - 靈瑞庵
        - 雨華庵
    - 千步沙靜室
        - 禪那庵
        - 慧日庵
        - 金粟庵
        - 楊枝庵
        - 龍樹庵
        - 智度庵
        - 月印庵
        - 圓信庵

- 摩尼庵
- 雙泉庵
- 雪浪庵
- 伴雲庵
- 甘露庵
- 栴檀庵
- 般若
- 資福庵
- 廻龍庵
- 大悲庵
- 盤龍庵
- 清凉庵
- 海曙庵

- 磐陀石靜室
  - 圓通庵
  - 真歇庵
  - 海雲庵
  - 總靜室
  - 永勝
  - 寶函室
  - 脩竹
  - 白雲庵
  - 娑羅庵
  - 蓮華庵
  - 海印庵
  - 慈雲
  - 靈石庵
  - 大覺庵
  - 大慈庵
  - 靈芝庵
  - 清籟庵
  - 淞華庵
  - 西資庵
  - 金剛庵
  - 育恩院
  - 白華庵
  - 梅福庵
  - 盼鶴庵

        - 白象菴
        - 淨土庵
        - 積善庵
        - 韋馱寶殿
        - 顯聖庵
        - 三元殿
        - 隱秀庵
    - 規制
        - 序
        - 寺基
        - 山門
        - 天王殿
        - 圓通大殿
        - 藏經寶殿
        - 景命殿
        - 伽藍、祖師、彌勒、地藏四配殿
        - 配殿廊房
        - 天王殿左右廊房
        - 藏經殿左右廊房
        - 景命殿左右廂房
        - 景命殿左右羣房
        - 儀門前左右廊房
        - 儀門內露頂
        - 鐘皷樓二座
    - 建置
        - 序
        - 後梁
        - 宋
        - 元
        - 明
    - 靈異
        - 序
        - 唐文宗蛤蜊現觀音
        - 潮音洞前燔指見觀音
        - 菩薩像不肯去
        - 王舜封使三韓遇濤致禱解危
        - 劉逵使高麗遙叩寶陀解危
        - 黃龜年禮洞見瑞相

- 史浩潮音洞見異僧
- 宋孝宗夢遊補陀得異兆
- 顏顒仲禱雨輒應
- 張蓬山洞中見大士相
- 曹立洞中見大士相
- 王貴、伯顏蓮花洋中見靈異
- 短姑道頭現靈異
- 明代大士現靈異

◦ 頒賜
- 序
- 宋
- 元
- 明

◦ 命使
- 序
- 宋
  - 王貴
- 元
  - 李英
  - 孛羅
  - 魏也先
  - 太出
  - 李鐵木兒不花
  - 張蓬山
  - 法華奴
  - 帖閭
  - 曹立
- 明
  - 張本
  - 孟廷安
  - 趙永
  - 曹奉
  - 張隨
  - 王臣
  - 党禮
  - 張然

◦ 釋子
- 序

- 梁
  - 惠鍔
- 宋
  - 清了
  - 德韶
- 元
  - 如智
  - 如律
- 明
  - 行丕
  - 淡齋
  - 道誠
  - 圓錦
  - 真智
  - 明增
  - 真松
  - 真表
  - 真語
  - 真璧
  - 真海
  - 真
  - 如迥
  - 真遇
  - 真才
  - 真經
  - 如欽
  - 如讓
  - 如曜
  - 性能
  - 性空
  - 性海
  - 性寶
  - 性樂
  - 海鯨
  - 海相
  - 海筏
  - 真聡
  - 如弘

        - 性徹
        - 性璇
        - 性嶽
        - 海先
        - 性印
        - 性懋
        - 海福
        - 海灝
        - 性
        - 海寶
        - 鎮海寺真融
        - 如壽
        - 如德
        - 如誠
        - 如照
        - 如光
        - 如燈
        - 如碧
        - 如珂
        - 性賢
    - 高道
        - 秦　安期生
        - 漢　梅福
        - 晉　葛僊翁
        - 元　王天助
    - 物產
        - 序
        - 穀
        - 菜
        - 木
        - 果
        - 竹
        - 花
        - 藥
        - 鳥
        - 獸
        - 魚
        - 龜

- 蛇
- 藝文
  - 序
  - 雜著
    - 觀音大士讚
    - 留題寶陀禪寺碑偈
    - 觀世音菩薩補陀巖示現偈
    - 磐陀石觀日賦
    - 清淨境亭銘
    - 補陀山觀音偈
    - 吳郡康時萬等捐貲造印《妙法蓮華經》二十四部送南海補陀山寶陀禪寺供奉
  - 應制
    - 聖母印施藏經讚
    - 印《法華經》歌
    - 恭遇皇上奉聖母敕命賜南海寶陀寺藏經頌
    - 補陀觀音大士頌
    - 普陀寺募緣疏
    - 普陀山太子塔下藏零牙志
    - 禮普陀大士偈
    - 禮普陀大士偈
    - 補陀海潮寺開山大智禪師碑
    - 二大士傳
  - 事畧
    - 補陀洛迦山考
      - 序
      - 自在功德品
      - 洞宇封域品
      - 感應祥異品
      - 興建沿革品
    - 跋
    - 舊志序(　四篇)
      - 屠隆序
      - 劉尚志序
      - 汪應泰序
      - 侯繼高序
    - 甬東山水古蹟記
    - 昌國州寶陀寺記

- 補陀山碑記
- 重修補陀山寶陀禪寺記
- 補陀洛伽山記
- 渡海記事
- 普陀寺碑記

- 詩類一
  - 洛伽題咏
  - 遊補陀
  - 遊補陀
  - 夕泛海東尋梅岑山觀音洞遂登磐陀石望日出處（三首）
  - 遊補陀
  - 洛伽山望海（二首）
  - 寶陀禪寺漫興
  - 補陀山（四首）
  - 遊補陀
  - 禮洛伽山
  - 題補陀（二首）
  - 禮洛伽山（四首）
  - 遊寶陀寺
  - 夢遊補陀山
  - 遊補陀山
  - 登補陀
  - 題洛伽
  - 寄題補陀
  - 禮補陀大士八韻
  - 沈家門阻雨
  - 喜晴
  - 望補陀
  - 題洛伽
  - 題補陀
  - 寄題補陀
  - 龍女善財洞
  - 寶陀寺禮大士（二首）
  - 遊補陀（八首）
  - 補陀十二景
    - 梅灣春曉
    - 茶山夙霧
    - 古洞潮音

    - 龜潭寒碧
    - 天門清梵
    - 磐陀曉日
    - 千步金沙
    - 蓮洋午渡
    - 香爐翠靄
    - 鉢盂鴻灝
    - 洛伽燈火
    - 靜室茶烟
- 題補陀
- 夢遊補陀
- 潮音洞
- 題補陀
- 題補陀
- 題補陀
- 禮補陀山
- 題潮音洞
- 寶陀寺
- 遊補陀
- 題洛伽
- 題補陀
- 題補陀(　二首)
- 題補陀
- 再遊普陀
- 洛伽山
- 題補陀
- 潮音洞
- 磐陀石
- 遊補陀
- 題洛伽
- 題洛伽
- 海門望補陀
- 和家兄寄題補陀
- 潮音洞
- 遊靜室
- 題補陀
- 題補陀
- 寄題普陀

- 寄題補陀洛伽（ 二首）
- 題補陀
- 禮洛伽
- 登補陀山
- 題補陀
- 題鎮海寺
- 遊補陀山寺
- 題洛伽
- 題補陀
- 遊補陀山寺（ 十四首）
  - 遊補陀山寺
  - 其一
  - 梅灣春曉
  - 茶山夙霧
  - 古洞潮音
  - 龜潭寒碧
  - 天門清梵
  - 磐陀旭日
  - 千步金沙
  - 蓮洋午渡
  - 洛伽燈火
  - 香爐翠靄
  - 鉢盂鴻灝
  - 靜室茶烟
- 遊補陀山寺
- 題洛伽
- 題洛伽
- 題補陀
- 題洛伽
- 題洛伽
- 遊補陀
- 題洛伽
- 再守茲土重登普陀
- 渡蓮華洋
- 題洛伽
- 春日游補陀洛伽山
- 遊補陀
- 遊補陀

- 寄題補陀
- 遊補陀
- 今上敕賜護國鎮海禪寺奉題一首
- 題補陀(　四首)
- 題普陀
- 遊普陀長律八韻
- 題補陀洛伽山(　一首)
- 咏洛伽
- 謁補陀
- 渡海
- 禮洛伽山大士遍閱大海諸勝(　八首)
- 登白華山曲徑靜憩
- 初至普陀即景(　二首)
- 遊磐陀歸遇雨
- 雨中尋普陀諸勝
- 朝陽庵
- 晚晴見月偶述
- 望海
- 潮音洞
- 育恩院山石奇勝當為普陀諸靜室之冠
- 題普陀(　三首)
- 無邊禪師避靜磐陀石下以詩為贈
- 過禮補陀
- 舟過補陀
- 補陀十二詠
  - 梅灣春曉
  - 茶山宿霧
  - 古洞潮音
  - 龜潭寒碧
  - 天門清梵
  - 磐陀曉日
  - 千步金沙
  - 蓮洋午渡
  - 香爐晴靄
  - 鉢盂鴻灝
  - 洛伽燈火
  - 淨室茶烟
- 遊磐陀菴登點頭石之作

- 詩類二
  - 送僧禮普陀
  - 贈補陀僧
  - 贈一乘上人
  - 贈大智師
  - 贈大智師
  - 贈南海翠崖師
  - 補陀僧真語應詔入京受賜還山謁予鄂渚兼致緯真儀部書賦此為贈
  - 送無用法師禮五臺歌
  - 過海潮贈大智禪師
  - 竹菴師住持補陀賦贈
  - 寂菴上人歸補陀以二詩送之
  - 寂菴法師新廣常住寄贈（一首）
  - 送廓哉上人歸普陀
  - 贈竹菴師住補陀
  - 送烱侍者禮普陀
  - 竹菴上人自　闕還山賦贈
  - 贈敏菴上人
  - 江夏逢竹菴上人還補陀贈以四偈
  - 送忠公自楚禮普陀
  - 贈遜吾上人
  - 贈遜吾上人
  - 禮南海過無用師靜室
  - 贈翠崖上人
  - 贈僧遜吾詣闕還
  - 秋日送昱光上人還歸南海
  - 贈守拙上人
  - 贈遜吾上人
  - 贈寂菴法師
  - 一瓢行贈海潮玉田上人行脚
  - 廓哉上人陪遊補陀
  - 送了然上人歸補陀
  - 補陀潤渠昱光二上人行脚之燕訪余邸舍遂禮五臺賦此送之
  - 贈萬容上人
  - 贈三藏上人
  - 送補陀潤渠師自長安禮五臺
  - 贈守拙上人

- 昱光道兄禮五臺還南海為歌贈之
- 贈無邊上人
- 贈大乘上人
- 本行上人
- 寄萬容上人
- 三藏上人
- 贈昱光上人
- 無邊上人讚
- 贈大乘上人
- 送千如法師之補陀山
- 過普陀晤潤田諸兄作
- 潤渠法友禮五臺歸南海賦此贈之
- 春日歸普陀
- 同秘藏、休遠、慧舟禮南海
- 昱光上人自南海來清凉將圖南別賦此送之
- 贈玉峯上人
- 贈勝林法侶
- 補陀歌為勝林上人賦
- 同充菴師禮南海
- 贈大智師
- 贈守拙師
- 游補陀贈素明上人
- 贈補陀元初上人
- 禮補陀訪守拙師
- 贈浴界上人
- 守拙上人兼董補陀志成率爾為贈
- 題補陀并贈守拙上人
- 贈普光上人（二首）
- 贈守拙師
- 無窮上人索贈言示以二偈
- 贈奇峰上人
- 贈補陀山無邊上人
- 贈太空上人募塑諸大士像
- 初到普陀偕奇峰素明上人閱慈雲石次周君衡韻
- 遊白華山菴精舍為昱光上人題
- 將歸仍赴昱光精舍偕奇峰素明大願諸上人一齋而別
- 贈玉峰上人
- 題白華菴贈昱光禪師（一首）

- 贈白華菴昱光禪師
- 遊白華庵贈朗徹禪兄（二首）
  - 別白華菴朗公後阻風蓮花洋却寄
- 寄題洛伽
- 寄贈昱光禪師
- 白華庵方丈落成贈朗徹上人
- 白華菴贈朗徹上人
- 題洛伽山（二首）
- 宿白華菴訪贈朗徹禪師
- 游法華洞
- 題十二景
  - 梅湾春曉
  - 茶山夙霧
  - 古洞潮音
  - 龜潭寒碧
  - 天門清梵
  - 磐陀曉日
  - 千步金沙
  - 蓮洋午渡
  - 香爐翠靄
  - 鉢盂鴻灝
  - 洛伽燈火
  - 靜室茶烟
- 梅灣春曉
- 茶山夙霧
- 古洞潮音
- 龜潭寒碧
- 天門清梵
- 磐陀曉日
- 千步金沙
- 蓮洋午渡
- 香鑪翠靄
- 鉢盂鴻灝
- 洛伽燈火
- 靜室茶烟
- 題補陀（四首）
- 寄題補陀
- 禮普陀

        - 禮補陀
        - 贈守拙上人(　二首)
        - 贈守拙師
        - 送昱光上人歸南海
        - 普陀山寺鼎新住持迥公爰拜左善世之命　　賦此為贈
        - 贈寂菴上人
        - 妙用禪師西竺庵重題賦贈
- 卷目次
    - 1
    - 2
    - 3
    - 4
    - 5
    - 6
- 贊助資訊

# 編輯說明

- 本電子書以「CBETA 電子佛典集成 Version 2025.R3」為資料來源。
- 漢字呈現以 Unicode 3.0 為基礎，不在此範圍的字則採用組字式表達。
- 梵文悉曇字及蘭札字均採用羅馬轉寫字，如無轉寫字則提供字型圖檔。
- CBETA 對底本所做的修訂用字以紅色字元表示( 黑白色系版本則無顏色差別) 。
- 若有發現任何問題，歡迎來函 service@cbeta.org 回報。
- 版權所有，歡迎自由流通，但禁止營利使用。

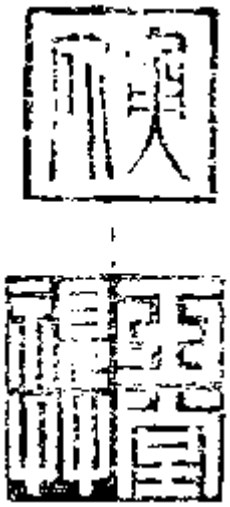
普陀山，原名「小白華」，梵稱「普陀洛迦」，又作補陀洛迦、補陁洛伽、補怛洛伽、補陀羅伽，皆梵語翻譯之異文也。山位於浙江定海東南海中，距治東百里許。其山境，東盡青鼓壘，西盡風洞嘴，南盡短姑道頭，北盡伏龍山，周遭屈曲百里。唐以前，傳為梅子真、葛稚川之寄隱；又傳於宣宗大中間，有天竺僧來，卽洞中燔盡十指，親睹觀音，與說妙法，授以七色寶石。自五代梁貞明二年（九一六）建「不肯去院」，而法址始開。自宋神宗元豐三年（一〇八〇）敕建寶陀寺，而香灺始盛。自高宗紹興元年（一一三一），真歇建海岸孤處，易律為禪。厥後歷元明清三代，經各代高僧之經營，梵剎林立，為中國佛教之聖地，與峨眉、五臺、九華，合稱四大名山，素有「海天佛國」之稱，為觀音大士之道場。論其聲望，又遠非他山所能及也。其梵剎主寺有三：普濟禪寺，舊傳為梁不肯去觀音院；法雨禪寺，始於明萬曆八年（一五八〇）麻城僧大智所建之「海潮庵」；慧濟禪寺，始於明僧圓慧所建之「慧濟庵」。其餘精藍近百，庵堂無數，號稱佛國，洵不虛也。記錄普陀者，舊有元龜茲盛熙明撰《補陀洛迦山傳》，今存一卷；明侯繼高始撰山志，惜未通行。至萬曆間，周應賓以《侯志》重山而略於寺，乃為重修，釐為六卷，分為十二門：宸翰、圖考、山水、殿宇、規制、建制、靈異、頒賜、命使、釋子、物產、藝文。宸翰收敕諭四通、御製序文二首，皆萬曆年間明神宗所撰也。體例尚稱嚴謹，搜羅亦頗宏富，有為後志所不及者。是志刊於萬曆間，流通不廣，民國十二年（一九二三）王亨彥修新志時亦不得見。茲據國立中央圖書館代管北平圖書館所藏明萬曆三十五年（一六〇七）太監張隨原刊本景印。

## 重修普陀志叙

普陀故有志，茲載輯者何？重鼎新也。志者，所以彰往示來也。惟是山川式靈，又重之以王命，其再造也，將必有廢興之迹焉，雖載輯之可也。夫表東海者，非普陀也耶？僻在一隅，不比中原逶麗，然而四大之一也。天傾西北，聖主御焉；地絕東南，古佛出焉。神道設教，聖人不廢，是宸翰所護持也，曷可泯諸？盖補陀古剎也，興而廢、廢而興者數矣。是舉也，其鏹發諸內帑，其工督諸內遣，維壇宇依如，維名與制煥如，是廢興一大際會也，故曰：「雖載輯之可也。」志凡為卷者五，為類者十有七，纂撮於諸文學之手，而不佞裁焉。前志重在山，要以顯佛靈；今志重在寺，要以尊君賦。是是編之大指也，敬表而敘之。

萬曆丁未四月既望，

東海外史周應賓識



補陀山志序

不佞嘗[弓*夕]之圖記，補怛洛伽山與峩眉、五臺鼎峙寰宇，而靈秀之氣，尤鍾於洛伽。蓋東南之勝，不徒以丹山赤水著矣。昔觀音大士以耳根圓通證無漏果，而紫竹栴林實善財與諸大菩薩環遶說法之地，則寶陀古剎洵海外之靈壤而方中之奧區也。其山僻在窮島，海天萬里，吞吐日月，出沒魚龍。每一騁望，則扶桑若木，近在几席間。琳宮梵宇，金碧輝煌，寶座法身，靈異桴鼓，普門示現，皈依者遍遐荒焉。先是，殿宇燬于祝融，聖上不費水衡金錢，特捐內帑，遣張中官銜命鼎新之。天冠瓔珞，諸佛之瑞相儼然；碧瓦朱甍，東土之精藍更偉。且也加意蔵教，契志玄宗；函經降自宮庭，梵策頒於禁苑。以內典之清淨，羽翼[但-日+木]明；以祝釐之道場，迓衡純祜，猗歟盛矣！名山護法，先後作慈氏津梁，則有若周少宰、屠儀部、沈符卿，或紀其形勝，或闡其密蔵，或勒之[王*貞]珉，或形之歌咏。幸哉山靈，若被以九錫；而校讐之役，則屠生與有力焉。余[泳-永+芝]懷五來吏茲土，為簿書所束。遙望小白華，鬱蔥佳氣，亭亭如盖。尚未得揚颿金鉢，一盪滌其塵襟，擘結其勝槩；適志成，敬以數言，序其首簡，庶幾以當宗生臥遊。若曰品題名剎，照映簡編，則余不佞豈敢！

萬曆丁未孟夏，

賜進士第定海令芠潛樊王家撰





## 重鋟補陀志序

補陀為祝延名山，皈依大士。白華載於內典，黑龍咒於唄音。故無志也，志鋟於侯大將軍，以汛海選勝也。維時與吾乏二三居士，罥弋見聞，凡形勝、宮室、紀碣、詠彝，繇唐迄今表表者，彙列成帙，嗣且再之三之矣。余不敏，受讀，質以所聞，父老言：「一登彼岸，知補陀岨懸海上，去邑二百里而遙，外控諸夷，先朝貢舶孔道也。」然而代有隆替，則時為政，抑地劫會逢，非大士慈靈代為覺迷也！

今上道揆在宥，皇極建中，而支流餘裔無不受之。迺廣孝治，奉兩宮慈旨，念力南海大士，遣中使頒經披繡，祝延萬年而庇之民。海上無大兵革，於茲三紀矣，而內地屢豐安堵，自無疵癘，孰效靈是？識者謂疇昔之替，良由此山鮮膏壤食土，檀越四方，其緇黃游集，動以千計，不無逋藪也者。甚而假途譸幻，然指槃肉，至於捨身洞崖，慘烈弗恤。普門之法不立，僻隅之區為阱，慧戒方之左矣。以而夷訌兵燹，或回祿見於中宵，天馮人孽，謂時政地劫也乎哉！邇者當道禁詰，召名僧主住，式定莊嚴。既以一洗習障，而內外剎素不相能者，亦齋心輯志，同奉綸綍為兢兢。勒石頌德，則補陀洵一淨土也。福國庇民，響應蓍蔡，夫豈冥冥而決懺籙者哉？是則大士靈也。抑何以故？先是歲己亥，前殿灾，甍礎具燼，獨大士金相自若，而護法關神亦不毀，此其故可曙已！今茲屢廑詔諭，中使毖飭，鼎新厥宇。告竣也，宜哉。矧其時汛舳艫，諸島防援，賈相望于滄溟，鯨鯢無敢動焉。此寔我皇靈伊濯，孝慈昭假，而大士如為助流宣化也。志補陀者，儻亦遵揚風美意乎？故曰：事不軌物者，則君不舉焉；言不微中者，則臣不獻焉。苟其持之有故，言之成理，君子嘗樂道之矣。然則是刻也，謂之孝慈志也可，謂之軍志、治安志也可。謹拜手序。成志者，寺僧性能也，併書之。





邑人邵輔忠撰

普陀山志目錄


卷之一
宸翰
敕諭
御製
卷之二
圖考
山水
殿宇
規制
建制
靈異
頒賜
命使
釋子(仙附)
物産
卷之三
藝文
雜著
卷之四
事畧
卷之五
詩類


普陀山志卷一

宸翰

## 敕諭四通

### 皇帝敕諭普陀山寶陀禪寺住持及僧眾人等

朕惟佛氏之教具在經典，用以化導善類，覺悟羣迷，于護國佑民不為無助。茲者聖母慈聖宣文明肅皇太后命工刊印《續入藏經》四十一函，并舊刻藏經六百三十七函，通行頒布本寺。爾等務須莊嚴持誦，尊奉珍藏，不許諸色人等，故行褻玩，致有遺失損壞。特賜護持，以垂永久。欽哉，故諭。

廣運

大明萬曆十四年三月　日之寶

### 敕諭南海普陀山普陀寺住持及僧眾人等

朕發誠心，印造佛大藏經，頒施在京及天下名山寺院供奉，經首護敕已諭其由。爾住持及僧眾人等，務要處潔供安，朝夕禮誦，保安眇躬康泰，宮壺肅清。懺已往愆尤，祈無疆壽福，民安國泰，天下太平。俾四海八方同歸仁慈善教，朕成恭己無為之治道焉。今特差內漢經廠掌壇御馬監太監趙永，齎請前去彼處安供，各宜仰體知悉。欽哉，故諭。

廣運

大明萬曆二十七年二月初十日之寶

### 皇帝敕諭南海普陀山普陀寺住持及僧眾人等

朕惟自古帝王以儒道治天下，而儒術之外，復有釋教相翼並行。朕以冲昧嗣承大統，迄今廿有七禩，天下和平，臣民樂業。仰思天眷，祖德洪庇，良繇大公同善之因。况國初建置僧録司，職掌厥事。蓋仁慈清淨，其功德不殊；神道設教，于化誘為易；祖宗睿謨，意深遠矣。佛氏藏經，舊刻六百三十七函，我聖母慈聖宣文明肅皇太后續刻四十一函。朕既恭序其端，而又因通行印施，序其前後，敕諭護持，所以錫孝類、流慈恩也。茲者朕嘉善道之可依，念傳布之未廣，爰命所司印造全藏六百七十八函，施捨在京及天下名山寺院，永垂不朽。庶表朕敬天法祖之意、弘仁普濟之誠，使海宇共享無為之福。先民有言：「一念思善，和風慶雲；一念不善，災星厲氣。」夫善念以有感而興，無感而懈。是以皇極敷言，不厭諄

懇；聖喆所貴，善與人同。古今相傳，其揆一也。且善在一人，尚萃一家和氣；若億兆嚮善，豈不四海太和？此經頒布之處，本寺僧眾人等，其務齋心禮誦，敬奉珍藏，不許褻玩，致有毀。特賜護敕，以垂永久。欽哉，故諭。

廣運

大明萬曆二十七年二月　　日之寶

## 御製佛藏經序文（二首）

### 御製聖母印施佛藏經序

朕聞儒術之外，釋氏有作，以虛無為宗旨，以濟度為妙用，其真詮密微，其法[泳-永+(瓜-、)]闕演。貞觀而後，代譯歲增，兼總羣言，苞裹八極，貝葉有所不盡，龍藏有所難窮。惟茲藏經，繕始于永樂庚子，梓成于正統庚申。由大乘般若以下，計六百三十七函。我聖母慈聖宣文明肅皇太后又益以《華嚴玄談》以下四十一函，而釋典大備。夫一心生萬法，萬法歸一心。諸佛心印，人人具足。勸善覺迷，諸苦解脫。一覺一善，皆資勝因。是以聞其風者，億兆為之翕習；慕其教者，賢愚靡不歸依。則知刑賞所及，權衡制之；刑賞所不及，善法牖之。蓋生成之表，別有陶冶矣。先師素王亦云：聖人神道以設教，善世而博化。諦觀象教，詎不信然？恭惟聖母濬發弘願，普濟羣倫，遂托忠誠誘善，勤侍傳宣，廣修眾因。乃印禪經，布施淨土；兼立梵宇，齋施僧倫。成修寶塔，立豎於虛空；繪塑金容，散捨於大地。濟貧扳苦，召赦孤幽；無善不作，無德不備。證三身于此世今生，明四智于六通心地。普惠雲興，普賢瓶瀉。大垂玄澤，甘露雨灑于三千；徧覆慈雲，法雨滋培于百億。無微無鉅，咸受益而蒙榮；有性有生，盡飡穌而飲惠。俾福利之田，與人同樂；仁壽之域，舉世咸登。如是功德，一切善言之讚歎，一切善氣之導凝，我聖母延齡，如天永永；我國家保泰，降福穰穰矣。於乎盛哉！大覺之教，宜其超九流而處尊，偕三五以傳遠也！

### 御製新刊續入藏經序

續入藏經四十一函，起《華嚴玄談會玄記》，至《第一希有大功德經》，記四百一十卷，此我聖母慈聖宣文明肅皇太后所命刻也。朕惟釋教東流，經典遞譯，函卷繁富極矣。我聖母躬體聖善，坐撫昇平，密契心乘，力修聖果。因復假筏迷津，施航覺海，續增

茲典，聿廣義宗，德意甚盛。載惟經世、出世，厥用夐殊；然其立教，以明心見性為宗，以慈悲喜捨為用，以嗔愛婬殺為戒，以戒定禪寂為門。大都使人破塵妄之迷，以印妙圓之體；惕罪報之由，以脩慈善之根；悟未來之因，以減現在之業。此其覺人濟物、勝殘去殺之功，於吾聖治不為無助。故經謂：「莊嚴施之周於沙界，不若一經一偈流布之功。」然則聖母慈命，真可謂續慧燄於昏衢，普慈雲於陰界，延佑宗社，種福人天，不可思議者矣。若乃梁魏隋唐之主，傾國貲以崇像餙，瘠齊民以奉緇流，殊戾釋氏本旨，朕所不取，亦非我聖母流布是經之意。是為序。

慈聖宣
文明肅
大明萬曆十四年三月　　日
皇太后寶

## 御製重建普陀寺碑

朕御寓三十有四載，嘉與海內臣民，咸用康乂。一切嶽瀆諸祀，不踈不數，用以寧吾民而徵信於神。惟是聖母慈聖宣文明肅貞壽端獻恭熹皇太后，含純懿之真性，秉慧覺之上資，諸所焚修祝釐、護國保民者，朕一一欽承，無所愛惜。先是，南海普陀寺毀於祝融，我聖母惻然發念，欲緣故址而鼎新焉。朕仰承慈諭，無騷民，無煩將作，無費水衡金錢，蓋默示以愛護蒼生、綿延國脉至意。朕益用祗承，首捐內帑。其自朕躬而下，悉輸誠發願，以次助施。遣官督建，迄今落成，而聖母喜可知也。因題額名

「大明敕建護國永壽普陀禪寺」。寺在洛伽山頂，大海波心，是觀音大士說法道場、顯靈應處也。大士圓通三昧，普照十方，三十二應身隨處變現，十四種功德不可思維，朕無所庸其讚歎。第白馬開緣，赤烏建剎，雨花靈鷲，在在有之，而海上最著。蓋其慈悲大旨，普度法門，不可以意智得，不可以聲色求。遠而彌尊，近而難即，離此苦海便登彼岸，指點最為真切。其密證了義，則有望洋已耳。夫惟修之默默，應之昭昭，禔福在宮中，靈感在海外，有若響答然者。即今聖母燕喜，天錫難老；朕荷茲百祿，延及孫子以至萬邦黎庶，海寓宴然。良由聖力護持，神功默祐，非偶爾也。嗟乎！莊嚴妙相，今古皈依；功成而不擾，教尊而不瀆。則今日盛事，與前代瘠民佞佛者大有間矣。工起于

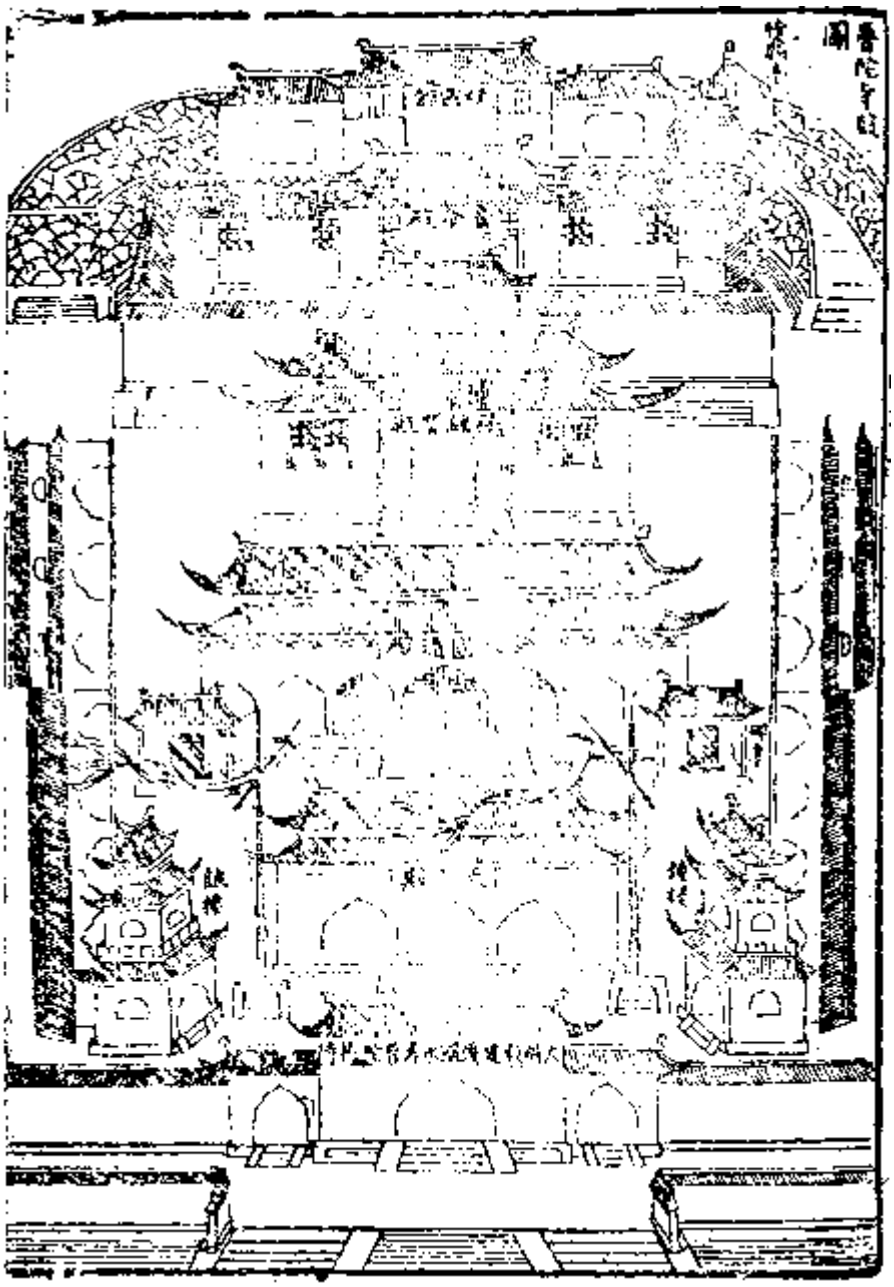
萬曆三十年七月二十七日，迄于

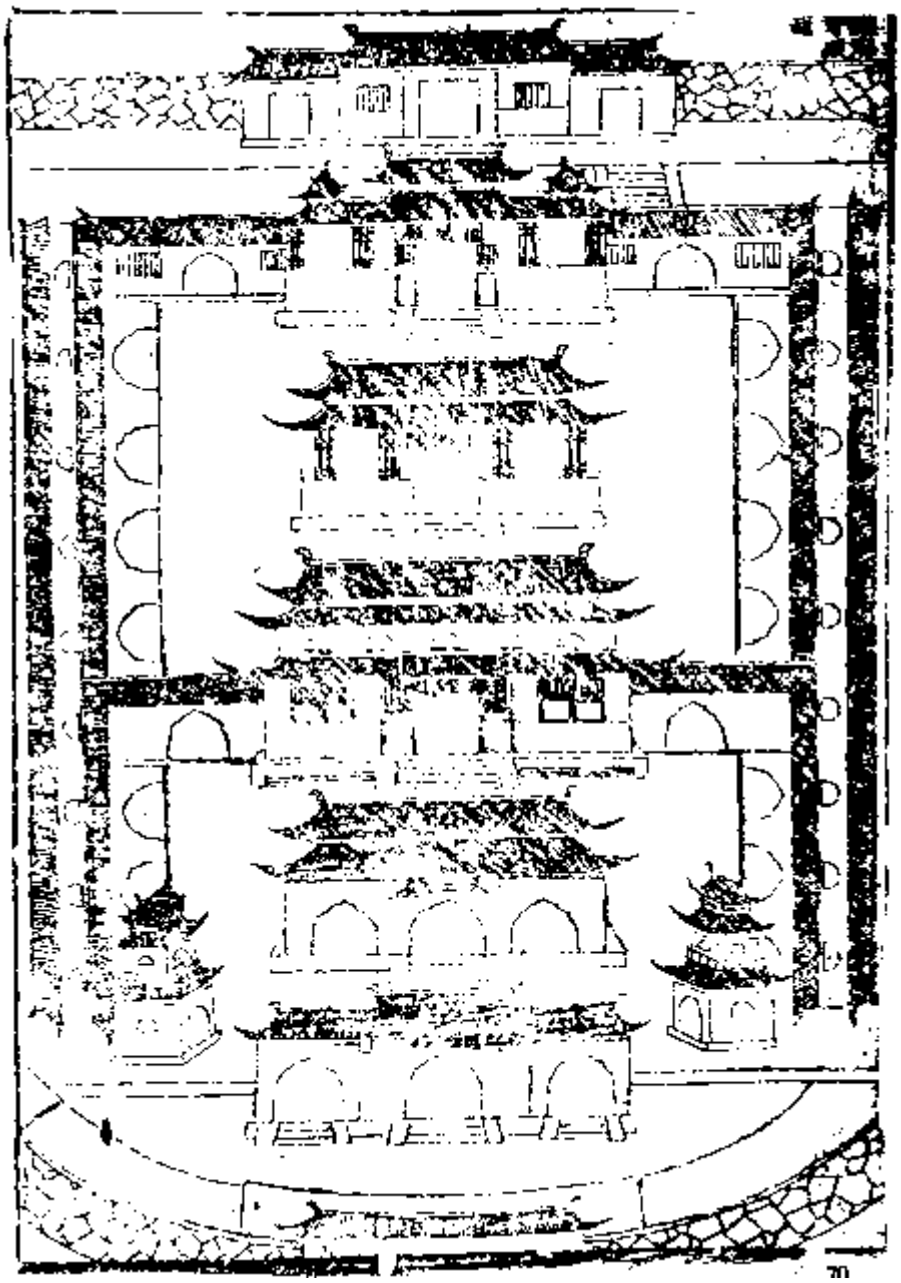
萬曆三十五年三月十五日。是用勒石鑄詞，使羣臣百姓咸知朕奉揚聖母德意，且以昭示傳諸不朽云。銘曰：

茫茫萬有　慾愛同纏
業風振海　識浪滔天
惟此苦海　千古渺瀰
彼岸寥廓　竟渡其誰
如來法身　累劫修行
妙通圓明　反照見性
慈悲廣大　功力無邊
破昏揭暗　慧炬高懸
音聲萬億　遙入我觀
由聞起見　尋根窮端
所見非目　所聞非耳
靡有見聞　詎有我彼
恒河世界　悉歸掌輪
隨願畀福　隨溺拯津
如汲海水　罇盎具足
滄溟不虧　人飲滿欲
如月印川　萬壑皆圓
清光不減　皎皎中天
洛伽浮空　瀛波旋繞
梵宮蔚起　翹望雲表
大士耀靈　遐邇傾就
貴賤聖凡　拜禮恐後
猗我聖母　心契大慈
願言錫祚　以保羣黎
予承慈訓　啟我覺慧
如天好生　聿嘉二帝
載培國脉　瓜瓞綿延
與天同久　億萬斯年

大明萬曆三十五年四月二十一日，欽差督工・內漢經廠・焚修祝釐・御用監太監張隨奉旨謹立

## 普陀寺殿圖





普陀山志卷二

郡人吏部侍郎周應賓纂輯

尚寶司丞沈泰鴻校正

邑人刑部主事邵輔忠同校

文安御用監太監張　隨梓行

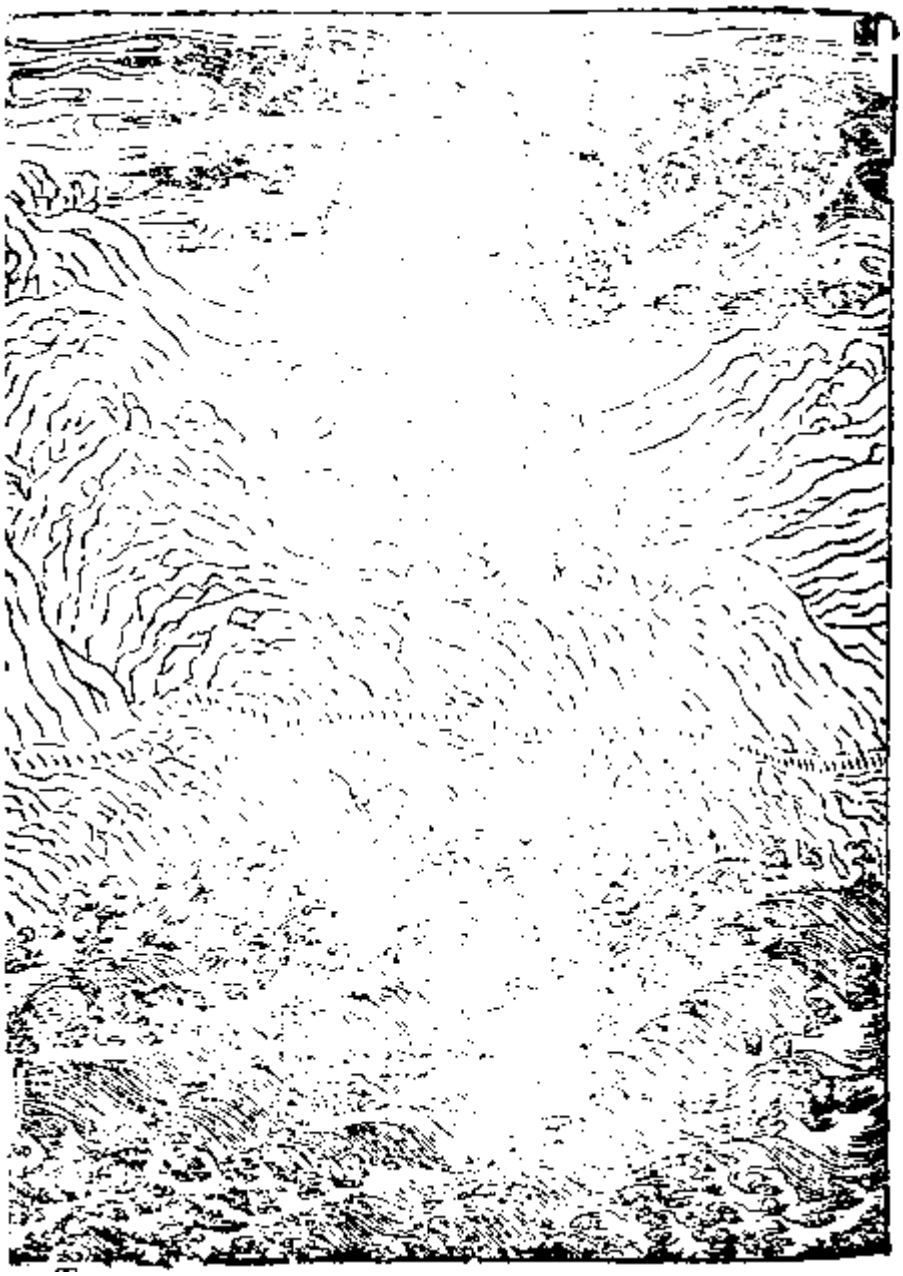
## 圖考

古九州之域，蓋鑄諸鼎。今白華固海上靈境，將必有天造地設者，非圖何以傳大千？若曰「苦海無邊，回頭是岸；有形皆壞，不爛虛空」，則何必不白華？何必白華？此山此圖，一齊掃却！志圖考。

### 普陀山圖





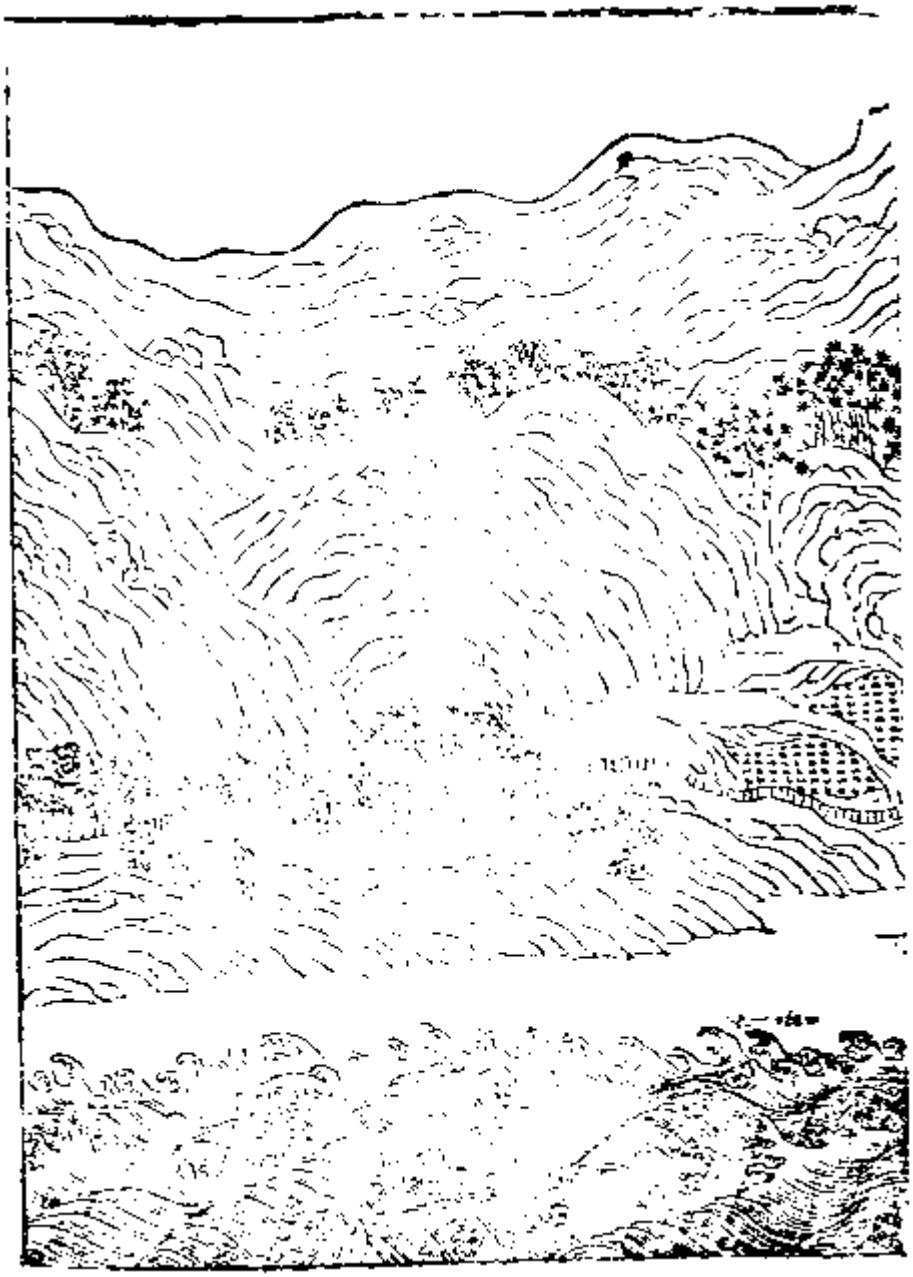












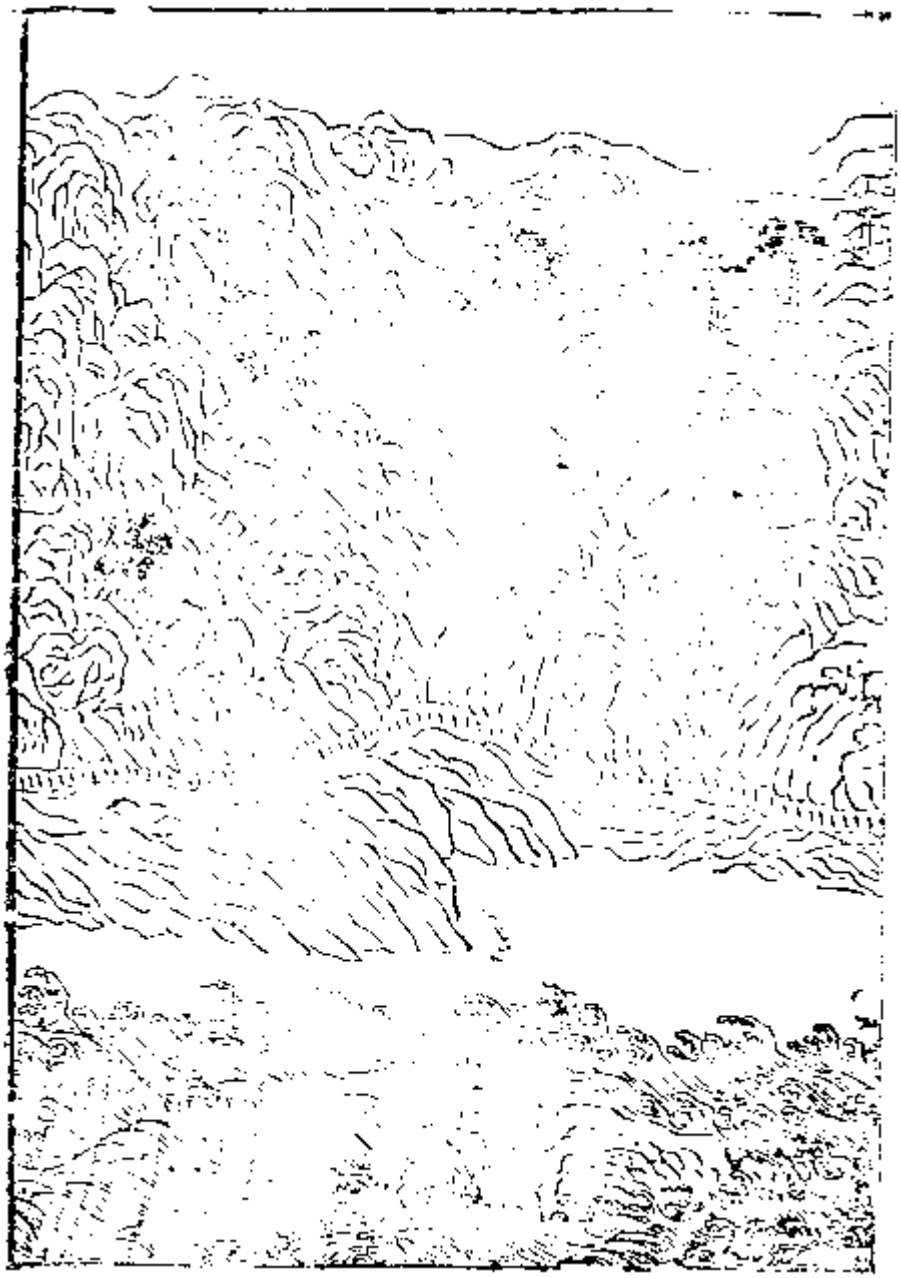






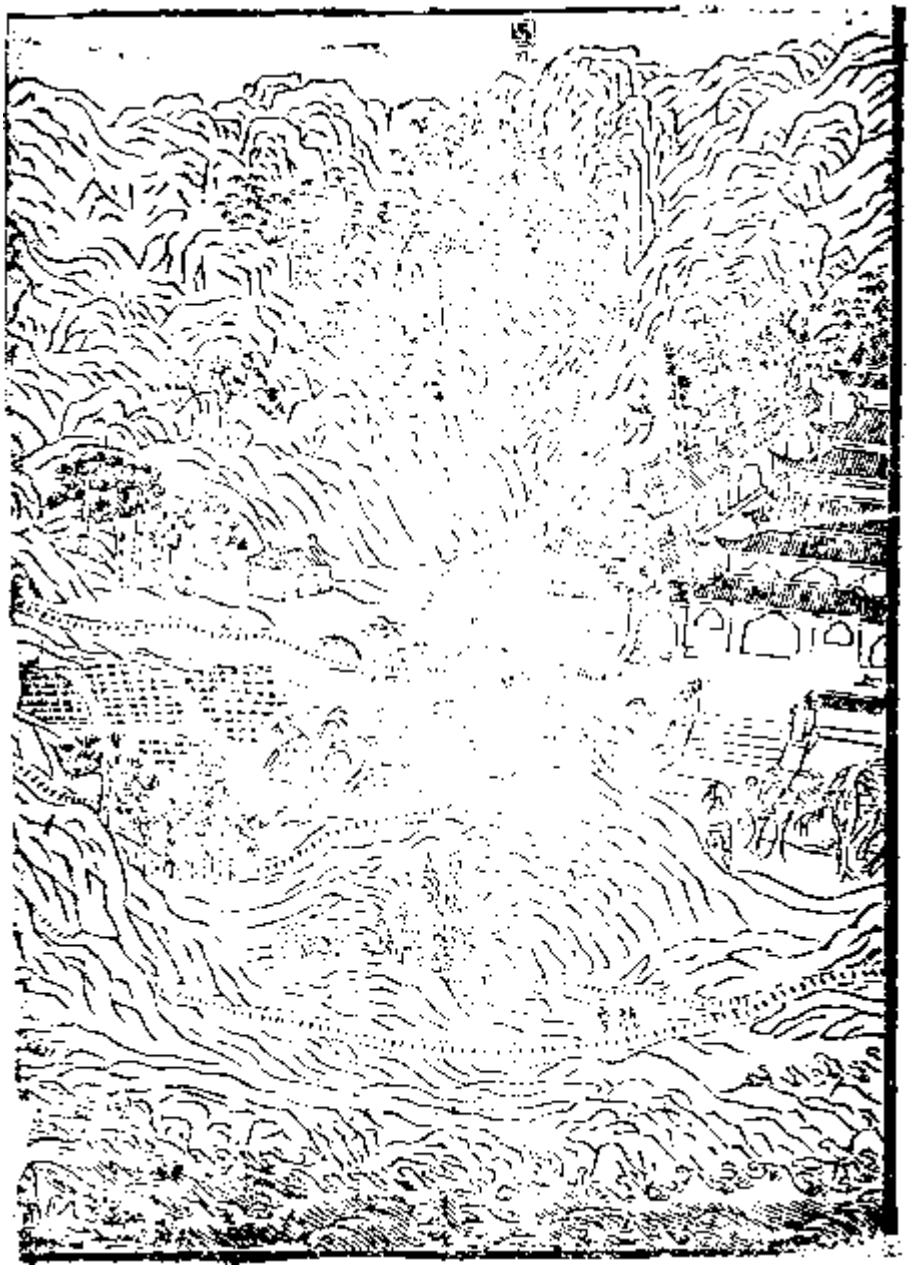


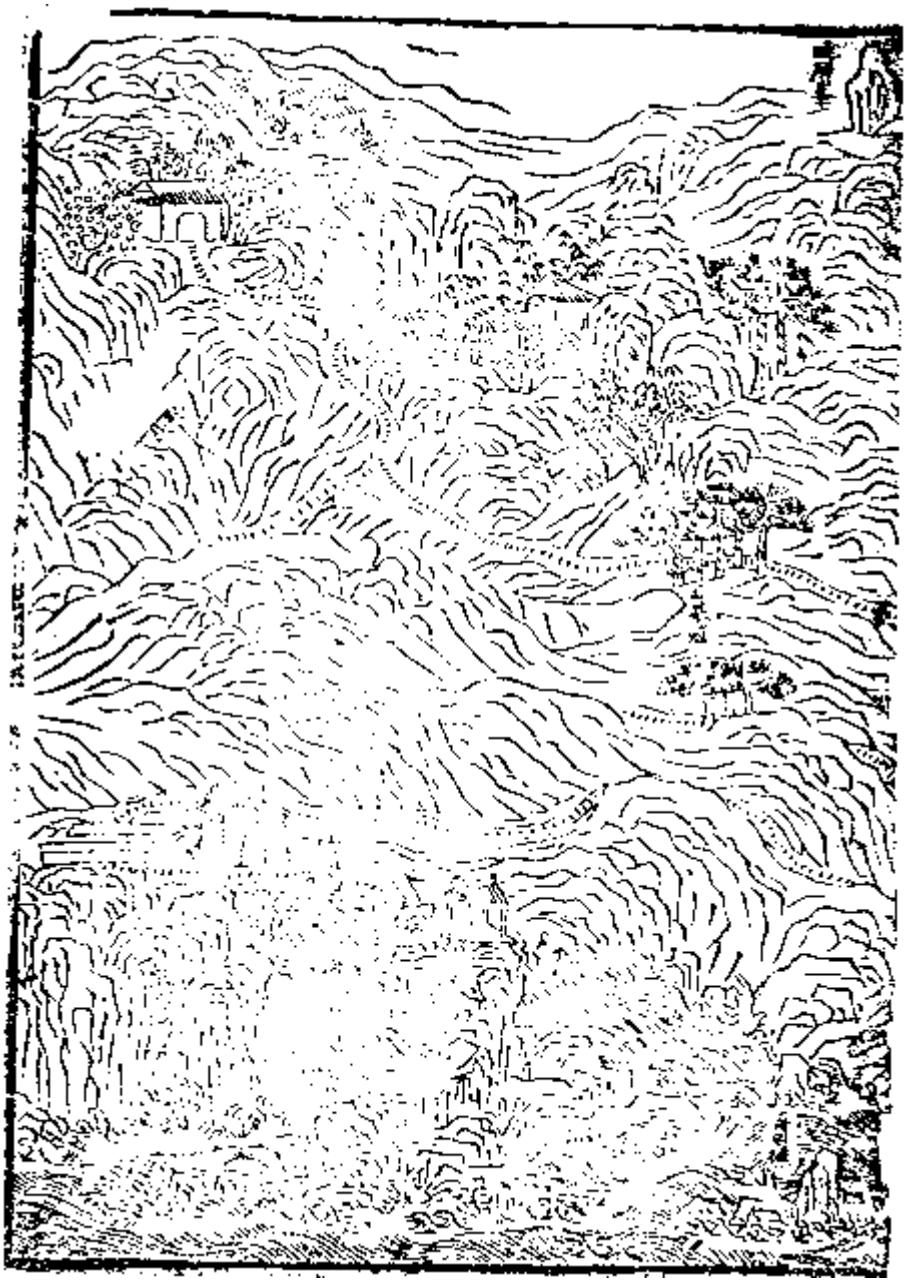


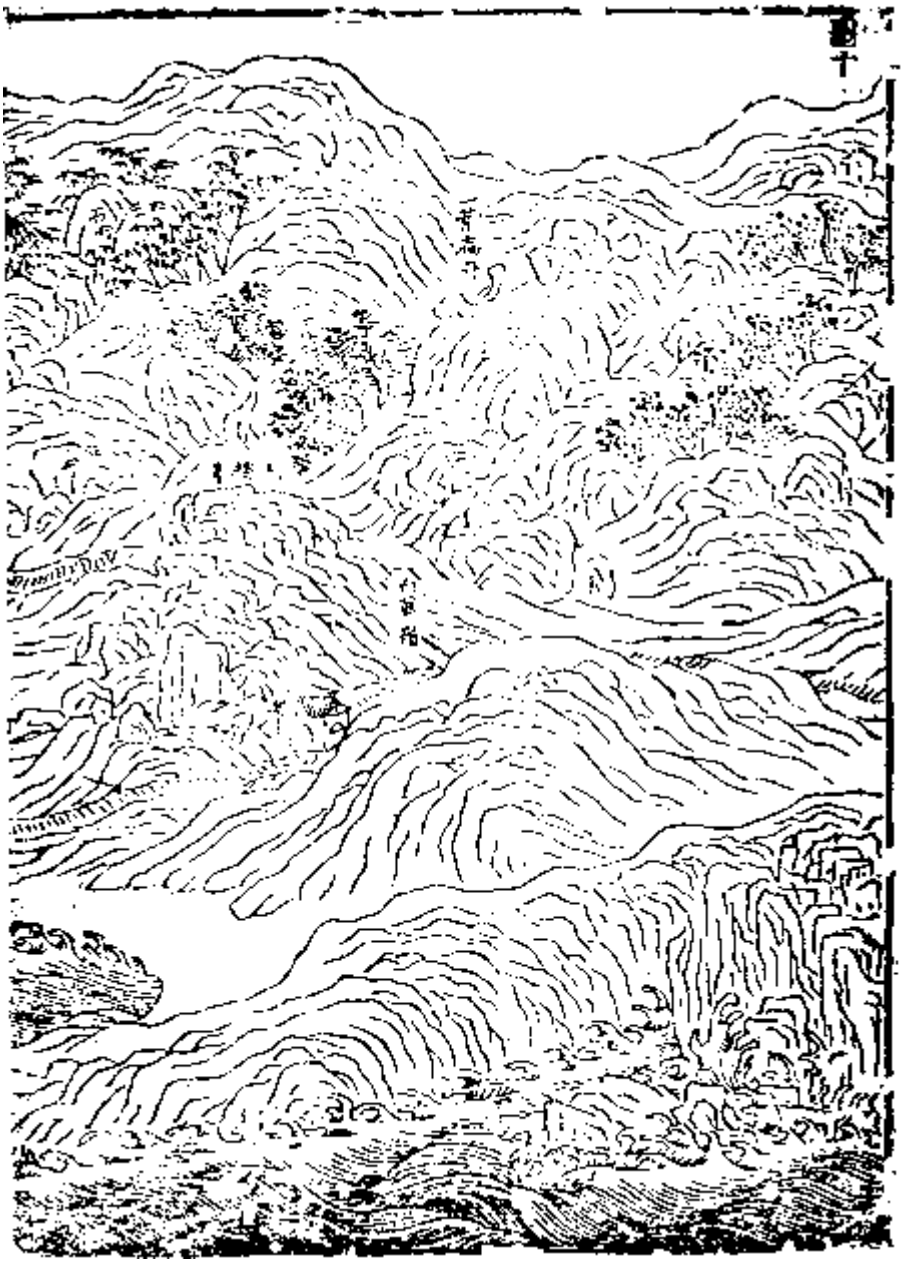


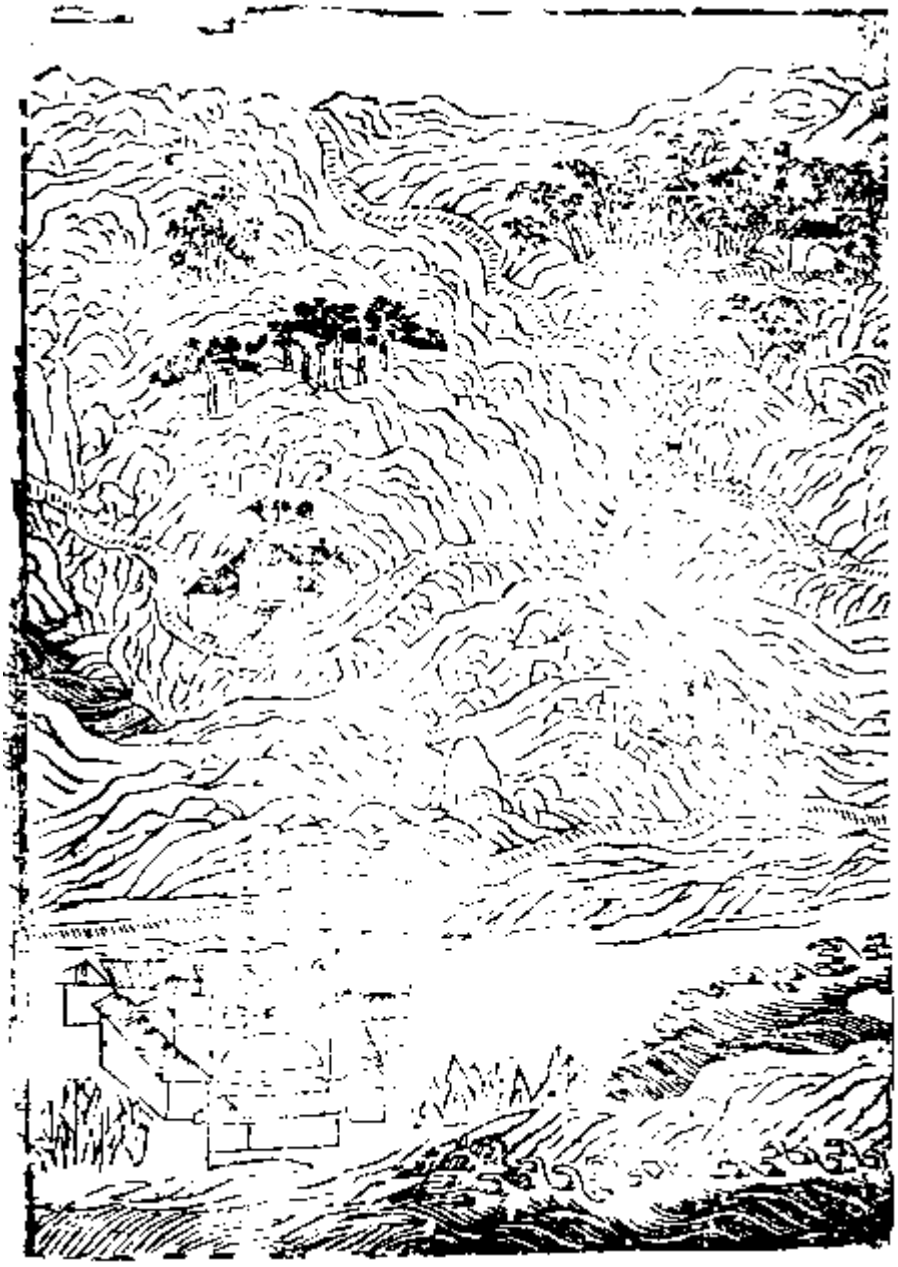


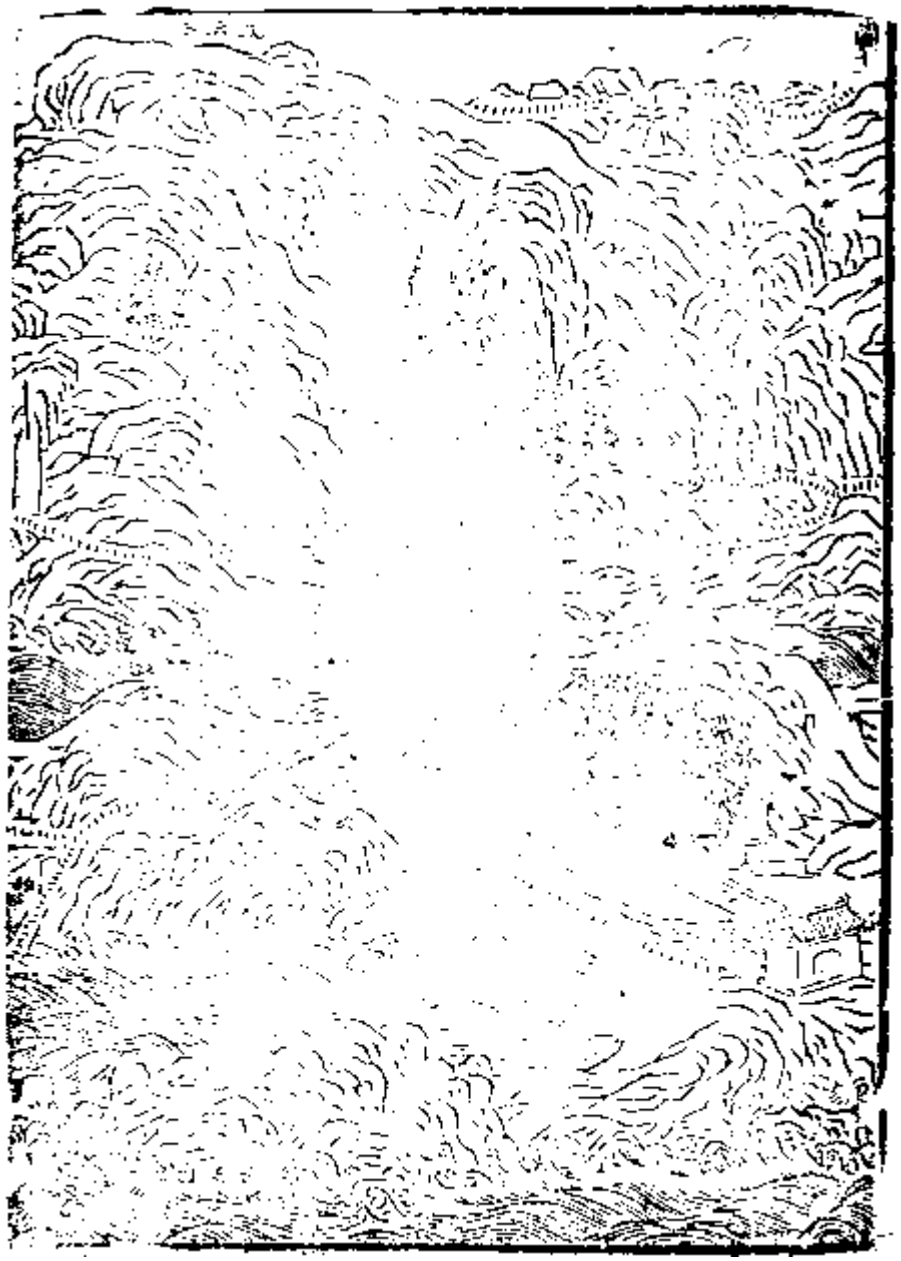




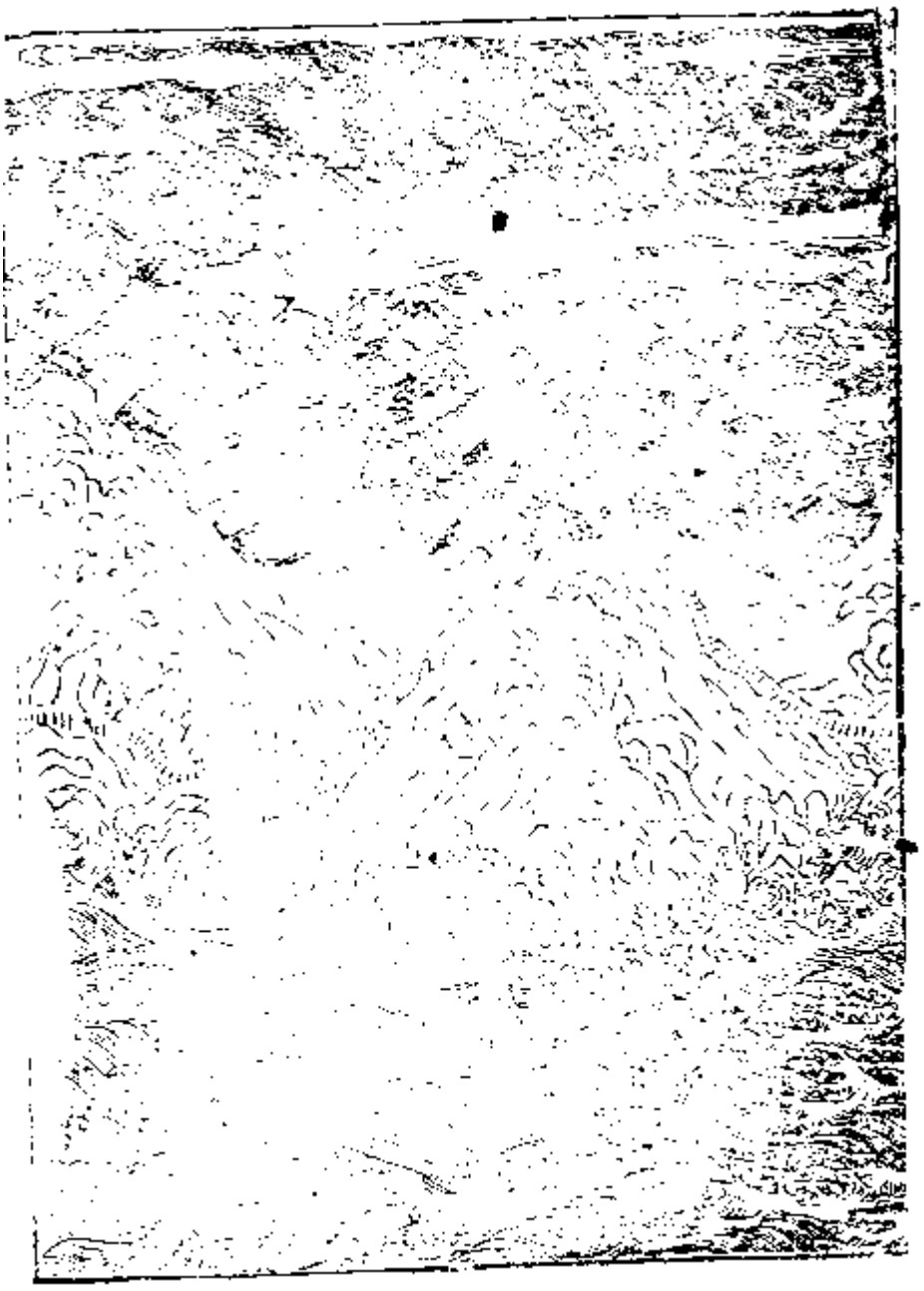


















山水

夫丹山赤水蚤有譽於東南，豈洛伽猶淹海外邪？夫以孤絕之區，滌蕩雲日，斯已奇矣，况仙釋之所棲靈乎！顧瞻南詢處，石巘如環，遙望大洋，縹[緲-目+耳]桑壺在焉，可不謂另一天界哉？讀《山海經》，惜乎其未廣也。志山水。

補陀洛伽山

在昌國東海中，今屬定海縣，去郡城約三百里，去縣約二百餘里。山週圍約四十餘里，東望小洛伽山，南望月嵏山，西望舟山，北望霍山。「補陀洛伽」，蓋梵名也，華言「小白華」。《華嚴經》所云「補怛洛迦」，乃善財第二十八叅觀音菩薩說法處。又《傳記》稱「東大洋西紫竹旃檀林」者是也。又扁「海岸孤絕處」。一名「梅岑」，以梅子真於此煉藥，故名。元吳萊、明屠隆作記。

### 梵山

寺南案山也。舊有路通行人，堪輿者以為龍首不宜踐傷，督造張隨令栽松竹，立石示禁。

### 金鉢盂山

在寺西蓮花洋中。

### 香爐花瓶山

在寺東大洋中，以似得名。

### 茶山

在寺東方巖北。

### 金剛峯

在白華嶺西。

### 玉趣峯

在太子塔右。

### 彌陀峯

在塔子峯西。

### 塔子峯

在西天門下。

### 達磨峯

在西天門上，一名「羅漢石」，元趙孟頫題曰「瀛洲界石」。

### 靈鷲峯

在妙應峯西。

### 妙應峯

在白衣峯西。

### 白衣峯

在東天門上。

### 觀音峯

在無畏石後。

### 菩薩頂

在茶山上，諸峯之最高者。

### 煉丹峯

在饑飽嶺，梅福嘗煉丹于此，有「梅公鼎」。

### 白華峯

在三官堂左，督造張隨題「復承　上」。

### 光熙峯

在鎮海寺後。

**會仙峰**

在育恩院前，勾章錢維翰題。

**獅子巖**

在寺南，太子塔前。

**鷹嘴巖**

在摩尼洞北。

**東方巖**

在茶山前。

**象巖**

在無畏石前。

**佛手巖**

在觀音峯下。

**虎巖**

在東天門東。

**圓通巖**

在司基灣東。

**玲瓏巖**

在金剛窟西。

**西方巖**

在圓通巖西。

### 潮音洞

在東大洋海西，西大洋海南，菩薩嘗顯見處，四顧無畔，岸上有穴可俯而觀，名「天窓」。詳見〈靈異志〉。

### 龍女洞

在潮音洞，亦神通所現。外有石壁立，中窅不可測。

### 金剛窟

在寺西幽靜灣上，有洞如室，冬溫夏涼。

### 法華洞

在寺東，上有高峯，總兵李應詔題「東南天柱」。

### 摩尼洞

在天篦東。

### 白華嶺

在玉趣峯下。

### 栴檀嶺

在寺東南。

### 饑飽嶺

在寺左。

### 圓通嶺

在靈鷲峯下。

### 青鼓嶺

在鎮海寺東。

### 笑天獅

子嶺

在青鼓嶺北。

### 磐陀石

一名「金剛石」，在西天門西，相傳大士說法處。舊有二龜至石下聽法，遂化為石，其形尚存。又有石五十三塊環向磐陀，今呼為「五十三叅石」。磐陀之上最平廣，可容百餘人。下臨大海，東望扶桑，燭龍將駕，天光爛然，須臾紅輪從海底湧出。

### 無畏石

在佛手巖。突然一石，其形方廣而險峻，若傾不可跨。

### 天篦石

在摩尼洞西。

### 疊子石

在佛手巖南。

### 毛跳石

在求現臺東。

### 求現臺

在潮音洞前，有階可登，亦人瞻禮之地。

### 觀

音跳石

在龍女洞西。

### 佛牙石

在寺西。

### 香爐石

在圓通巖後。

### 不二石

在磐陀東，郡人沈一本題。

### 真歇石

在寺東深處，舊有庵，相傳真歇了禪師脩道于此。

### 巫山石

在寺後，少卿涂杰題。

### 西天門石

在金剛窟西，總兵李承勛題「振衣濯足」。

### 東天門

在白衣峯南。

### 海天佛國石

在鎮海寺東北，總兵侯繼高題寫。

### 新螺礁

在石牛港口大洋。

### 善財礁

在潮音洞前大洋，相傳為善財叅大士處。

### 搗飯罅

在觀音跳石西。

### 飛沙罅

在鎮海寺東。

### 千步沙

自饑飽嶺循山而行為千步沙，潮聲吼激，噴雪連山，耳目奇甚。

### 金沙

在紫竹林太子塔前，路皆黃沙，如金沙布地，故名。亦大士顯現處也。

### 三摩地

在寺西。

### 蓮花洋

即山西海也。倭奴入貢，見觀音靈異，欲載還國，滿海生鐵蓮花，舟不能行，倭懼而還之，洋之得名以此。

### 東大洋

在山東。

### 石牛港

在蓮花洋西，宋中官王貴等詣山禮佛，心未敬信，辭歸，滿海阻鐵蓮花。貴望山叩謝，有白牛浮至，[書-曰+皿]食其花，舟始移，白牛還立水次，乃一白石如牛，故名。

### 白沙港

在小洛伽山南。

### 箭港

在光熙峯北。

### 蓮花池

在寺前。上有橋，即蓮花橋。舊植蓮，興革不常，多淤漲。萬曆十四年，忽產紅蓮數朵。是年十一月，欽賜瑞蓮觀音相至，咸謂應斯兆焉。三十年，督造張隨浚治，植白蓮，香風遠襲。

### 放生池

在寺東。嘉靖間，僧普賢買一金鯉放池，俄黑雲起，隨化黃龍飛海。年久淤漲，萬曆三十年，督造張隨濬治。

### 光明池

在潮音洞，舊名「甘露潭」。正德間，太后遣使禱取以療目疾，賜名。

### 短姑道頭

在山西南隅，蓮花洋達岸處。相傳大士顯靈築砌，巨浪衝激不壞，航海者維舟於此。自此，由白華嶺至普陀寺，路約三里許，舊湫隘不堪行，督造張隨開拓平廣。

### 菩薩泉

在寺左，久旱不竭，叢林大眾皆仰汲于此。

### 慧泉

在龍女洞，人禱取以療目疾。

### 靈一泉

在育恩院西平石上，都督楊宗業題。

### 龍潭

在潮音洞口，舊傳娑竭羅龍居此。

### 龜潭

在茶山下。

### 葛洪井

在烟霞館後，今廢。太史陶望齡同憲副周汝登鐫石。

### 仙人井

在饑飽嶺，今竭。上有石，叅將陳九思題「登彼岸」。

### 金沙井

在圓通殿右，俗名「龍井」，久旱不竭。每遇寺僧有不祥，輒變黑色。

### 清淨境

在三摩地，木秀泉清，恠石攢列。上有亭，學士宋濂作銘，今廢。

### 空

有境

在真歇菴左，大學士呂 本題。原名「三一巖」，大學士徐階、禮部尚書陸樹聲題。又「海天春曉」，副使劉翾題。

### 西方境

在西方嚴，寧紹叅將劉炳文題「中流砥石」。

### 藤蘿境

在磐陀石東，山迂縈囲，奇巖壁立，上多藤蘿旋繞。揔鎮虞都楊宗業捐俸，属寺僧性能刱禪院一所於此，題曰「三天法界」。

### 玉堂街

在寺東。飢飽嶺至鎮海寺路，旧有沙径[涅-土+(並-(前-刖)+一)]隘，不便行趾；鎮海寺僧如珂募甃石道，眾皆徳之。會稽陶望齡題曰「玉堂街」。

## 殿宇

瓊宮紺宇，布滿名區，咸以藏殊妙之相，闢空寂之門。若海天萬里，風濤激射，金碧丹青，屹如鰲柱，與海屋爭奇，此固不可二三見也。志殿宇。

### 敕建護國永壽普陀禪寺

在補陀山南，山皆石骨，獨寺趾沙坡平曠。前代廢興不一。萬曆二十六年燬，後三十年敕御用監太監張隨董建。隨以舊基形局淺漏，闢遷麓下，并改辰向為丙云。原名「寶陀寺」，尚仍未賜。今特請是額，并賜御碑。又郡人吏部侍郎周應賓有記，餘詳具〈建置志〉。圓通大殿　藏經寶殿(奉前後頒賜藏經。)　景命殿　天王殿　四配殿(祀彌陀、地藏、伽藍、祖師。)　山門(俱在普陀寺。)　鐵瓦殿　無梁殿　瑠璃殿(俱在潮音洞，今廢。)　梵王宮(在潮音洞上，嘉靖間魯府建，今廢。)　雲會堂(俗名「十方堂」。)　華嚴堂　海會堂　資有堂(大學士沈一貫題。)　淨業堂　涅槃堂(俗名「安樂堂」。以上諸堂俱在普陀寺。)　演法堂(舊在普陀寺，今廢。)

鐘樓　鼓樓　水陸樓　齋樓(俱在普陀寺。)　烟霞館　白華館(俱在普陀寺。)

東西方丈(在本寺景命殿，左右各三十間。左為常住公用之所，右作僧寮，世世同居共食，立為規約，並不得分割房戶。)　香積厨(計二十間。)　龍章閣(宋嘉定間建，今廢。)　不二閣(在育恩院內，都督楊宗業捐資刱建。)

## 御製藏經序碑亭

玉音亭　應制經贊碑序(以上三亭俱在本寺，總兵侯繼高建，今廢。)　懷闕亭(在烟霞館左，四圍松竹騰茂。萬曆三十年督造張隨建。)　渡海紀事碑亭(在寺左，督撫尹應元建，督造張隨題「海山天柱」。)　着衣亭(在無梁殿左。)　勸人莫要捨身亭(在潮音洞，寧紹叅將董永燧立。)　栢子庵(本寺僧心一建。)

太子塔(在普陀寺前，高九丈六尺，皆太湖石，雕刻精巧。)　金剛塔(在金剛窟，郡人尚寶司丞沈泰鴻建，延僧性汾守庵。)　普同塔(凡二座，一在千步沙，一在龍灣，為逝僧藏骨之所。)　一乘塔(在西資庵右。)

關聖祠(在蓮花洋畔，汛兵守此。)　天妃祠(在司基灣西。)　娑竭龍祠(在菩薩泉下，萬曆三十三年督造張隨建立。)

三官堂(在短姑道頭左。於萬曆五年，寺僧明安建為登舟憩足之所。)

三聖堂(在普陀寺前，古禪堂衕傍有泉，久旱不涸。萬曆三十五年三月，內欽差御馬監太監党禮奉旨賚帑立碑，謝土啟建，圓滿道場。同欽差御用監太監張隨率諸禪侶，赴潭請水，目覩有感，捐資鼎建。)

大士橋(在潮音洞上，宋紹興間，僧德韶建，今廢。)　蓮花橋(在山門御道前，三十四年督造張隨建。)　智度橋(在鎮海寺前，剎人周汝登題。)

## 敕賜護國鎮海禪寺

(在普陀寺東約五里許。一山矗峙，曰光熙峯。有麻城僧真融，自五臺、伏牛、峩嵋、鏊華，咸刱飯僧之所。至萬曆八年，復來普陀，結茆數楹于峯下，漸建圓通等殿，然尚以「海潮庵」名。迄二十二年，郡守吳安國改額曰「海潮寺」。真融歿，其徒如壽等又為增建殿宇，規制弘麗。三十四年，御馬監太監党禮請於朝，賜今額。郡人大方伯馮叔吉、禮部主事屠隆記。)

圓通殿　天王殿　伽藍殿　祖師殿

山門(俱在鎮海寺。)

千佛閣　龍藏閣(奉南北藏經。)　止閣(在龍池上，郡司理陽羨何士晉題。)

景命堂　華嚴堂　大覺堂　淨業堂　龍王堂　土地堂　延壽堂(俱在鎮海寺內。)

水月樓　白華樓　智食樓　鐘樓　皷樓(在鎮海寺。)　東西廂樓(各三十間，作十方公用之所。)

方丈(在淨業堂左。)　香積厨　觀亭(在方丈後，會稽陶望齡題。)
華嚴銅塔(在寺東首，安供以鎮山門。)
千佛塔(在寺內。)
大智塔(在鎮海寺西山之麓。)

### 敕賜祝延聖壽磐陀禪院

在普陀寺西約半里許。向有古室數楹，年遠頹圮；海憲方應明捐俸重建，恢拓基趾，殿宇巨麗，實寺之附庸也。大宗伯周應賓題曰「應身寶殿」。崇禎八年二月，承乾宮皇貴妃遣官進香，復命鑄　滲金佛像一尊，紫袈裟二襲，請賜今額。十四年，內　田戚畹奉旨進香到院，又捐資請方冊佛經一藏，永鎮山門，以垂不朽。院之西，會稽大方伯陶崇道倡緣築堤捍海，墾田数十餘畝，以充祝聖飯僧之需。皆老衲無邊苦行精修所感之力也。
聚沙菴(在鎮海寺西，即邊公窣堵波院也。)

### 茶山靜室

### 朝陽庵

在菩薩頂之麓，萬曆五年間，內臣明鳳祝髮於此。以鳳號朝陽，故名。鳳歿，其徒真玄、孫如樂，皆內臣出家，能克纂前緒，堅修淨業。督造張隨題額曰「瑞靄旃林」。

### 慧濟庵

在菩薩頂右，僧圓慧建。郡人尚寶司丞沈泰鴻題額曰「寶月含空」。

### 圓覺庵

僧如月建。

### 吉祥庵

僧明潭以內臣出家，守靜於此。

### 方廣庵

僧如富建。

**琉璃庵**

在茶山後，僧朗元建。

**法喜庵**

僧真淨建。

**觀音庵**

僧海印建。

**梵音庵**

在海天佛國石右，僧明照建。

**崇德庵**

僧見寬建。

**湧泉庵**

僧如叢建。

**華**

嚴庵

僧性覺建。

**弘覺庵**

僧海舟建。

**智勝庵**

在茶山左，僧性靈建。

### 圓應庵

僧如元建。

### 靈瑞庵

僧性孝建。

### 雨華庵

僧如曉建。

## 千步沙靜室

### 禪那庵

在千步沙上。僧如壽先年為鎮海寺住持，以叢林事繁，建為退居之所。

### 慧日庵

僧如勝建。

### 金粟庵

在饑飽嶺左。先年四川僧真泉建於二十八年，讓僧真定守焉，泉復結茆數楹於庵後曰「千佛室」以居。

### 楊枝庵

寧紹叅將劉炳文鼎建，延僧通津居此。

### 龍樹庵

僧海燈建。

### 智度庵

在大智塔右，僧如心建。

### 月印庵

在摩尼洞上，僧性慈建。

### 圓信庵

僧明忠建。

### 摩尼庵

僧海雲建。

### 雙泉庵

僧真靜建。

### 雪浪庵

在後海洋畔，僧明悟建。

### 伴雲庵

僧真覺建。

### 甘露庵

在普同塔左，僧性全建。

### 栴檀庵

僧如方建。

### 般若

庵

在鸚鵡石左，僧如寬建。

### 資福庵

僧寂燈建。

### 迴龍庵

僧明富建。

### 大悲庵

僧如盈建。

### 盤龍庵

僧真寬建。

### 清凉庵

在小茶山內，僧真滿建。

### 海曙庵

在摩尼洞前，僧如信建。

## 磐陀石靜室

### 圓通庵

在西天門。于萬曆五年僧圓獻結庵於谷內，其徒明通諳知義，與遊歷京都，為緇素所重。眾喜助以大藏，南還，延僧檢閱，昏曉不輟。郡人沈一貫嘉額曰「法輪常轉」。

### 真歇庵

在普陀寺後，宋真歇禪師建，歲久傾廢。萬曆三十年，督造張隨改額「棲真庵」。

### 海雲庵

僧真曉建。

### 總靜室

在司基灣。三十年，督造張隨以舊趾湫隘，拓基遷建，題曰「雲林總會」。

### 永勝

庵

僧祖敬建。

### 寶函室

在不二石右，僧真一刺血書經處也。

### 脩竹

庵

僧性鍾同徒海緣建。

### 白雲庵

僧性堅建。

### 娑羅庵

僧真隆建。

### 蓮華庵

僧如定建。

### 海印庵

在蓮花洋畔，僧德建。

### 慈雲

庵

僧如有建。

### 靈石庵

在磐陀石下，僧真建。

### 大覺庵

僧真良建。

### 大慈庵

在西天門側，僧海目建。

### 靈芝庵

僧明經建。

### 清籟庵

在金剛窟後，僧照性建。

### 浴華庵

在茶山，僧圓鳳建。

### 西資庵

在一乘塔後，僧寂乾建，周應賓題。

### 金剛庵

僧性汾建。

### 育恩院

在寺西二里許。揔鎮楊宗業捐俸鼎建，属寺僧性能守靜於此。吏部侍郎周應賓題曰「海上奇觀」。

### 白華庵

在小白華山前。欽依乏海都司梁文，因祈嗣有感，捐資属寺僧如曜創建。中奉白衣大士。鎮守都督楊宗業題曰「天香踵瑞」。

### 梅福庵

在梅湾，係梅子真煉藥之[皮-(丨 /又)+(王/匆)]。舊有菴宇頹廢，住持如迴捐資重刱。総鎮都督楊宗業題額曰「奇葩古蹟」。

### 盼鶴庵

在茶山，僧性了建，都督楊宗業題。

### 白象菴

僧普耀建。

### 淨土庵

在搗飯罺道頭至潮音洞衝要之所，可避雨暘。僧照空、徒應悟建，都督何斌臣題「真如妙境」。

### 積善庵

在千步沙，僧玉峯建。

### 韋馱寶殿

在禪堂嶺下，僧海谷建。侍御陸世科題名，尚書周應賓題額「護法正神」，定海縣知縣顧宗孟題額「覺海隱持」，織造司祇監李賓題額「維持正教」。

### 顯聖庵

都督裴爺重建。

### 三元殿

在道頭。

### 隱秀庵

在短姑道頭山上。僧如秀仝徒性曇於萬曆間監造普陀寺，督造內官張隨酬僧勤勞，建庵修靜，題額曰「隱秀」。

### 規制

說者多言，間架微瑣；夏世室以下，《考工記》何稱焉？夫梵宇靡常，

綸音特重，要使煩而有體，大而可久，庶所謂得當報者。量功鳩材，不愆于數，夫誰非鞅掌？其略之也。志規制。

### 寺基

面闊七十八丈，進深五十三丈二尺。

### 山門

面闊二十八丈八尺。山門三間九架，面闊五丈六尺，進深四丈。明間闊二丈，左右稍間各闊一丈八尺，高二丈五尺，甬道進深四丈。

### 天王殿

五間十一架，面闊九丈二尺，進深六丈六尺。明間闊二丈五尺，左右次間各闊一丈八尺，左右稍間各闊一丈八尺、八尺，甬道、月臺共進深九　　。

### 圓通大殿

七間十五架，面闊一　四丈，進深八丈八尺。明間闊二丈八尺，左右次間各闊二丈四尺，左右稍間各闊二丈，左右次稍間各闊

一丈五尺，高五丈八尺。甬道四丈。

### 藏經寶殿

五間十三架，面闊九丈二尺，進深六丈八尺。明間闊二丈，左右次間各闊二丈，左右稍間各闊一丈六尺，高三丈八尺。甬道、儀門共五丈。

### 景命殿

五間九架，面闊九丈，進深五丈。明間闊二丈，左右次間各闊一丈八尺，左右稍間各闊一丈六尺，高二丈八尺。

### 伽藍、祖師、彌勒、地藏四配殿

每殿三間九架，各面闊五丈六尺，進深四丈。明間闊二丈，左右稍間各闊一丈八尺，高二丈四尺。

### 配殿廊房

左右各二十五間七架，廊房每間闊一丈四尺，進深三丈六尺，高二丈。

### 天王殿左右廊房

各七間七架，每間闊一丈四尺，進深三丈六尺，高二丈四尺。

### 藏經殿左右廊房

各七間七架，每間闊一丈四尺，進深三丈六尺，高二丈四尺。

### 景命殿左右廂房

各三間九架，每間闊一丈一尺，進深三丈六尺，高二丈四尺。

### 景命殿左右羣房

各十間七架，每間闊一丈一尺，進深三丈六尺，高二丈四尺。

### 儀門前左右廊房

各三間七架，每間闊一丈，進深三丈六尺，高二丈四尺。

### 儀門內露頂

左右各一間七架，每間闊一丈，進深三丈六尺，高一丈八尺。

### 鐘皷樓二座

明間闊一丈五尺，左右間各闊一丈，高三丈八尺，週圍各三丈，東西隙地各二十五丈。

### 建置

寺雖代不乏廢興，抑入我明，罹於燹何亟也？洪嘉猶制勝之全，不圖復有今日兩宮三殿之遙同，異哉！惟是水府無恙，鐵蓮長開，亦千萬年鞏固之一奇也。志建置。

梁貞明二年，日本僧慧諤得觀音相於五臺山，將迎歸本國，舟觸新螺礁，蓮花當洋，舟蔽不前，諤禱曰：「使我國眾生無緣見佛，當從何所建立精藍？」有頃，舟向潮音洞泊焉。有居民張氏目覩斯異，遂捨所居，築室奉之，號為「不肯去觀音院」。

宋元豐三年，內殿承旨王舜封使三韓，過潮音洞，黑風驟起，有大龜負舟，危甚。望山作禮，觀音現相，龜沒舟行，得無恙歸。上其事，改建賜額「寶陀觀音寺」，置田積糧，許歲度僧，供奉香火。

紹興元年，真歇了禪師泛海結庵于山椒，題曰「海岸孤絕處」。郡請于朝，易律為禪。寺三年風雨，殿摧，住山德韶言于朝，賜錢萬緡脩餙。七年殿成，御書「圓通寶殿」、「大士橋」以賜，德韶粘龍章閣藏之。

淳祐八年，制帥顏頤仲禱雨有感，施錢二萬，米五十石，建長生庫接待莊。

元大德四年春，命李鐵木兒不花、魏也先治演法堂。

元統元年，宣讓王施鈔千錠，建太子塔于寶陀寺南。

至元十年，住持如智建接待寺于沈家門側，以為朝山徃來居停之所。

國朝洪武二十年，信國公湯和徙居民入內地，焚其殿宇，供瑞相於郡東棲心寺，僅留鐵瓦殿一所，使僧守焉。

正德十年，僧淡齋于潮音洞南建正殿五間，方丈二十間。

嘉靖六年，河南輝府施琉璃瓦三萬、磚一萬修飭。三十二年，東倭入犯，總督胡宗憲遷其殿宇于定海縣東城外之招寶山，迎大士像供焉，餘舍盡焚。

隆慶六年，五臺僧真松來山，稍為修復。

萬曆六年，僧真表創天王殿、雲會堂。十四年，建藏經殿，奉聖母頒賜藏經，立靜室五十三處，以應五十三叅。十五年，總兵官侯繼高建碑亭三座。二十六年火，金石盡爍，惟大士寶軀儼然獨存，而關真君鬚髯不為烈焰所壞。是時四方善信益加敬仰，施捨木石，一朝畢集；而當事者禁，不得復創。鄉縉紳力為之請，始建藏經殿，俾僧守奉如初。二十七年，上頒藏經到山，寺燬藏隘，不堪安奉，內使以聞。三十年，上發帑金一千兩，遣太監張隨更建藏殿。三十一年五月，督撫尹應元視師海上，建渡海紀事碑亭。七月，張隨令西域僧本陀難陀建普同塔于龍灣。三十三年正月，上復發帑金二千兩，仍遣張隨重建圓通等殿，賜額為「護國永壽普陀禪寺」。三十五年正月，上復發帑金一千兩，遣御馬監太監党禮建御製碑亭。

## 靈異

攝大道以歸虛空，虛空有何靈異？迺大靈異出焉。此凡情所執而聖解不即；但自心無礙則非無非有，平常靈異也，靈異平常也；勝妙弘通，不可思議矣！志靈異。

唐文宗嗜蛤蜊，東南沿海頻年入貢，民不勝苦。一日，御饌蛤蜊，有擘不開者，扣之乃張，中有觀音梵相。文宗愕然，命貯以餙金檀香盒。後問惟正禪師，師曰：「物無虛應，乃啓陛下信心，以節用愛人耳。」因詔天下寺院各立觀音像，則洛伽所從來矣。

大中元年，有梵僧來潮音洞前燔十指，指盡，親見大士說法，授以七寶石。

梁日本僧慧鍔，從五臺山得菩薩像，將還國，舟抵礁石不能動，望潮音洞默叩，遂得達岸，乃以像舍于洞側，張氏為築院奉之，屢睹神異。郡聞之，迎其像入城，為民祈福。未幾，有僧至補陀，復求嘉木，扃戶刻像，彌月像成，而僧不知所在。後像偶亡一指，忽波間浮花至，視之，迺所亡像指也。

宋元豐三年，謁者王舜封使三韓，遇風濤，大龜負舟，顛危且甚，舜封惶怖，望洞致禱，忽睹金色晃耀，現滿月相，珠瓔燦然，出自嚴洞，龜沒舟行。

崇寧間，戶部侍郎劉逵、給事中吳栻使高麗還，經四晝夜，月黑雲翳，海面冥蒙，不知向所。舟師大怖，遙叩寶陀，俄神光滿海如晝，歷見招寶山，遂得登岸。

給事中黃龜年禮洞，親見紫金自在相朗然坐石上，偕遊老稚俱見，備作贊頌。

紹興戊辰三月望，史越王浩，以餘姚尉攝昌國鹽監。偕鄱陽程休甫詣潮音洞，寂無所睹，炷香烹茶，盞浮花瑞。晡時再至，一僧指曰：「巖頂有竇，可以下瞰。」扳援而上，瞻顧之際，瑞相忽現，金色照耀，眉目瞭然。二人所見不異，惟浩更覩雙齒潔白如玉。將暮，有一長僧來訪云：「公將自某官歷清要，為太師。」又云：「公是一箇好結果的文潞公，他時作宰相，官家要用兵，切須力諫。二十年後，當與公相見于越。」遂辭去，送之出門，不知所在。乾道戊子，以故相鎮越。一夕報，有道人稱「養素先生」，舊與丞相接熟。典客不肯通刺，疾呼入謁。亟命延之，貌瘁神清，談論風起，索紙數幅，大書云：「黑頭潞相，重添萬里之風光；碧眼胡僧，曾共一宵之清話。」擲筆不揖而行。公大駭，遍覓不見。追憶補陀之故，始悟長僧及此道人皆大士現身也。

孝宗隆興元年七月御選德殿，夢遊補陀得異兆，遂製觀音贊曰：

猗歟大士　本自圓通
示有言說　為世之宗
明炤無二　等觀以慈
隨感即應　妙不可思

迺頌刻殿庭。

淳祐連歲苦旱，制帥顏頤仲禱雨洞中，大士并童子喜悅出迎，自是隨求輒應。

元大德五年，集賢學士張蓬山奉旨祝釐潮音洞，見大士相彷彿在洞壁。次至善財洞，童子倏現，頂上瑞靄中大士再現，寶冠瓔珞，手執楊枝、碧玻瓈椀，護法大神衛翊其前。久之，如風中烟漸向銷沒，但祥光滿洞，如靄霞暎月，見數尊小佛，作禮慰快。

致和元年戊辰四月，御史中丞曹立承命降香，至洞求現。忽見白衣相，瓔珞被體。次及善財洞，童子螺髻素服，合掌如生。適以候潮，再叩再現；而善財洞大士亦在，童子鞠躬，眉目如畫，七寶瓔珞，明潔可數，羣從悉見。

初宋倭奴入貢，船泊補陀洋，見觀音靈異，欲載之國。臨行，風浪大作，滿洋開鐵蓮花，船不能行，倭懼而還之，故名蓮花洋。

至中官王貴等，奉旨齎捧華幡寶香詣山，竊自意：「汪洋巨浸中，大士安在？皆人自敬信耳，未必有神也！」方解維，滿海復生鐵蓮花，風濤洶湧，舟不能前。從人望山號呼，叩頭流血，風浪始平。輒有白牛隔山浮至，盡食其花，舟遂可移已。而牛[這-言+歹]水際，化一白石如牛，至今存焉，故蓮花洋亦名石牛港。後元至元十三年，丞相伯顏定江南，部帥哈剌歹來謁，洞下窅無所見，迺張弓引矢射洞而回。及登海舟，滿洋復生蓮花，遂驚異悔謝，徐見白衣大士并童子像。

有嫂姑到山，將及岸，姑適月來，止舟中，嫂獨徃。俄有媼到舟，以裙兜石砌步引姑上殿，嫂下，失姑所在。後姑下，詢是媼引復。同姑覓之，宮殿俱無，始悟媼即大士也，遂名短姑道頭，石砌衝激不壞。近時有哨過洋，舟空壓泛。偶一舟載此道頭石，不能行。悟還本處，舟遂移，石砌如舊。又有七寶階，相傳大士欲從舟山築海堤過寺，為凡眾所衝，遂止。至今泥趾不壞，亦道頭類也。

國朝自洪武初徙海上居民，而靈異見少矣。然湯公和舟至沈家門，猶見浮一金鉢盂也。所傳聞一二，若永樂二十一年十月十九日，潮音洞現白衣大士，龍王、龍女、長者大權從之。辰巳時，現開長眼，面帶煩惱。午時，現紫色身，面壁。酉時，善財巖外現白衣金冠菩薩坐紅日中，韋馱天日下立，羅漢海上步雲而來。二十日卯時，洞內又現紫金身。宣德二年四月現閻羅天子，玉女一雙隨之。正統二年二月十九日夜，現寶珠放大光明。迨萬曆頒藏以來，陰功隲佑，未易枚舉。據文獻所稱，威靈之顯赫者。萬曆十四年，有杭州僧天然居補陀，其母持齋奉佛，嘗募金錢，盡致補陀。一日化得菩薩像，頸金鑄，以授天然。天然見金頸，心動，謀諸工人，剝其頸金，工立死。他日母來，自海上將及山，天然已先知矣，遂高聲詈罵曰：「吾[宋-木+免]家害我者至矣！」見即批其母頰，取刀自裂其頸，遶山數匝，颺言曰：「汝輩莫我若，若我地獄在眼前矣！」遂死。至萬曆庚寅十月，寺僧有相訟者，郡丞龍德孚自詣補陀鞫之。取《法華經》燬之，令僧跨。跨畢，丞至後殿拜禮如來。甫下拜，覺兩髀病軟。兩人掖之以拜，遍體發熱。急扶入，胸結如石，楚不可忍，漸至昏憒。見有人若伽藍者，傳佛旨：「罰作三石牛嗇官。」蓋冥官也。丞力求懺悔，願齋戒終身以自贖，僧亦為之誦經禮懺。久之，始得兆，許懺悔。是時，不粒不瞬者十日矣。若俗傳幻妄所多，不具載。

## 頒賜

聚山谷米，不足當太倉一粒；披沙海金，不足當內帑一鋌。禮有錫命之文，誠榮之也。寶陀之錫舊矣，滄桑灰燼，遺文足徵。邇年宮府共頒，財法並施，山靈實馮藉之。今殊數具在，亦功德林也。志頒賜。

宋嘉定間，賜修「圓通殿」錢萬緡，賜御書「圓通寶殿」及「大士橋」額，賜宸翰并金襴衣、銀鉢、碼磁珠、松鹿錦旛。

淳祐八年，詔免本山租役。

元大德三年，賜新殿宇金百兩。四年，賜綵旛緘香及帑錢二十緡，賜割浙省官田二千畝、昌國常住田五百六十七畝、山一千六百七畝供僧。勑于正、五、九月諷誦祈禱。

皇慶二年，賜主僧袈裟及十方僧飯，勑浙省賜鈔八百六十八錠，買給佛燈田三頃。

泰定四年，賜飯僧鈔千錠，僧衣一百八件，供聖黃金織文旛及金綵綺帛，賜供營繕田二頃二十六畝。

致和元年，賜香幣及鈔百錠。

元統二年，宣讓王施建塔鈔千錠。

皇明萬曆十四年三月，勑賜聖母慈聖宣文明肅皇太后刊印續入藏經四十一函，并舊刻藏經六百三十七函，裹經繡紱六百七十八張，觀音金像一尊，善財、龍女各一尊，金紫袈裟衣一襲。

二十七年二月，勑賜大藏經六百七十八函，《華嚴經》一部，《諸品經》二部，鎲金觀音像一尊。

三十年四月，賜建藏殿帑金一千兩，飯僧銀一千八十兩，誦禮《觀音經》銀三百兩，《觀音經》一藏。

三十三年正月，勑賜重建殿宇帑金二千兩，修齋銀三百兩，大紅紵絲四疋，大紅織金昇降雲龍紵絲十疋，大紅銷金龍旛二對，五綵金邊供花四朵(每朵銀柄重十五兩)，五綵雲龍花瓶二對安供。

散施秘藥一十四種，清眩抑火化痰丸四罐，消滯丸四罐，通玄丸四罐，滋陰養血健脾丸四罐，二聖救苦丸四罐，秘方化滯丸四罐，八寶捲雲二百管，紫金錠三百錠，蟾酥錠一百錠，觀音救苦錠五百錠，膏藥一萬貼，愈風延壽丹二千圓，神仙硃砂丸二千圓，神仙化痰丸四罐，吆咀飲片七十五味。

賜《金剛般若經》一藏，《觀音普門品經》一藏。

聖母慈聖皇太后賜建寺銀三千兩。

三十五年正月，賜帑金一千兩建「御製重建寺文碑」，并謝土道場。

三十七年十一月，賜帑金一千兩，延僧檢閱藏經三年，五綵織金龍段四十疋製蜈蚣日月長旛懸掛并閱藏經袱、桌衣。

三十九年正月，賜帑金一千兩祝釐飯僧。

命使

自佛骨遣迎，而瞿曇之門漸煩命使，况嶽瀆之顯靈者乎？葺爾完宇以禋明祀，蓋亦有攝行望秩之意焉，殊非徐市輩可共道也。志命使。

宋

王貴

內侍。乾德丁卯，遣齎香旛詣山。

元

李英

內侍。大德二年，中宮命降香修宇。

孛羅

宿衛。三年，奉旨降香賜金。

魏也先

四年，奉旨飯僧轉經。五年，再奉旨治演法堂。

太出

四年、五年，俱與魏也先同使。

李鐵木兒不花

五年，與太出、魏也先同使。

張蓬山

集賢學士。五年，奉旨祝釐。

法華奴

皇慶二年，皇太后遣飯僧降香。

帖閭

中正同知。泰定四年，中宮遣賜金幣。

曹立

御史中丞。致和元年，奉旨降香幣。

皇明

張本

內官監太監。萬曆十四年，奉旨賫送藏經。

孟廷安

御用監太監。十四年，與張本同差。

趙永

漢經廠掌壇，御馬監太監。二十七年，奉旨賫送敕諭大藏全經。

曹奉

御馬監太監。與趙永同差。

張隨

御用監太監。三十年四月，奉旨督造藏殿。三十三年正月，再奉旨督造普陀禪寺。按：隨，順天文安人，嘉靖間，選中內書堂，涉獵經史，過目輒不忘，又精書法。時故相蘭谿趙志皐為教習，大器重之。歷官欽依皇壇、內漢經廠。表白斷酒除葷，嚴持戒律。萬曆初年，敕隨董建護國萬壽寺于都門之西。工竣，賜賞飛魚袍服。

於三十年重建南海寶陀寺藏殿。樂成，復賜金錢及一品服。三十三年正月，復奉旨齎金重建普陀禪寺。工鉅費煩，人頗難之，而隨區畫[書-曰+皿]善，咄嗟倚辦，大工遂成。隨之奉差者兩，歷年者六。性約而方，一蔬一飯之外，絕無所需。八行不達政府，人亦無敢干以私者。先是，漁人繫筩，市人酤販穢褻，莫可誰何。及隨秉虔焚飭，不待力遣而相率退去。即金碧輝絢成清淨佛地者，皆隨力也。三十五年五月，工竣復命，聖心嘉悅，賜玉帶、歲祿以旌其勞。三十七年十一月，復奉欽遣到山，飯僧及啟建檢閱藏經期塲三年。三十九年三月，奉旨到山，啟建酬答佛恩保祐聖體萬萬安道塲，齋施合山僧眾。

### 王臣

內官監太監。三十年與張隨同差。

### 党禮

御馬監太監。三十三年九月，奉旨齎送諸品經藏。三十五年正月奉旨齎帑刱碑，圓滿祝釐飯僧。

### 張然

御馬監太監。三十三年十月，奉旨齎送藏經于杭州昭慶寺，及降香幣、詣山祝釐飯僧。

### 釋子(仙附)

洛伽山，千二百菩薩所住，蓋開權以示皈依總持無可少者，非有道曷堪此？自梁惠鍔後，大者興建，小者接待，統之皆應機也。今併泝而録之，儻亦求名，佛之旨乎？志釋子。

### 梁

### 惠鍔

日本僧。首創觀音院。

### 宋

清了

字真歇。自長蘆南游，浮海至此，結庵山椒。

德韶

嘉定間，以佛照禪師法嗣來主是山。餘見〈建置〉。

元

如智

至元間，捐衣鉢餘貲建接待寺。

如律

大德間，修聖像并上玉琢瑞相，賜田二十頃，命翰林刻石紀之。

皇明

行丕

字大基，鄞人。宗說兼通，行解相應。洪武初，由佛隴來主是山。

淡齋

正德十年住持。其徒大揚州、小揚州募緣留都十載，鑄鐵瓦二萬、鐵磚一萬，構殿潮音洞。

道誠

字普賢，徽州人，以戒行聞。歷遊名山至洛伽，師淡齋。叅禮甚眾。年七十有三，預報示寂，有偈云：「普賢普賢，苦行心堅。即心是佛，西方目前。」

圓錦

奉化人。嘉靖二十六年住持。

### 真智

字法光，河南人。嘉靖三十二年住持。

### 明增

字望雲，奉化人。嘉靖四十年住持。

### 真松

來自五臺龍樹寺，為住持。

### 真表

字一乘，翁洲人。年十二入山祝髮，師明增。及壯，誓志興復，重創殿宇，規模一新。萬曆六年，禮部給劄為住持。十四年，勅頒藏經到山，并賜金環紫袈裟衣。詣闕謝恩，賜延壽寺茶飯香金五十兩、緇衣禪帽各一件而還。其為人性剛直，敬禮十方賢衲，結草庵五十三處，以故名僧皆歸之。真融以客僧至山，頓刱叢林，皆表贊揚之力也。

### 真語

字竹庵，山西襄陵人。十九年奉禮部給冠帶，劄付為住持。

### 真璧

字瀛石，鄞人。二十一年為住持。

### 真海

字東洋，烏程人，掌僧會司等。二十二年為住持。

### 真

宰

字雲峯，仁和人。二十六年府縣給帖為住持。

### 如迥

字寂菴，蘭谿人。投真學為師長，受戒於金山和尚，聽法於萬松法師。歸山閱藏，諷《華嚴》者十有三載。二十九年三月，因真宰歿於京，眾舉於郡邑為住持。值勑造，內使絡繹，朝夕拮据公務。三十二年冬，退居東堂。明年夏，督造至，復授為住持，居東方丈。又明年春，布政司給授冠帶。三十五年春，蒙賜紫袈裟衣一襲。九月二十五日，謝恩表章一道。十月十五日，欽命賜紫并給禮部劄，付授僧録司右善世而還，護持　　眾祝延。

### 真遇

字普光，翁洲人。性質朴，不嗜過午。值如迥讓住持，眾以其誠共推之，為住持。

### 真才

字奇峯，繡水人。髫年入道，受法于無瑕老人。賦性溫雅，才德兼備，宗說洞明。為堂頭首領，善調大眾，吏部蔣公贈額曰「蔡林調御」。名聞廣著，司府劄給冠帶，為東方丈住持。

### 真經

字三藏，瀚洲人。秉性沉默，舉措無苟。督造張公以師禮事之，立為知事。三十九年，眾推舉為住持。

### 如欽

字萬容，鄞人。為寺監事，心意巧妙。時遇勑建殿宇，經畫之力，浔無疲倦。寺成，舜事靜修，眾擢其功，推舉府縣，劄給為住持。

### 如讓

字遜吾，嚴陵人，為寺都管。勑建寺宇，徃返京都，不辭勞苦。三十七年，奉禮部劄，授僧録司右闡教職，協理寺事。三十八

年，完工復命，欽賞紫衣袈裟一襲。

### 如曜

字昱光，定海人。智畧才藝，一莫能及。营復殿宇，賴其力焉。先為寺都管，四十年司府劄給冠帶，為本寺住持。

### 性能

字守拙，揚之通州人，請度本寺。二十三年府縣帖，僉充一山總管，大小僧務皆属主之，仍協理寺事。勅建之後，復[口/面]志乘以垂永久。總管之設，自此始焉。

### 性空

字無念，溧陽人。迥之弟子，戒行謹持，其德最著。

### 性海

字無邊，鄞人。為寺都管，眾所欽服。四十二年，奉府縣劄給冠帶，為本寺住持。

### 性寶

字玉峯，鄞人，為寺知事。

### 性樂

字素明，鄞人，為寺知事。

### 海鯨

字樂淵，定海人。才能果決，秉公爰眾，行事不苟，推為寺都管。

### 海相

字天真，鄞人。三十七年為寺都管，三十九年轉為知事。

### 海筏

字濟川，鄞人。性直果決，為寺知事。

### 真聡

字敏菴，鄞人。青年入，率眾禮誦有年，眾舉為東堂，勤舊。

### 如弘

字大願，姑蘇人，眾立為寺知事。

### 性徹

字見空，河南陳州人。落徃返京師不辭勞苦，為寺知事。

### 性璇

字妙用，鄖人。奉帖為都事，尚其勤勞，後僉為都管。

### 性嶽

字凌雲，鄞人。師欽之功能，立為知事。

### 海先

字淆洲，慈水人，堂主悅心之，後為本寺知事。

### 性印

字西宗，滃洲人，為寺知事。

### 性懋

字無礙，句餘人，為本寺都事。

### 海福

字弘如，鄞人，為寺都事。

### 海灝

字宗源，鄞人，為寺知眾。

### 性

倫

字養如，鄞人，為寺司庫。

### 海寶

字龍安，慈水人。軌直無私，為寺司庫。

### 鎮海寺真融

字大智，麻城人，為鎮海寺開山住持。功行詳見〈殿宇志〉。

### 如壽

字天然，河南永城人，有戒行。萬曆十八年，其師大智示寂，眾舉為住持。後因叢林事繁，恐妨淨業，退結靜室以屏。

### 如德

字本空，直隸興化人。萬曆二十四年為住持。

### 如誠

字自修，楊州人。三十年為住持。

### 如照

字自心，高郵人。三十年為住持。

### 如光

字寶蓮，杭州人。萬曆三十三年為住持。三十五年蒙勅賜寺額，詣闕謝恩，賜紫衣一件，給禮部劄，付授僧録司右覺義。

### 如燈

字寶光，湖廣襄陽人。本寺開創以來，即為都管，後充庫司。叢林之事盡属經理，秉公愛眾，十方緇素咸敬服焉。

### 如碧

字玉田，楚人，為本寺監寺。

### 如珂

字玉堂，嵊縣人，為本寺協理執事。玉堂街功，多珂之力也。

### 性賢

字樂庵，四川富順人，隨智師，為侍者。眾以其素諳僧務，遂推為寺都管。

## 高道

### 秦　安期生

避秦亂至山修煉，嘗以醉墨洒成桃花紋，故寺西南有桃花山。

### 漢　梅福

字子真，嘗煉丹於此，故山別名梅岑。

### 晉　葛僊翁

字稚川，嘗煉丹於此。去寺之北有葛翁池，今湮沒。

### 元　王天助

字致和，嘗修煉此山。後祈雨輒應，聞於朝，賜號「太虛玄靜志人」。

## 物產

佛域所產如曇華優鉢之類，世不可得見；雖奇，亦奚以為？洛伽不生虎豹，蛇不噬人，大士之靈昭然，豈無宣洩挺生與紫竹、白鸚鵡爭奇者乎？若其種種海物，非從山產者，不復采。志物產。

### 穀

有：黍，豆，蠶豆，芝蔴，蕎麥。

### 菜

有：油菜(春至開花，獨先他處)，白菜，芥菜，菠薐，萵薍，莧菜，伽藍菜(長一尺，葉有毛，自三月食至五月)，胡蘿蔔，白蘿蔔，王瓜，絲瓜，冬瓜，茄，扁豆，帶豆，葫蘆，紫菜(生海巖)，筍，鬼頭芋(形似得名)，番苧(種來日本，味甚甘美)。

### 木

有：松，栢，梓，梧桐，柳，槐，杉，桕，棕櫚，水楊，茶，木犀，榆，娑羅(從郡東育王寺分植)，羅漢松，枇杷，椿。

### 果

有：梅，桃，蓮，藕，橘，柑，橙，白棗，地栗，蕨，密橘。

### 竹

有：紫竹，烏竹，猫竹，淡竹，龍鬚竹，箭竹，筋竹，鳳尾竹，南竹。

### 花

有：白花(春月遍開，甚香，山之得名「小白華」以此)，水僊(亦遍開，清香異常，移種外方輒少開者)，紫蓀葵，萱花，玉簪，金盞，雞冠，虎

刺，鳳僊，荷，芙蓉，丹桂，木槿，山丹，石菊，山茶(樹高數丈，丹葩滿枝，如珊瑚林)，苧麻，西番菊，白瑞香，薝蔔。

藥

有：天門冬，半夏，百合，沙參，天南星，何首烏，木賊草，山梔，艾蔓荊子，風藤，玄參。

鳥

有：頻迦(上下和鳴，如呼佛號)，鸜鵒(低飛亂鳴)，鸚鵡(偶現不常)，鶉鴿，山鵲，靈鵲(二月十九日聚鳴)，青雀，紫燕，烏鴉(聚即香客至，又就手接食)，海鷗，黃鸝，百舌，鶺鴒，鷹，白頭公。

獸

有：鹿，麂，野猫，猿，狸。

魚

有：鯉，鯽，鰻，鱔，螺，(以上皆督造張隨畜放生池)蝦。

龜

有：綠毛龜。(遍蓮花池皆是，其毛不及蘄州茸細。)

蛇

有：烏撲蛇(大如斗)，金色蛇，白蛇。(以上遍山皆是，並不傷人。)

普陀山志卷三

庠生　周應宸　章載道　仝校

## 藝文

夫制作之林大抵珍藏名山，然亦有揭之通道大都者。洛伽經藏所多，墨客之形容亦殫矣。標付殺青，將令南詢者傳觀焉，不惟衰草寒烟之嘆。志藝文。

### 雜著

#### 觀音大士讚(有序)

唐王勃

蓋聞圓通大士，乃號觀音。接物利生，隨機應現。向乾坤東畔娑竭海中，雲濤涌金色之山，聖閣起琉璃之界。巍巍寶座，凝然居自在之身；蕩蕩慈容，皎若現白衣之相。身挂雲羅素服，藕絲織而色映寒霜；體嚴瓔珞同心，衣縷盤而麗晶皓雪。翠迎仙島，五雲之寶盖玲瓏；艷迸摩尼，百寶之華冠赫奕。眉橫纖黛，如海門之秋月初彎；目紺重瞳，似水面之青蓮乍秀。齒排珂玉，舌瑩紫檀。丹珠一點艷頻婆，兩臉朦朧勻琥珀。向靜綠波上，圓相舒而有金毫玉毫；虛白光中，勝境現而有佛界仙界。於是雲雷吐辯，宣諸佛祕密之金言；釋梵雨華，歎聖德希奇之妙事。獻寶兮有龍王龍女，奏樂兮有天仙地仙。向孤絕迫處作津梁，於浩渺波中抜急難。尋聲救苦，赴感隨緣，如萬水之印孤蟾，似洪鐘之應千谷。是以經云：王法賊盜，水火漂焚，惡龍惡鬼，毒藥毒蛇，或被人推落金剛山，或惡風吹入羅剎國，或臨軍陣，或值雷霆，若能仰告觀音，應時即得解脫。菩薩有不思議之弘愿，無[書-曰+皿]意之神通，悲心誓救於娑婆，遺教遍臨於穢土。誠以周塵周剎，普應普觀；無遐無邇盡歸依，有願有求皆赴感。河沙功德，億劫難量。遙望洛伽之山，稽首聊申歌讚：

南海海深幽絕處　碧紺嵯峩連水府
號名七寶洛伽山　自在觀音於彼住
寶陀隨意金鰲載　雲現兜羅銀世界
眾玉裝成七寶臺　真珠砌就千華蓋

足下祥雲五色捧　頂上飛仙歌萬種
頻伽孔雀盡來朝　諸海龍王齊獻供
寶冠晃耀圓光列　纓絡遍身明皎潔
臉如水面瑞蓮芳　眉似天邊秋夜月
繡衣金縷披霞袂　縹[緲-目+耳]素服褊袒臂
[王*犮]珈珂珮響珊珊　雲羅綬帶真珠綴
紅纖十指凝酥膩　青蓮兩目秋波細
咽頸如同玉碾成　羅紋黛染青山翠
朱唇艷齒排玉珂　端坐昂昂劫幾何
化身百億度眾生　發願沙河救鼻阿
我慚我愧無由到　遙望觀音悲讚歌
大聖大悲垂愍念　願舒金手頂中摩
觀音滿願真言曰　唵阿嚕力迦娑婆訶

## 留題寶陀禪寺碑偈(有序)

宋史浩(太師)

紹興戊辰三月望，鄱陽程休甫、四明史浩，由沈家門泛舟，遇風挂席，俄頃至此。翌早，恭詣潮音洞，頂禮觀音大士。至則寂無所覩，炷香烹茶，但椀面浮花而已。歸寺，食訖，與長老瀾公論「文殊揀圓通，童子入法界」事。晡時，再至洞下，俯伏苔磴，凝睇嵌空，惟亂石纍纍，興盡欲[這-言+歹]。有比丘指曰：「巖頂有竇，可以下瞷。」扳援而上，瞻顧之際，瑞相忽現，金色照耀，眉目瞭然。二人所見不異，惟浩更覩雙齒潔白如玉。於是咸懷慶快，作禮而退。既而治舟還甬東。懼此語無傳，用書于壁，庶幾來者觀此無疲厭心，不以一至不見而遂已也。迺作偈曰：

稽首寶陀山　觀音大菩薩
三十二妙應　垂福于人天
慧日廓圓明　微隱無不照
我等由宿植　於菩薩有緣
曩書一毫端　菩薩悉能鑒
今茲一何幸　聯檣來寶山
椒景得惠風　滄海如鑒淨
朝發東秦岸　須臾達蓬宮
僧飯洗鉢時　相與瞻遠嶠

石橋跨巨浪　側足毛骨寒
自念塵坌身　得伴清淨侶
同聲諷密語　復念我師名
注目謁慈光　忽覩紫金相
崆峒石窟上　宴坐自在容
雲霧不蔽虧　跪禮得良久
偕來無老稚　咸識應現尊
讚歎且忻歡　得所未曾有
我念現前眾　中多大福人
夕親近我師　所禱如響應
為我懺眾惡　遂亦見如來
同辦起心香　復陳一日供
倘以昔積善　獲此大吉祥
願敦未來因　永託如來記
浮生如夢幻　孰處教生戒
教戒多素羞　廣閱如來藏
分陰實可惜　棲遲必山林
料理般若舡　長想菩薩岸
羣生迷苦海　拯援使知津
共發向上心　世世同佛會

## 觀世音菩薩補陀巖示現偈(有序)

中峯祖師

觀世音菩薩，以太虛空為體，以五須彌為寶髻，四大海為口門，日月兩曜為眼光，森羅萬象為垂身瓔珞，一切眾生於其毛孔裏出生入死；由是菩薩以此興大悲心，發無上願，施十四無畏，現三十二身，上合諸佛慈心，下應眾生悲仰。無端被吾兩浙運使琴軒瞿公向小白華巖偷眼一看，直得無地藏身，文彩彌露。乃援毫引墨，盡意發揮。時有梅山喜公，奮辭舞筆，作為長篇，揭露殆盡。而海粟待制以雄才豪辯，向無所見處議論風生，筆舌雷動。但末後一句，留以遺幻住子同為證明。乃為說偈以收之，偈曰：

妙圓通體超諸礙　包裹色空含法界
見與不見二俱離　始識大悲觀自在
琴軒居士佛眼通　白華巖畔追靈蹤

狹路相逢避不及　似鏡照鏡空合空
引墨援毫書所見　揭破浮雲呈日面
盡十方空一普門　妙相塵塵俱露現
梅花山裏老禪翁　滄海一粟夫子馮
浩浩春雷鼓筆舌　巨篇長偈真豪雄
俾我重圓末後句　口縫未開先吐露
若以耳聞非所聞　不以耳聞非所據
我昔曾遊碧海東　海王抱日扶桑紅
怒浪搖金光閃爍　照開朵朵青芙蓉
無位真人潛洞府　洞裏潮音喧萬鼓
珊瑚樹頭月徘徊　水晶簾外蛟龍舞
波神扳劍驅長鯨　吞空浪雪粘青冥
撒出龍堂珠萬斛　寶光射透瑠璃屏
法身驚入一毛孔　一毛空裏波濤涌
爾時　大士失卻磐陀石上吉祥草與詹蔔華　但見土烟翠霧埋雙踵
有眼共見耳共聞　妙圓通體鐵渾淪
最初末後句非句　萬里潮聲撼海門

## 磐陀石觀日賦

吳萊

粵東游於海徼兮　得偉觀於陽阿
登磐陀之疊石兮　路畏纍而巍峩
天雞號而夜半兮　暾欲出于重波
恍玄幕之垂黑兮　惚火輪之盪摩
緬羲和之有御兮　扶木燁其將華
渺暘谷之不可以里兮　届高春其幾何
嗟世寰之安在兮　尚昧冥而未旦
覩帝車之斜迤兮　耿星宿于霄漢
漸島嶼之奇鮮兮　益淼茫而瀰漫
恐闚闐之猶爾夢寐兮　類蟄虫之惛亂
明乾極之牽掣兮　儼機軸之翕張
固陰泉之歙炯兮　煥燈燧之奮颺
煒踆烏之燿煟燦爛兮　渴啄解羽貌以迭碭
或有燭龍之燬炳烓昱兮　熾額[火*崩]目[勿*頁]其方驤

懸[火*香]鏡之熒灼炭熇兮　鮫人泉客劀濯有光
振頛鼓之焱燸炫煇兮　北若壁壘[檄-木+山]嶙前行
指彩虹之抱戴珥璚兮　璀錯爣[火*朗]繆綢遹皇
想朱烏之次舍軌度兮　豁達藺轢[谷*可]閜燿鋂
乘寒潦潮水之傎倒推盪兮　散曉赮霞氣之轇轕彩章
乃飛騰于寥廓兮　竟暝眩於混茫
繄高抗乎氛暟兮　僅啟明之獨爍
歊遠麾之黂爝兮　遽羣動之盡躩
川后潛精而窟藏兮　海童覷燿以犇[火*罟]
鮫鼉揚鬐撥鬣以悠漾兮　鴻鶴刷毛挾翅而陵薄
莽瑯琊之躋臺兮　溰鯨山而晝其[穫-禾+火]也
間羅浮之瞷井兮　混蜃穴而夜其爚也
迅夸娥之杖策兮　懼追逐而莫之跳逴也
怒魯陽之揮戈兮　恆盤礴之弗吾覢韄也
惟圭臬之可測兮　柰隙駒之焉託
恒鞠明而究曛兮　遂壯凋而老鑠
昔聖賢之有法兮　寔盖渾之同天
矧鍊石而凝質兮　復斷鰲而鎮淵
將渤澥之鑿鼇兮　淪谷底而迭燃
抑崑崙之[山*窟]峙兮　繞巖腹而互旋
豈文身黑齒之俯邇所出兮　貫裸壤以相連
或淹滋濛汜之遠壓所沒兮　罄汎國之窮堰
歎嚴氷與魍雪兮　曠古莽之鮮覺常眠
惕重蒸與叠蔈兮　煞炎丘之毒瘴霾烟
諒眾人之懵愜兮　持蜂蟻之摷緣
偉小兒之辯知兮　雖睿哲而弗宣
彼凡俗之多故兮　遇曙朝而即竟
誠旦晝之梏亡兮　嚮晦昏而暫定
紛士學之攘爭兮　集農商而斫迸
淫末作以相資兮　侈利心之百穽
儻桑榆之不復滅沒兮　盡奪時而力政
願鬱儀之恒若溟涬兮　庶保躬而固命
詖曉籌而催闢兮　警宵柝而告靜
信舉筴而豫知兮幸聞鐘而深省
何觀瞻之不足兮　重徙倚以盤桓
光已通于一躍兮　影奚候于三竿
逮層溟之畢露兮　屹東霍之巖巒
念列仙之獨徃兮　扼羨門於波瀾

劃孤嘯而陟降兮　撤蒙蔀以欣歡
顧秦越之邈不相及兮　又焉論夫遠近乎長安

## 清淨境亭銘(有序)

皇明宋濂(金華人　翰林學士)

補怛洛伽山者，在東大洋海，梵語「補怛洛伽」，華言「小白華」。傳云，山有二，皆觀音大士示現之地。其一自西竺歷羅剎鬼國暨諸魔土，始至其境。其一即《華嚴》大經所說「善財南詢」之處，盖今所也。山絕起海中，周圍僅百里，滿望冥茫無際，翁洲遠山隱隱天外，如青螺幽閒，遼夐不可名狀。寶陀禪寺在山南，去寺三里至潮音洞，洞脚插海，張頤欲飲，怒風驅濤，進退擊衝作海潮音，故名。洞左，佛跡二，印石上。洞顛通穴天窓，白光注其底如月。唐大中間，梵僧拜洞前，燔十指禱之；指且盡，大士為現身說法，授以七色寶石。厥後，襲以為常人。以誠感輒應，或現紫金自在相，縞衣被體而縹帶貫之，珠瓔紛然懸；或現千首千臂像，護法大神翼衛乎後先，可怖可駭。稍轉而右為善財洞，嵌巖中坼，窈黑不可測；外則峻巖壁立，泉氂氂滴下如珠，名「菩薩泉」。善財時現，黛目粉面，寶蓋華鬘，皆明潔可指數。從洞折而北有石，類香爐、類天境、類佛牙，奇甚，唯磐陀石上最寬平，可坐百人。雞初號，遙見扶桑五色光發，照東方盡白。久之，湧出日輪赤如火，流光燭海波，閃爍不定；或輕烟明霞，左右蔽虧，愈致妍麗，誠奇觀也。自石折而西有獅子峯，形如狻猊，作跳躑之勢。有象巖，有佛手峯，皆以其形名。有三摩地，嘉木欝森，恆石駢列，臥者、離立者、蹲欲起者、迎躍似舞者。其他勝槩，難可以數計。大抵山在海岸孤絕處，重巒複嶂，蒼翠如洗。紫蓁白葩，濯濯滿地。山丹樹高數丈，絳花繞枝，鮮澤如珊瑚林。黃金沙四布，尤璀璨眩目可玩。海水震盪，無雲自雷，終日轟轟然。頻伽之禽，繽飛于青空中，上下和鳴，彷彿如稱佛號。氣象艷曠，絕不類人世。登高四顧，神思飛動，若冥身琉璃瓶中，一髮塵土不得相侵，誠霄壤間勝特之境也。洪武庚戌春正月，部使者贛州劉君承直與寶陀大師行丕，抱杖西東遊，使者曰：「此清淨境也，盍為亭？」大師乃建于寺之南嶺上。從三十尺，衡如之；左倚山，右入潮音洞。云：「予聞從西方過十萬億，國名淨土，纖穢不存，以黃金為地，寶樹重重，迦陵頻伽能演妙法，人思至之有不能得。豈意東海之區、清淨之境為頗近之邪？是宜大士顯靈于其地！」勒銘亭上，并叩知唯心之學者。大

師，字大基，行丕其名，鄞人也。宗說兼通，行解相應，蔚為時之名僧。初由佛隴昇主是山，匡眾說法，恢復產業。而振興乎叢林席者，非茲之可備載，故畧而不書。銘曰：

大海東匯　厥名維瀛
并包川洛　混合坤經
鯨波四繞　龍島中停
濯濯綠淨　皦皦青熒
片滓弗立　纖塵不驚
如蓮出水　類鑒含明
流雲斂翳　新旭爭熒
金沙布地　寶樹森屏
巨石佛足　嵌洞潮聲
大士顯瑞　梵童揚靈
仙帶翻縹　玄珠垂瓔
月相穆穆　颺馭冷冷
龍君持戟　水伯捧旌
衛茲勝持　控此高冥
倬彼開士　爰謀建亭
莫平匪砥　有覺惟楹
直遡寂廓　將齊攖寧
塵因道寂　境逐心清
徜徉淨國　周流覺城
敢告來裔　庸勒新銘

## 補陀山觀音偈(有序)

釋性徹

余洪武十七年孟夏上旬泛海遊山，諦觀聖境，頓見水天一色，淨若琉璃，萬象森羅，炳然齊現。所覩靈異，難以具陳，是故踊躍歡喜，自不知形身在于人間世也。信知如來說《華嚴》時，入海印三昧，豈欺我哉？偶于洪武乙亥冬夢遊是境，與昔無別。遂乃焚香遙禮，輒伸鄙見，說偈贊曰：

菩薩常居娑竭海　慈悲願弘無向背
分明化境滄海東　應現諸方無不在

所證三摩地　那分西與東
突出摩醯眼　八面虛玲瓏
海印發輝炳然現　懸河四辯明真宗
花開小白巖　天香吹徧界
紫竹旃檀盡作林　孔雀頻伽歌梵唄
昔年親曾海上遊　靈山倒卓波面浮
可是圓通真境界　白衣妙相乘蓮舟
四圍縱周覽　浩渺難可窮
上極通霄漢　下瞰龍伯宮
波光瀲灩吐陰火　潮音日夜號天風
雲鋪白銀界　地布黃金沙
琉璃相間錯　有若優曇花
磐陀上看扶桑日　紅輪湧現猶天車
覽斯妙境非實相　普門示現如夢想
幻出樓臺縹[緲-目+耳]間　寶網珠光遞輝朗
聞聲豈是聲　見色原非色
別是一壺天　智識誰能測
經行宴坐水晶宮　受用風清與月白
十聖及三賢　到此應難渡
萬[泳-永+(瓜-丶)]洄漩任參互　潛流密布四神州　潤濕羣萌為雨露
我今親禮贊　惟垂遙鑒知
併却見聞知覺　掃除語默離微
徹底揭翻生死海　普令頓證佛菩提

## 吳郡康時萬等捐貲造印《妙法蓮華經》二十四部送南海補陀山寶陀禪寺供奉

王世貞(太倉人　南京刑部尚書)

妙法蓮華　諸經中王
我觀世音　菩薩中王
眾善知識　合造此經
二十四部　歸于普陀
大士道場　妙音梵音
與海潮音　罔晝夜間

一切聖凡　能轉此經
縱看經轉　功德大小
永不唐捐　我見是刊
故說此言　鳥王龍王
修羅波旬　皈依護持
有毀侵者　頭破七分

## 應制

### 聖母印施藏經讚(有序)

申時行(吳縣人　少師　大學士)

(臣)等竊聞釋教來自西土，興于東漢。其說主清淨出世，帝王所不道。然而訓化廣大，義旨遐深，要歸于澄徹心性，利濟民物。是以雖當儒道昌明、宇宙淳和之際，而其道不廢。大乘般若以來，祖祖相承，心心相印，卷帙益多，裒為大藏。總持禪言，武庫莫方其富；尊函禁地，緇流弗覩其全。非俟上聖垂仁，曷以播宣斯理？我聖母慈聖宣文明肅皇太后，德冒 人寰，功周法界；融最上之真諦，懷
大覺之弘慈。乃印施茲藏，以祝延我皇上無疆之曆；而推其餘以佑
國庇民，意甚盛也。(臣)等因得涉獵，稍窺玄微，似於儒理，亦有相發明者焉。謹對揚皇上之休命，奉宣聖母之德意，拜手稽首為讚曰：

粵惟聖道　如日麗天
萬有畢照　誕被八埏
亦有釋教　如月破闇
接引未來　超登彼岸
於皇聖母　毓成帝德
治化丕覃　億兆寧一
載弘大願　永抜沉淪
外息諸緣　內淨六根
嘉與眾生　永臻覺路
皈依十方　如寐得寤
諸佛妙義　如恒河沙

示權顯實　會演三車
若誦一句　若說半偈
是人功德　盡未來際
况茲大藏　建寺延僧
成修寶塔　造捨金容
廣施貧苦　普赦幽冥
功德無等　喻如虛空
續燄分燈　灌頂輸露
火宅惠凉　昏衢錫炬
迷川寶筏　如無盡意
似功德林　廣度有情
四流六通　咸歸正乘
微塵國土　徧蒙佛力
一一國土　皆聖母德
微塵世劫　流布施經
一一世劫　皆聖母齡
廼惟本願　為帝祝釐
天子萬壽　與天巍巍
載惟本願　為民祈福
天子惠民　澤施滲漉
匪民是庇　國祚茂延
助我聖道　日月並懸
是藏流行　無界無盡
施者功德　亦莫究竟

## 印《法華經》歌(有序)

沈一貫(鄞人　少傅　大學士)

龍伯貞，雅士也，佐余郡有聲然，時有入道之心焉。一日過補陀勘事，而疑僧眾之不齊也，取《法華》一函焚之，駈之超焉以徵信。夢神人傳佛旨曰：「奉道毀道，罪當不宥，罰作三石牛嗇官。」蓋冥官也，伯貞頓首祈。而山有大智師者，亦助之懺。良久，始免已。夢告者曰：「欲償經乎，用百當一。」于是伯貞就余家印《法華》百以進，從此嚮道彌篤矣。異哉！大士之示靈有赫，而伯貞之囲心速也。余欲成其美，為賛一辭。篇末數言，蓋老氏絕

棄之謂、釋子呵罵之談。莊生所謂非過孝之言，不及孝之言也。伯貞得無變虎色乎？毀道有罪，戲論亦有罪，余烏乎敢？君請勿疑。

楚中山川絕天下　龍侯稟其最奇者
為吏不肯兄龔黃　為文又欲家班馬
來官我郡近四年　手披口决如湧泉
細民怙之為二天　老吏吐舌不敢前
遍搜至人作師友　布衣窮巷常周旋
心好山水幽勝處　攀蘿躡磴栖青烟
當年曾讀叅同契　飄飄庶幾試其事
掛壁蒲團代象牀　赤脚雙童當家累
龍侯龍種靈且幻　幻出人心最神異
郡中佛域補陀巖　五臺峩眉鼎足三
靈蹤中廢比興復　四方趨赴負且擔
叢林人多訟事起　不辭揚帆入海水
指揮劈畫具有條　鱗次綺分端可儗
總為衛佛心太殷　欲吸海水澆羶葷
自爇金函作盟呪　羣駈僧眾凌烟雰
目見千里不見睫　手欲渡人先浪涉
未睹如來騰玉毫　已見韋馱按金鋏
病中忽自縶南冠　定裏俄成白骨觀
勑遣冥中作牛吏　誰堪世上為龍官
新從下土不知體　顧此愚誠良不昧
智師助懺懇且哀　蜿蜿癡龍此時蛻
為余敬乞蓮華百　因師上贖如山大
世人且莫輕癡龍　慈恩慧愛於君鐘
嚴父何曾笞路子　聖人詎肯呵凡庸
龍侯生還未是還　大還還在蓬池間
修士自能遵覺路　宗師也不逃深山
焚却木人乾却海　此時歡笑黃金顏

## 恭遇皇上奉聖母敕命賜南海寶陀寺藏經頌(有序)

屠隆(鄞人　禮部主事)

夫如來之教，勝殘化暴，徹蓋導迷；以清淨為本，以觀照為功，以漏盡為真諦，以解脫為了義；上則入流證聖，得以超劫越

塵，下則去垢離嗔，賴以懺謟寡過。羽翼儒教，弼助皇化，偉彼功德，作我津梁矣。然世必賴明王喆后信奉皈依，植慈氏之藩籬，為人天之眼目，然後士庶雲涌，善信波馳，興起因緣，宣暢教典，所關繫詎細故哉？恭惟皇上，天縱神聖，再來英喆；手握乾符，躬承泰運；敉寧億萬，紹隆三五。乃於萬機之暇，凝神玄默，究心禪宗；欲以闡揚三寶，法式九圍。遵奉慈聖皇太后懿旨，特頒詔勑，印施前後藏經六百三十七函。四十一函到補陀洛伽山寶陀禪寺，僧眾踊躍，龍神懽呼。東方臣庶，始知泥洹之教果為苦海寶筏、迷途慧炬。其在聖主，尚爾尊崇，况我庸愚，詎敢褻慢？大教興起，玄風遐暢；化行俗醇，德厚刑措。於都哉！美矣盛矣！草莽(臣隆)於是以手加額，稽首作頌曰：

皇帝在宥　風翔化溢
乘日之車　颼霆駛疾
不鞭而馳　不教而率
翼而助之　厥惟能仁
以淨治垢　以慈治嗔
以真治妄　以解治梦
巨周沙界　細入微塵
消煩達滯　揭冥破昏
超出橫豎　師表天人
乃有冥頑　婬凶暴盭
賞不能勸　刑不能艾
或因慈氏　掀翻錮蔽
自投三寶　稽首懺悔
無明為障　積業隕福
歷劫輪轉　曷繇拔足
皈依大悲　永超五濁
或修六度　或行十善
證聖像流　大道是踐
行解相應　諸佛立現
譬如飲海　各滿分願
善哉聖力　徧覆大千
皇德閎鉅　與佛齊肩
綿曆永祚　億萬斯年

## 補陀觀音大士頌(有序)

夫理有去來，宏通之機斯顯；位有權實，圓明之妙無方。觀世音菩薩者，古正法明如來也。如來實相，既已臻無上之尊；菩薩應權，乃退處大乘之號。譬彼國王，下攝上將；猶夫宰輔，出領監司。行教則蹔遜其權，證道則無改其位，何以故？蓋如來體尊，尊則下土多于敬畏；菩薩地近，近則眾生易以皈依。而觀世音，心珠朗耀，齊妙覺以證三摩；性海澄浤，超聲聞以圓四智。故善財徧叅其妙法，來諸聖之欽崇；釋迦授記以圓通，同文殊之廣化。般若義深，善得法門無漏；仁慈觀熟，徧于此土有情。揭暗破昏，高懸慧炬；消災救苦，普施津梁。通十方三界為一界，毛竅聲響之悉聞；合千百億身為一身，痛癢爬搔之必切。流轉迷倒，無不哀憐；蠢動含靈，咸所度脫。雖揵連之救母，不足喻其大悲；即恒河之數沙，不足酬其弘願。人非人等，因物而現；自在之身，離慾離嗔。隨念以著靈感之效。威音伏眾，刀兵水火潛形；勝力降魔，羅剎鳩般拱手。誦白衣之號，則孕嗣充閭；望紫竹之林，則漂舫及岸。百戰猛夫，睹蓮花洋而魄褫；九幽獄鬼，洒楊枝水而魂甦。凡夫苦行薰脩，頓叩香臺法座；居士至心悲仰，立見聖相圓光。兜羅銀界，琉璃嵌七寶雕床；華蓋金幢，瓔珞暎五雲錦帶。西成道于天竺，迦毘之種既已星奔；東顯化于洛伽，娑婆之眾益以泉涌。偏陬陋壤，被功德者無涯；愚媼村氓，奉香火者恐後。照深潭，潭潭見月，月止一輪；爇寶鼎，鼎鼎皆香，香無二性。真妙莊嚴，無復唐捐，藏秘密不可思議者矣。于是弟子敬薰沐，和南作頌曰：

大哉法王子　累劫行薰修
想觀既成熟　漏盡得無礙
圓明了一切　十方咸照徹
剎那千手眼　或億萬化身
恒河沙世界　悉歸掌輪中
大千蠛蠓形　亦如蠐螬響
所有微塵眾　如來悉見聞
所見亦非目　所聞亦非耳
由通妙明性　而融耳目相
隨物皆應現　巍巍不動尊
尋聲救苦難　疾於激弩矢
誓扳度眾生　普徧娑婆土
乘彼弘願力　亡不得所須
譬如汲海水　盡甕盎甑罌

咸令滿足去　大海不減損
願苦惱眾生　一心歸命禮
或頌阿哩耶　咸稱帝濕伐
觀音脅蠻至　扳汝出苦海

## 普陀寺募緣疏

屠隆

原夫現在觀世音菩薩，即過去正法明如來。如來是其證果，菩薩乃其權位。借果行因，已歷經乎多劫；開權顯實，為普度乎羣靈。首標千二百功德，思脩深于[這-言+歹]聞；獨超二十五圓通，入流妙于忘所。大悲弘願，遍恒河界悉作津梁；應感隨緣，傳空谷響捷于桴鼓。維補怛洛伽山勝地，迺大士說法道場。靈潮嘯吼，孤懸菡萏香臺；空水澄鮮，別廠瑠璃寶地。龍部聽經，香繞霞衣少女；天人護法，光生電甲長神。金燈照夜，遙分紫竹于林端；玉殿干霄，下暎紅蓮于波面。八難三途，隨呼輒應，下寶筏而力扳之苦海；四生六道，有感必通，秉慧炬而悉照彼迷方。白叟黃童，青娥素媼，頂如來而繭足皺皮，[拚-厶+去]命鯨鯢之窟；辮髮椎髻，羣面文身，捧瓣香而梯山航海，皈心龍象之尊。茲可謂眾生之慈父，震旦之樂邦也。邇者，緇素雜處，染淨同居。清淨比丘，力欲薰修而紹隆佛法，闡提惡種，乃敢盤踞而壞亂清規。是以龍天動威以懲邪，伽藍揚靈而護法。上將登壇，朗陵之刀偃月；童真奉道，韋馱之杵如霜。天然毀佛而蒙誅，復洩禍幾於如岳；龍丞焚經而被勘，幸賴禱謝於眾師。明神之肹蠁彰，其柰魔眾之昏迷難悟。我如來是用授肯金剛力士，屏滓穢而掃除；假權回祿祝融，付殿宇于烈焰。巢穴一空，魔羣之盤據自散；威靈大赫，佛子之懲創益深。是父母慈嚴之並用，大士折攝之微權也。殿堂盡燼，獨金身瓔珞儼然；棟宇俱焚，惟關聖鬚眉無恙。非大法神靈之最於昭顯灼者哉？宰官目繫心恫，業分善惡而沙汰；闡提魂消神悸，亦懼罪業而逋逃。于是戒行僧真宰、如迴等，痛道場之頹廢，慨大法之陵夷；願捐糜以報佛恩，將竭力而興西教。適皇上遠降鸞章，表信心於中使；聖母式頒龍藏，將誠意於寶函。沐九重曠蕩之恩，洵三寶興隆之會。隆竊思佛法懸於皎日，慈光亘古昭明，梵宇遍乎名山，天神隨處擁護。有如佛法不大昭明；則香花幢蓋之森羅胡以徧億兆而供奉？天神不加擁護，則梵王帝釋之旁列胡以歷萬劫而常然？世界本同火宅，非如來之甘露，何繇灌灑而清凉？惡業永被牽纏，非慈氏

之法門，何繇放捨而解脫？矧大士乃眾生皈依之父，比十方諸佛為最親；補陀乃大士說法道場，實萬邦善信所共仰。殿宇不設，則羣生瞻仰弗尊；瞻仰弗尊，則凡情向善無路。由斯以談今日之火，乃伽藍之警省乎頑愚，非如來之自廢其大法也。威靈痛折之後，沙門之懲艾方深；叢林燬壞之餘，棟宇之鼎新當亟。伏念名山道場，度工力既極其浩大，則檀波喜捨，此功德亦不比尋常。仰惟諸宰官居士、善男信女，其力圖之，幸甚！

## 普陀山太子塔下藏零牙志(有序)

傅光宅(聊城人　御史)

嘉靖初年，有南峯和尚過山東之靈巖寺，遺一齒，請僧轉呪，藏之塔下；作〈零牙記〉，詞意精妙，大啟後學。余茲來南海，留三日，去而為風濤所阻，復[這-言+歹]山中。是日大病，夜深方愈。次日忽蟲食殘牙自落，余因法南峯和尚之旨，且答大士攝受之恩，亦請僧轉呪，埋於塔下。夫佛以四諦轉法輪，一法即萬法，無少無多；人以四大成色身，一體即全體，無二無別。且四大惟地大最難壞，而今乃先離之，乃無痛苦。若四大全離時，亦如此無痛苦，則於大法思過半矣，豈以早晚為計哉？此牙得藏寶地，依大士慈光，則我身心全體在光中也，因為之偈曰：

一即一切一切一　此牙是我我是誰
塔前常浸菩提水　石上應長青蓮枝

## 禮普陀大士偈

釋傳燈

稽首觀音　大悲之主
我今說偈　畧讚所以
所以者何　所謂三摩
菩薩證入　常住寶陀
寶陀山在　今之南海
世界有壞　此山不毀
山居世界　云何不壞

誠由菩薩　心得自在
心自在故　山亦堅固
境即是心　迷亦成悟
故菩薩身　坐紫竹林
微風吹動　常演法音
金沙布地　七寶為砌
功德之香　白華泛瑞
青青楊柳　四時常有
水盈淨瓶　塵不能垢
潮音洞中　常顯神通
出沒無礙　其由履空
磐陀石上　毫光常放
一切眾生　莫不仰望
以仰望故　來者沿路
為求菩薩　作彼依怙
菩薩大聖　感無不應
隨彼所求　惟願是聽
欲演法音　先為現身
十法界象　不出一心
蓋此一心　具無量身
此一一身　橫廣豎深
此一分心　誰人不有
眾生循聲　自生過咎
菩薩妙智　不同於世
從聞思脩　入三摩地
無量劫中　證此圓通
超世出世　異而復同
以由同故　能覺迷悟
眾生蒙此　遠離恐怖
故菩薩身　或現千手
無非示現　眾生本有
於一一手　各有一眼
眾生千現　亦復不減
從此一千　增至八萬
普令眾生　即心成辦
蠢蠢之曹　各具塵勞
即障顯德　道固非遙
既現身已　乃為說法

大小偏圓　渡河之筏
身而無身　說而無說
澗畔松風　水中明月
以無身故　無所不身
高低嶽瀆　普現色身
以無說故　無所不說
遠近潮音　出廣長舌
即此形聲　號曰普門
我於日用　無不見聞
惟願菩薩　令我開悟
一超直入　妙莊嚴路

釋傳如

大悲觀世音　成就自在力
於聲旋聞機　所亡聞性寂
不啻泯前塵　能聞亦無住
無住之覺空　空覺盡圓極
圓極生滅滅　是成真實滅
即滅演妙相　以入微塵國
相由心妙故　無相無不相
或現百千首　或現千萬臂
所現目亦然　斯由本來具
或在極樂國　輔佐無量壽
或在堪忍界　亦佐於寂默
釋尊已示滅　大士當何在
南海中有山　其名小白華
菩薩之妙身　現於山之上
山奚名白華　菩薩名自在
以白離諸染　自在無煩惱
以離染污故　能現一切境
以無煩惱故　能聖一切生
故大士所證　身處或稱妙
依正微妙故　乃所謂普門
誰謂我無耳　出流正奔逸
誰謂我無心　煩惱正擾亂
誰謂我無處　所依皆染著
展轉唯塵勞　曠劫沉障礙

今唯大士歸　示我圓通境
悔昔聲色迷　眼耳莫易地
今於音云觀　所視亦非色
知觀不住觀　是名觀世音
了無住而住　是名觀自在

## 補陀海潮寺開山大智禪師碑

屠隆

夫妙達性宗，開智慧海，則解為朗炬；嚴淨佛事，入功德林，則行為弘基。心炬不朗，則一切作為總屬人天有漏，何以燭理而爍羣昏？德基不弘，則空虛見解徒騁棒喝機鋒，何以實脩而圓萬德？是故局功行而體昧空寂，雖以梁武之廣造塔度僧，見呵初祖；倚狂慧而行染污邪，雖以善星之解十二部藏，難免泥犁。經不云乎，理因頓悟，乘悟併消；事非頓除，因次第盡。三摩禪那，以為妙悟；六度萬行，以為莊嚴。是諸經之總持，千聖之密印也。末法眾生，明道者多，行道者少。少室師嘗記之：邇者，世智辯聰，竄入聖解；盲鞭瞎棒，動託宗門。法師高登講座，戒行不持，而曰「吾舌吐蓮華，知人天之沾法雨」。縉紳沉身慾海，無業不作，而曰「我腹有貝葉，如慧日之消雪霜」。此適足揚韋馱之杵，奮北酆之筆爾。雲棲師作《崇行錄》以救之，為慮深矣。補陀海潮寺住持大智禪師，靈心朗晳，戒德孤高。披精進鎧，薰修翹勤於六時；建勇猛幢，功行加持於三寶。自幼嚴脩梵行，尊宿讓而傾心；亦以宿種善緣，道俗望而引領。曾興峩眉叢林，肅震旦之區；繼去鋟華雲水，寄巾瓶之迹。遂卓片石盖頂，巖霜裂膚。渴則飲海，饑則茹荼。砥行良苦，翹勤佛事。至德不孤，歸者如市。遂營梵宮，遂奉大士；壯擬王居，麗如忉利。六時行功，僧徒翼翼；不肅而嚴，如守三尺。有威有儀，無怠無斁；戒壇清規，永可為式。一旦西逝，幢幡來迎；玉毫中見，蓮華上生。蛟龍夜泣，猿鶴哀鳴；師雖化矣，遺風故在。我瞻名山，僧規匪懈；松色經函，潮聲梵唄。和南禮佛，羯磨講戒；浩渺海壖，居然法界。

## 二大士傳

釋真一

補陀潮音洞有二大士者，一現男子身，一現婦人身，面目黧黑，頭髮鬈亂。萬曆三十三年，婦人以六月至山；男子禮九華，以十月至山。居於洞南之山頂石上，各以茅苫一蓬，高不過三尺。上漏下濕，匡坐其中，唯飲水茹蔬而已。人與之米，不辭；與之錢，亦不辭。有游衲至，竟散與之。或數日絕粒，亦不以為病。山中人以為丐者，莫之知也。余偕居士陳載卿夜至其所，默然與之坐，不通問訊，彼亦不驚。顧舉燈視之，惺然無昏睡狀。余始與之談，男子但笑而不言，婦人則隨叩隨答，不作道理會。而吐詞等，刀鋸莫可犯其鋒。問其姓名，則曰：「有甚姓名？」問其年紀，則曰：「有甚年紀？」問其何許人，則曰：「有何方所？」問其曾住何山，則曰：「住終南為久。」問其見何道理，則但曰：「眼見大海，耳聞風聲、雨聲、潮聲、鳥聲。」問其作何工夫，則曰：「有時想起觀世音，便念幾聲，餘則唯坐，坐中亦無甚做工夫處。」其言詞直捷如此，似胸中無一物者，余大駭之。春二月，人皆來謁洞，男女堵觀之曰：「汝輩各自安隱去，問我何為？」遂不見。

普陀山志卷四

庠生　管萬里　余詠　仝校

## 事畧

### 補陀洛迦山考

元盛熙明(龜茲人)

九州之山川具載於書傳，山海之詭奇亦見於圖記，其來尚矣。謹按：「補陀洛伽」者，蓋梵名也，華言「小白華」。《方廣華嚴》言善財第二十八叅，觀自在菩薩與諸大菩薩圍繞說法，蓋此地也，然世無知者。始自唐朝梵僧來覩神變，而補陀洛伽山之名遂傳焉。盤礴於東越之境，窅茫乎巨浸之中。石洞嵌巖，林巒清邃。有道者居之，而阿蘭若兆興焉。似非好奇探幽、乘桴浮槎者，罕能至也。惟我皇元，際天所覆，均被化育；梯航所及，靈跡悉著。至於茲山，瞻拜相繼，肹蠁昭答，不可勝紀矣。然圖志脫漏，言辭庸謬，四方何傳？僕頃因謝病，偶在海濱，恭叩靈躅，旁搜經籍。首集自在之功德，繼攷洞宇之勝槩。若夫由心所見，光景斯彰，因緣有待，廟塔興建，具載於篇。能遊目者，不起於坐，飛神於大方之外。當知清淨光明，廣大悲心，與菩薩無二。推惻隱之端，躬行於日用之間，非徒空言也。倘欲南詢，亦必問津於此；而與善財同乘般若慈舟，共達毘盧性境；入海印之三昧，證大悲之法門；圓解脫之深因，滿普賢之願海。普令法界含生盡登菩提彼岸者，豈虛謬哉！

### 自在功德品

釋典所載菩薩名號，如恒河沙數，不可勝計。惟觀自在，洋洋赫赫，功德獨顯乎世間。凡遇厄難，竭誠稱念，稽首請命，亦徃徃如影響。誠由行願弘深，大悲無礙之力也。廣如藏教，今畧陳之。梵云「阿哩耶婆盧吉帝」，此云「聖觀世音」。又梵云「阿縛盧枳帝濕伐羅」，此云「觀自在」。諸經所稱，或單云「觀世音」，或云「觀自在」，或兼云「觀音自在」。《觀音三昧經》及《大悲經》、《悲華》諸經說：「此菩薩久已成佛，號正法明如來。」又云：「後成正覺，號徧出一切光明功德山王如來。」

《楞嚴經》云：「觀世音菩薩言：『我昔於無數恒河沙劫，有佛出現，名觀世音，教我從聞思修入三摩地，於聞中入流亡所。所入既寂，動靜二相了然不生。如是漸增，聞所聞盡，盡聞不住；覺所覺空，空覺極圓；空所空滅，生滅既滅；寂滅現前，忽然超越世出世間，十方圓明。上合十方諸佛本覺妙心，同一慈力；下合十方一切六道眾生，同一悲仰。由於供養觀音如來，蒙授如幻聞薰聞修金剛三昧，身成三十二應，入諸國土。所謂佛身、獨覺、緣覺、聲聞、梵王、帝釋、自在天、大自在天、天大將軍、四天王及天王太子、人王、長者、居士、宰官、婆羅門、比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷、女主、童男、童女、天、龍、藥叉、乾闥婆、阿修羅、緊那羅、摩呼羅伽、人、非人等，我於彼前，皆現其身，而為說法，令其成就，令諸眾生獲十四種無畏功德。彼佛嘆我善得圓通法門，授記我「觀世音」號，由我觀想十方圓明故，觀音名徧十方界。』」

《法華經》云：「若有眾生受諸苦惱，一心稱觀世音菩薩名號，即得解脫。若水火雷電、龍蛇惡獸、夜叉羅剎、王難枷鎖、軍陣怨賊，諸難之中，能施無畏；於苦惱死厄，能作依怙；現三十二身，隨類說法。地獄、鬼、畜生，生老病死苦，以漸悉令滅。」

《大悲心總持經》云：「若有誦持大悲呪者，即滅百千億劫生死重罪，不墮惡趣。臨命終時，十方諸佛皆來授手，隨願往生諸淨土中。能獲無量等持辯才，解脫八難，滅除三毒。一切所求無不成就。」大悲總持具載別本。

藏教密乘經中所載，觀自在菩薩為蓮華部主，現諸神變。忿怒則稱馬首明王，救度則聖多羅尊，滿諸願則大准提尊及如意輪王、不空罥索，乃至師子吼并毘俱胝、一髻、青項、白衣、葉衣、千首、千臂，皆有儀軌，真言畧舉其名。若西天未譯番本，師傳本續真言要門，未易悉究。

今上即位之初，聖師大寶葛嚕麻尼自西域來京師。解行高深，福慧具足。明通三世，闡揚一乘；同自在之慈悲，宣六字之神力。上自宮庭王臣，下及士庶，均蒙法施，靈感實多，不可備録。將非大士之應化者乎？然江南未之聞也，故畧紀其實。若六字呪，師所常誦：

唵嘛呢叭[口*迷]吽。

◇◇◇◇◇◇。

功德具在《莊嚴寶王經》。

## 洞宇封域品

世傳蓬萊、方丈，若弱水中，非飛仙莫能到。昔秦王、漢武窮年遠討，勞神苦體，卒如捕風追影，終不得其涯涘。今小白華山，距四明不遠，為聖賢託跡之地；石林水府，神光瑞像。雖在驚濤駭浪之間，航海乘風，刻日可至，故特舉其勝槩如左。《昌國志》云：「昌國州在東大海西，星紀之次，在牽牛婺女分野。昔夏少康封庶子於越；至句踐滅吳獲夫差，欲使居甬東百家。」杜預云：「句章，東海中洲也。」《國語》以為甬句東。今州有甬東村是也。由秦歷漢，屬鄞縣。唐開元廿六年，以鄞縣置明州，領縣四。翁山，今之昌國也。五代後，改鄞為鄞，則又屬鄞。宋熙寧間，創縣為昌國，東控日本，北接登萊，南亘甌閩，西通吳會，實海中之巨障。皇元至元十五年，陞縣為州。寶陀寺在州之東海梅岑山，世傳梅福煉丹之所，釋所言「東大洋海，西紫竹栴林」者是也。自四明陸行東九十餘里，過穿山渡至大榭，再經嵩子渡至昌國州，陸行七十里，沈家門一渡至山，周圍僅百里許，環繞大海。馮高望昌國諸山，隱隱如青螺，東極微茫無際，日月出沒；上下若鑑，微風時來；雷轟雪湧，奇絕孤迥，非復塵世也。山茶樹高數丈，丹葩滿枝，猶珊瑚林。水偃紫蓀，芳菲滿地；金沙玉礫，的落璀璨。潮音洞，菩薩示現之所，去寺三里，至洞皆黃沙。石洞巉巖，瞰海四顧無畔岸，人跡不及。洞上有穴如天窓，下屬洞前。舊有石橋橫亘，可以瞻禮，今崩廢。善財洞，在潮音洞右，亦祥異顯現。巖石有罅，峭峻蹙逼，中窅叵測。其外則石崖壁立，泉溜如珠不涸，謂之「菩薩泉」。瓶罌盛貯，以洗目疾。磐陀石，平廣，上坐百餘人，下瞰大海。五更，遠見扶桑五色光發，項有一輪極大，從海涌出，真奇觀也。三摩地，在寺西偏，登山由此。有亭曰「極清淨」，嘉木森秀，清泉甘冽，亂石錯出，有聳立者、踞伏者，奇詭萬狀。真歇菴，在寺後山深處。真歇了禪師修道菴中，後圓寂立塔。無畏石，在真歇菴前，突然方廣，然峻不可陟。獅子巖，在無畏石側，形如獅踞。左，玉趣峯，靈鷲峯，觀音峯。

## 感應祥異品

嘗讀《楞嚴》，謂世間曠野深山聖道場地，皆阿羅漢所住持，故世間麁人所不能見。是山是梵僧啟其端，而始知大士之宮宅，其信然乎哉？或因風濤怖懼而致禱，或好事尋幽而有遇；使者銜命，至誠所格；緇素夙緣，目擊道存，如鏡中像、水中月，皆有清淨心現，徃徃不同。自昔多失紀録，今姑存一

二，俟來者繼述焉。唐大中有梵僧來洞前燔十指，指盡，親見大士說法，授與七寶石，靈感遂啟，始結茅居。日本僧惠鍔從五臺

山得菩薩像，將還國，抵礁石，舟不能動。望潮音洞默叩，得達岸，乃以像舍於洞側。張氏家屢睹神異，遂舍居作觀音院。郡將聞之，迎像入城，為民祈福。未幾，有僧，不知何許人，索嘉木，扃戶刻之。彌月像成，僧不知所在。所奉菩薩像即此也。元豐中，謁者王舜封使三韓，遇風濤，大龜負舟，惶怖致禱。忽睹金色晃耀，現滿月相；珠瓔粲然，出自巖洞。龜沒舟行，泊還，以上聞，始錫寺額曰「觀音寶陀」。自是海東諸夷，如三韓、日本扶桑、阿黎、占城、渤海數百國，雄商鉅舶繇此取道放洋，凡遇風波寇盜，望山歸命，即得消散，感應頗多。崇寧間，戶部待郎劉逵、給事中吳栻使高麗。及還，自羣山島經四晝夜，月黑霧翳，海面冥蒙，不知向所。舟師大怖，遙叩寶陀。未幾，神光滿海，四屬如晝，歷見招寶山，遂得登岸。宋給事中黃龜年恭禮洞前，親睹大士紫金自在相朗然坐石上，偕遊老稚俱見，備作讚頌。紹興戊辰三月望，鄱陽程休甫、四明史浩至此，翌蚤詣潮音洞，寂無所睹，炷香供茶，盞浮花瑞。歸寺食訖，晡時再至洞門，俯伏苔磴，凝睇嶔空，惟亂石纍纍，興盡欲[這-言+歹]。有僧指曰：「巖頂有竇，可以下瞰。」攀緣而上，瞻顧之際，瑞相忽現，金色照耀，眉目瞭然。二人所見不異，惟浩更睹雙齒潔白如玉。於是慶快，用書於壁，庶幾來者觀此無疲，不以一至不見而遂已也。又傳，史衛王彌遠見茶樹上示一目，蓋二十年相業之讖也。咸淳丙寅三月，范大尉以目疾，遣子致禱洞下，無所遇，汲泉歸，洗目既愈，復命子來謝。洞左大士全現，淡烟披拂，猶隔碧紗。繼往善財洞，童子忽現，大士亦現，縞衣縹帶，珠瓔交錯，精神顧盼，如將示語。紹定庚寅十月，慶元昌國監胡煒登大士橋，禮潮音洞，倏現火明，左則月蓋長者與童子並立，一僧居右；師子盤旋，兩目如電。及至善財巖，童子再現，黛眉粉面，寶蓋珠鬘，森列于前。旁現一塔，晶彩煥發。眾僧曰：「我等雲集，歷年未睹，今承恩力，共覿色相。」遂刻山圖于石，以示悠久。嘉定歲，僧修者所祝大士栴檀像偶毀，亡一指，心甚懊惋。後於洞前波間浮一花，視之，乃向失像指，眾尤異之。淳祐連歲苦旱，制帥顏頤仲禱雨洞中，大士并童子喜悅出迎，自是隨求輒應。皇元至元十三年丙子六月，丞相伯顏定江南，部帥哈喇歹來謁洞下，杳無所見，乃張弓引矢，射洞而迴。及登海舟，蓮花滿洋，遂驚異悔謝。徐見白衣大士并童子像，於是施財，莊嚴像設，并搆殿於洞上。大德五年，集賢學士張蓬山奉旨祝釐潮音洞，見大士相好，彷彿在洞壁。次至善財洞，童子倏現，頂上瑞靄中，大士再現，寶冠瓔珞，手執楊枝，碧玻璃椀，獲法大神衛翊其前。久之，如風中烟，漸向銷沒；但祥光滿洞，如靄霞暎月。見數尊小佛，作禮慰快而去。致和元年戊辰四月，御史中丞曹立承上命降香幣，至

洞求現。忽見白衣現相，瓔珞被體。次及善財洞，童子螺髻素服，合掌如生。適以候潮未行，再叩再現，而善財洞大士亦在。童子鞠躬，眉目如畫；七寶瓔珞明潔可數，羣從悉見。嘗詢諸耆老，云：「自昔遊者，至今為盛。若夫西域名師、王公貴人，備極精誠，有睹白衣禪定，或冠珮莊嚴，或千首臂，或坐立異相。有眉目儼若，親承于咫尺；或景像縹[緲-目+耳]，若瞻對乎繪素。至有羅漢長者，童子天龍，前後翊從；寶瓶蓮花，森列乎海波；頻伽鸚鵡，飛翔於香靄。共見如一，或獨見非常，變化示現，殊不可詰。若夫竭力遠來，罔遇恍惚，常居其境，終不得瞻望餘光者亦多有之。」

## 興建沿革品

海嶠孤絕，蛟龍呵護，自非遺世高蹈者鮮能棲息也。草茅以為廬，朮芝以為食。歲月既久，輝光煥發，致感王臣之崇重，士民之歸仰，大其宮室，廣其田疇，以養其徒侶；修習至道，將與山川增重，助益風化於無窮也。梁貞明二年，日本僧惠鍔首創觀音院在梅岑山之陰。宋元豐三年，王舜封使三韓，遇風濤有感，以事上聞，賜額曰「寶陀觀音寺」；置田積糧，安眾修道，歲許度一僧。紹興元年辛亥，真歇禪師清了，自長蘆南遊，浮海至此，結菴山椒，扁曰「海岸孤絕禪林」。英秀多依之，郡請于朝，易律為禪。嘉定三年庚午八月，大風雨，圓通殿摧。住山德韶言於朝，賜錢萬緡，七年殿成。潮音洞無措足地，鑿石架橋，凡六年。御書「圓通寶殿」、「大士橋」以賜，建龍章閣以藏之，植杉十萬。是時，有田五百六十七畝，山千六百七畝。是年，丞相史彌遠承父志，捨財莊嚴殿宇，廊庾備具，香燈供養。上聞，賜宸翰，并金襴衣、銀鉢、碼磁數珠、松鹿錦旛。陳帥機施錢二百六萬，置長明燈。淳祐八年戊申，制帥顏頤仲禱雨有感，施錢二萬，米五十石，置長生庫接待莊，仍請于朝，免租役。皇元大德二年戊戌春，中宮命內侍李英降香，修繕寺宇像設。明年春，宿衛孛羅奉旨降香，賜金百兩；命江浙省臣董其事，一新棟宇。供嚴之具，金碧璀璨。四年春，遣使魏也先等飯僧轉經。及歸，以玉琢聖像獻。五年，復遣太出齎綵幡緘香，降內帑二十緡，建演法堂，益修從宇；俾浙省割官田二千畝供僧，於正、五、九月諷誦祈禱，特頒璽書護持。自是祝香齎賜，歲以為常。敕翰林直學士劉賡製文，集賢直學士趙孟頫書丹刻石，以彰聖化。皇慶二年冬，皇太后遣使法華奴等降香，賜主僧袈裟，飯十方僧，敕浙省賜鈔八百六十八錠，買田三頃，以給佛燈長明。泰定四年夏，中宮遣中政同知帖閭賜鈔千錠、僧衣百八、黃金織文幡、金綵綺帛等，供聖飯僧。買田二頃二十六畝，以其入供營繕。

致和元年四月，中丞曹立降香幣及鈔百錠。元統二年，宣讓王施鈔千錠，建石塔，高九丈六尺。至順二年，江西之萬安陳覺和率眾化財，凡八載，範銅為大士像，佛千尊，鐘磬幡蓋供具，今置閣上。我朝列聖相承，信崇佛法，遣使錫予，實不能備記。今上踐位以來，尤加尊異，祝香集福，以錫下民，絡繹不絕。武林西山上天竺寺，自昔相傳，海上浮香木、現光瑞，因刻為觀音自在菩薩像，多現祥異，士民歸嚮。自春至冬，焚香叩禮，雨暘急難，感應如響，積有年矣。至正二十年，杭城薦罹兵燹，西山寺宇盡毀，聖像不知所在，眾共追慕。丞相太尉開府康里公出金旁求，乃於草莽中得之。遂卜日，齋戒徒跣，率僚佐士庶，自北關門恭迎。聖像安奉於今丞相公所建清平山之西天寺中。時聖像上大放光明，照耀雲漢，分為三道：其一遠屬東方，若嚮補陀山者；其一屬上天竺寺；其一徑屬今西天寺。一時咸覩，益加敬仰焉。大都薊州之境，控接檀州有霧靈山，山谷高深，林巒清邃，古昔相傳為菩薩道場。山之上下，舊有寺宇；每歲，士庶敬禮求現，常有綿雲起自谷中，潔白彌滿，凝蔽天日；或變琉璃境界空洞一碧，次現蒲萄纍纍遍布。光暎遠近，忽見白衣端正之像，凌空而立，鮮見面目。然亦徃徃或黑夜有燈，或如列宿，或如爝火，聯暉接燄，凌空遠來，殊不可測。山頂寒甚，澗有泉水，起落應潮，傳云潛通大海也。僕嘗遊五臺山，從礙哩室利師獲聆番本《補陀洛伽山行程記》。始自西竺，至葛剌拶迦羅國有靈塔。當晝夜遶道叩禮，自有告以道里方所，乃可前進。中間歷羅剎鬼國，誘以聲色飲食，慎勿犯之；及種種魔礙之所，但勇徃毋退。復遇寶池，獲飲甘露，身力增倍，儻踐勝境，亦莫貪戀，一心徑徃。漸近聖地，當有馬首金剛遠來迎導，至于下巖，聖多羅尊攝受慰喻。然後詣巖中，紫竹栴檀，森鬱交蔭，流泉清潔，纖草如茵；菩薩充滿，觀自在菩薩常住其中，天龍圍繞。行者至此，蒙宣妙法，即得開悟。凡有所求，依願圓滿。此其大畧，不能具録。以是考之，則决非凡境，豈造次所能至哉？似非此地比擬也。後至四明，屢有邀予同遊補陀山者，心竊疑之，不果徃也。一夕，忽夢有人謂曰：「經不云乎，菩薩善應諸方所。蓋眾生信心之所向，即菩薩應身之所在。猶掘井見泉，然泉無不在。况此洞，神變自在，靈迹夙著，非可以凡情度量也。」既覺而嘆曰：「嗟夫！諸佛住處，名常寂光，遍周沙界，本絕思議，何徃而非菩薩之境界哉？斷無疑矣！」既集成傳，附以天竺、霧靈事跡，并以舊聞。庶顯非同非異，無別無斷，用祛來者之惑也。

補陀洛伽山在東粤之大海中。望扶桑日輪，湧出水底，咫尺間，金光絢赫，五色敷瑩，煥爛心目。泰山日觀，不足奇也。大士觀音坐此道場。自其始興迄今，無片文隻字紀録，以垂考證。間有

之，亦不過述其脩崇土木，侈其壯麗，昭其寵光耳。龜茲盛熙明氏既來遊息，即其事為文，中具四品。其第一品以梵語譯華言，言菩薩功德也。第二品以山川地里言，言奇蹤勝槩也。至於三、四，則以歷代官民祈籲靈異應感，與夫今朝之祝釐賚予言，言所崇信莊嚴也。熙明自乃祖乃父，主居西域，世與佛隣，善誦佛書，深達梵語。故於《楞伽》秘密之典，傳習小白華之事，不啻若自其口出；矧於身親炙之，而不敷揚演說其詳乎？余嘗至正乙未之冬十月初六督漕回還，海舶順風至其地。是日海氣肅澄，天光雲影，上下涵虛。見大士白衣相於潮音洞，與人間畫幀者無異；又見大將軍身與羅漢身於洞口石壁上。一時羣從所見又各不同。慨嘆顧瞻，罔生憎慢。若玉蘭瓊芝之芳馥，異香奇羽之翔鳴，與夫島嶼之玲瓏，烟霞之縹[緲-目+耳]。人事非罕，而遊塵野馬之蹟亦所希有。况近地有號安期鄉、蓬萊都者，景物歷歷可翫。意者，秦皇、漢武為聲聞所誤。倘得見之，亦何有海上別為神仙之求耶？熙明所述為不誣。住山僧睿上人以其傳來請誌，是亦東南一偉觀也，故以書遺之。天台劉仁本題

## 附：舊志序

夫泥垣之教，西教也。過去莊嚴古佛破暗滅冥、覺迷拯溺，茫昧邈綿，莫得考鏡矣！迨自周昭王瑕時，世尊生於迦毘羅國，離家淨飯，脩行彌樓，遍歷苦行，成無上道，普度三界，為天人師。入滅以來，析栴檀木，香別性同；分崑崙源，[泳-永+(瓜-、)]殊波一。然止教行天竺，東土未聞。西教東流，則自漢明帝始。帝感金人示夢，日輪飛空。傅毅采史蘇之石函，闡西方之聖諦。而摩騰、法蘭，首從月氏來集闕下，駝經白馬，獻像優填。王侯貴戚而下，稽首十地，皈心三寶。霞蔚雲蒸，踉蹌恐後。則中國之知信向覺皇，實自漢明發之也。觀世音菩薩者，過去正法明如來，實與釋迦齊肩。以聞思修入三摩地，以大悲因地證如來果。以聞思故，號曰觀音；以大悲故，發弘誓願。欲以普度閻浮眾生苦惱，於是與釋迦同時應化；授記釋迦，圓通第一。而退處菩薩權位，妙脫情塵，智周沙界，事理無礙，機相盡融。三千大千中，有億萬蠛蠓呈形，形亡不見；有億萬蠛蠓發聲，聲亡不聞。因物現身，身身惟一；隨機說法，法法俱圓。菩薩無身，因物有身，是名大身；菩薩無法，隨機有法，是名大法。有億萬物，有億萬身，而其究身物兩空，求一身了不可得；有億萬機，有億萬法，而其究機法兩空，求一法了不可得。不可得身，是故有身，以眾生身為身；不可得法，是故有法，以眾生法為法。眾生惟其有身，是以無身；眾生惟其有法，是

以無法。法與身融，非法非身，亦法亦身；身與法融，非身非法，亦身亦法。是故世音亦菩薩音，菩薩音亦世音。音者亦形，形者亦音；觀者亦聽，聽者亦觀。何以故？眾生以眼觀形，以耳聽音。以眼觀形，觀不隔垣；以耳聽音，聽不掩耳，有障礙故。菩薩形融於音，音融於形；耳融於目，目融於耳；觀融於聽，聽融於觀。觀，亦非耳亦非目；聽，亦非目亦非耳。耳遇音則聽，遇形則觀，而要非任耳；目遇形則觀，遇音則聽，而要非任目。形亦名觀，音亦名觀，觀無所觀；音亦名聽，形亦名聽，聽無所聽，無障礙故。谷之受響，因谷有響，響不谷起；鏡之受形，因鏡有形，形不鏡出。般若現於萬緣，不泊於萬緣；萬緣行於般若，不累於般若。佛言圓通如是。如是以圓通故，是以華嚴甘露，七寶林中，白衣光藏，慈悲靈感，西來大聖，清淨海眾，天香妙香，廣月宮中，藏王慶信，晶日八難，西天洋海，清淨座立，清涼寶海，廣慶倖願，寶揚惠德，華嚴海眾，吉祥海月，清涼寶山，寶陀大悲等，隨時立號。而佛、菩薩、梵王、帝釋、天身、天大將軍、毘沙門、小王身、長者、居士、宰官、婆羅門、比丘、比丘尼、優婆塞、優婆夷、天、龍、夜叉、乾闥婆、阿脩羅、迦樓羅、緊那羅、摩睺羅伽等，亦隨物現身。經言寶陀，即補陀也。震旦國中三大道場，西峩眉以普賢，北五臺以文殊，而我東海補陀以觀世音。西北距佛國不遠，道法漸摩，近而且易；東海僻在窅阻，聲迹荒遐。眾生久苦沉淪，薰染五濁，如來重愍之。茲觀世音之開化補陀，津梁娑竭，良有以也。峩眉、五臺深峭雄抜，秀甲齊州；而補陀獨立大瀛海中孤絕處，尤為奇特。善信航海朝謁大士，肩駢趾錯。無論中華，即天竺梵僧，亦徃單瓢隻履，間關而至，殆無虛日。而吾鄉士大夫顧反畏風波，罕登涉者。海上文人，恒標勝靈區，詫奇五岳，託之竹素，而補陀一志獨闕焉。乃使大教壅閼，外道喧豗，則何貴操筦綴文者哉？開府侯大將軍乃謀之兵使者劉公、郡大夫龍公，纂修《補陀志》。爰尊今上奉聖母命頒賜藏經、制敕及御製序文，冠諸簡端。而圖繪山海巖洞、殿宇形勝；次弟裒集古今名賢制作，彙為一書。復屬道民刪定，乃為稍削舊詩之俚謬，增入時賢之合作者若干篇。復以道民所自為記頌韻語附焉。三君子之闡揚教典，開迪愚矇，厥功不細。詎維山靈海若忻豫？亦如來之所印可也。萬曆己丑春，戕光居士屠隆和南譔

流沙以西，有崑崙縣圃；之罘以東，有蓬萊三山。赤縣神州，名洞天福地者，難可僂指；大都為仙靈託跡，以青兕班麟、瑞草神芝勝，獨東海補陀稱道場。昔襄城鼎湖，迹肇軒后；包山洞庭，秘發龍威。柱下著竅妙于五千文，為萬古丹中王，宣尼以猶龍讚之。清虛沖舉之學，實自此昌明焉。維時固不聞有能仁氏之教也；有

之，亦迦毘身毒彼國自為奉行爾。西京之東漸流震旦，其道以超脫為貴，以空寂為宗。盡取世界一切事物槌破之，歸之幻妄；而獨露靈明，謂之見性。吾儒者固嘗昌言排之，而高明特達之士，往往褰裳染指焉。則何故？士方苦世法跼蹐，而一聞擺落之言，即豁焉如縛者之得釋；士方苦世涂炎囂，而一領清淨之旨，即灑焉如暍夫之飲氷。蓋佛惟以擺落為宗，士之近擺落者易入也；佛惟以清淨為旨，士之近清淨者易入也。匪惟無妨于儒，亦足助儒教之所不及。議者或病其有體無用，不知儒有儒之體用，佛有佛之體用。佛以辟支獨覺為小乘禪，而其究要諸廣濟普度，固非偏枯全無補世教者。世之排佛，徒罪其持戒不煞、殘體燔肢，以為惑世傷教，此特佛之皮毛爾；其精者在清虛宏遠，故我教所不廢。通儒偉人，以吾儒之道理物宰身，而以佛氏之道繕性歸真，亦何不可哉？此我皇上握符御世、闡教明道之意也。大哉王言：「刑賞所及，權衡制之；刑賞所不及，善法牖之。生成之表，別有陶冶矣！」補陀洛伽乃觀世音大士道場，山孤懸大瀛海中，空闊迥絕，秀甲神州。一躋覽其上，輒有馮虛御風、超越塵壒之想。不佞猥叨職事，仰宣皇上清淨、奉道、開化德意，而下以牖俗淳風者，守臣責也。若夫儒佛之理之精者，不佞惡能知？則敬以俟當世之大叅同君子焉。萬曆己丑仲春日，巡視海道・浙江按察司副使・前刑科右給事中・皖城劉尚志記

昔太宰嚭問於孔子曰：「夫子聖人歟？」對曰：「丘博識強記，非聖人也。」問：「三王聖人歟？」對曰：「三王善用智勇，聖非丘所知。」又問：「五帝聖人歟？」對曰：「五帝善用仁義，聖非丘所知。」「然則三皇聖人歟？」對曰：「三皇善用時，聖亦非丘所知。」太宰大駭曰：「然則孰為聖人乎？」孔子動容有間，曰：「丘聞西方有大聖人者焉，不治而不亂，不言而自信，不化而自行，蕩蕩乎人無能名焉。」此謂佛也！夫自眾生覆於無明，溺於愛水，妄想顛倒，作諸惡業，漸遠涅槃之山，永淪生死之海。佛為興慈運悲，抜苦與樂，則敕諸大菩薩，隨佛眉間白光所照、神通天眼所視之處，同加攝受覆護，救濟拯接，使一切眾生共成佛道而後已。是佛其主宰，而菩薩者為之佐使者也。猶中國有君，而三公九卿、百執事，則行君之令而致之民者也。予嘗翻閱慈悲懺法，諸大菩薩如文殊、普賢、無邊身、觀世音等，皆佛所敕使眾生所，囑累中，惟無邊身與觀世音常證常現，而觀音尤為聞聲濟苦。《楞嚴經》云：昔無數恒河沙劫，有佛出世，名觀世音。是觀世音久已成佛號，第其深心主於大慈大悲，弘誓期於救苦救難，故觀音名遍十方界，十方界尤所歸依。而今補陀洛伽山為善財第二十八叅，觀自在菩薩與諸天神王說法處也。余令定海，常見朝禮茲山者，毋論我震旦中人，即邊島夷酋，罔不歸命。其間有直心正念、起殷重心、

生難遭想，輒蒙大士現身說法授記。其或機緣下劣，心志懈怠，而欲希放光現瑞，終不可得。昔城東老母，與佛同生，俱在一處而不能見紫磨金相。當知菩薩善應諸方所，盖眾生信心之所向，即菩薩應身之所在。何必補陀？又何必不補陀？萬曆己丑孟冬日，定海令清源汪應泰譔

勝國時，盛熙明氏以西域之裔，深通秘密之典，廼著《補陀洛伽山傳》，分為四品。由是菩薩之功德，山川之奇勝，與夫歷代祈籲祝釐之虔，應感靈瑞之異，彰彰較著矣。然而卷帙陋小，流傳未布，使天下通都大邑，道里遼曠，嚮慕而不可至者，卒弗獲一展卷而臥遊焉。且今之叢林，自徃年倭亂之後，廢而復興，已非昔日之舊，其沿革又不可以無志也。余不佞，承乏來浙，涉歷海洋，首謁大士於補陀。周覽之餘，問之寺僧：「山有志乎？」始出熙明著傳，則紙敝墨濡，幾成蠹簡矣。蓋熙明至今已二百三十餘年，其四品所載亦大都爾。入我明來，香火益崇，著述益富，迄今無有紹熙明而為之傳者。余喟然曰：「名山巨剎，既不可無載述以示于世；况今聖母慈聖皇太后刊印藏經，而我皇上純孝承志，敕遣內使賫經降香，來錫寶陀。余既勒之貞珉，與茲山並峙矣。」於是謀志乘於海憲潛山劉公，公以屬之郡大夫武陵龍公，曰：「必儀部屠長卿先生也。」乃就而請業焉。不數時，彙次成帙，以授侯生繼高，不佞輒復申一言于末簡。夫後世之儒者，諱不言佛；若戎臣武士，又輒謂威克厥愛，與慈悲之旨弗類。以愚思之，佛之大端，以慈悲為體，以化導為用，其要使人人趨善而背惡爾。孟子曰：「以不忍人之心，行不忍人之政。」非慈悲之謂乎？孔子曰：「己欲立而立人，己欲達而達人。」非化導之謂乎？余，武人也，黽鄙弗學，顧平日耳剽先生長者之言，而有味乎慈悲化導之旨，况睹熙明盛典，而樂觀此志之成也哉！茲歲仲春，余督哨海洋，舟過補陀，肅謁大士，禱曰：「我佛靈赫，尚克相余，俾我師貞吉，少效尺寸，以上報天子。」未幾，倭奴竊發，窺我邊界。皇威丕震，我是以有花腦、浪岡之捷。謂非大士默相之功可乎？志成，適有此役，因并記之。萬曆己丑夏五月既望，鎮守總兵官雲間侯繼高譔

## 甬東山水古蹟記

元吳萊

昌國，古會稽海東洲也。東控三韓、日本，北抵登萊、淮泗，南至慶元城三百五里。泰定元年六月，自慶元桃花渡覓舟而東，海際山童無草木，或小槿如筯，輒刈以鬻鹽戶。東偪海有招寶山，或

云他處見山有異氣，疑下有寶；或云東夷以海貨來互市，必泊此山。山故有砲臺，曾就臺瞭弩射夷人，洞船猶入地尺。又別作大筒曳鐵鏁江水，夷船猝不得入。前至峽口，恆石嵌險離立，南曰金雞，北曰虎蹲。又前則為蛟門，浹東浪激，或大如五斗石甕，躍入空中，却墮下碎為零雨；或遠如雪山氷岸，挾風力，作聲勢，崩擁舟，蕩蕩與之上下。一僧云：此特其小小者耳；秋風一作，海水又壯，排空觸岸，杳不辯舟楫。獨帆檣上指，潮東上，風西來，水相鬪，舟不能咫尺；一撞礁石，且靡解不可支持。又前則為三山，大洋山多磁石，舟板釘鐵，或近山，則膠掣不動。昌國境中多大山，四面皆海，人家頗居篁竹蘆葦間，或散在沙嶼，非舟不相往來。田種少，類入海捕魚，蝤蛑、水母、彈塗、桀步，腥涎褻味逆人鼻口，歲或仰穀他邦。東從舟山過赤嶼，轉入外洋，望岩峯山，山出白艾，地多蛇。東到梅岑山，梅子真煉藥處。梵書稱「補陀洛伽山」也，華言「小白華山」。自山東行，西折為潮音洞。洞瞰海外，[山*(免/免)]中裂大石，壁紫黑，旁罅而兩岐；亂石如斷圭，積伏蟠結。怒潮聳擊，晝夜作魚龍嘯吼聲。又西則為善財洞，峭石嚙足，泉流滲滴，懸纏不斷。前入海數百步有礁，土人云：曾有老僧秉燭行洞穴，且半里，山石合。一竅有光，大如盤盂。側首睨之，寬引潔白，非水非土，遠不辯涯際。又自山北轉，得磐陀石山。麓恆益高，疊石如堄。東望窅窅，想像高麗日本如在雲霧蒼茫中。日初出，大如米篩。薄雲掩蔽，空水弄影，恍若鋪金僧伽黎衣，或見或滅。南望桃花、馬秦諸山，嵌空刻露，屹立巨浸，如山疊太湖。靈壁不着寸土尺樹，天然可愛。東南望東霍山，山多大樹，徐市住舟于此。土人云：自東霍轉而北行，盡昌國北界，有蓬萊山。眾山四圍峙立，旋繞小嶼，屹如千丈樓臺。而中處又有紫霞洞，與山為隣。中畔通明，方如大車之輿。潮水一退，人可入。或云，人不可到。隱隱有神仙題墨，漫不能辯。又有沙山，細沙所積。海日照之有芒，手攫則霏屑下漸成窪穴。潮過又補，終不少損。旁有石龍，蒼白角爪，鱗鬣皆具。蜿蜒跨宣，亘三十里，舟經其下。西轉別為洋山，中多大魚。又北則為朐山、岱山、石蘭山，魚鹽者所聚。又自北而南，則為徐偃王戰洋。世言偃王既敗，不之彭城而之越，棄玉几案于會稽之水。又南則為黃公墓。黃公，赤刀壓虎不行為虎所食者也。夫昌國本〈禹貢〉島夷，後乃屬越，曰甬勾東。越王句踐欲使放吳王夫差居之，然不至也。海中之山，安期、羨門之屬，或避秦亂至此，方士時未深入。或云王山在山底，故稱入會稽者為入東海。抱朴子亦云：「古仙者之樂，登名山為上；海中大島如會稽之東翁洲者次之。」今昌國也。八月自昌國

回，姑録山海奇絕處，明晋人之不妄。時一展玩宗少文臥遊不是過矣。

## 昌國州寶陀寺記

劉賡(翰林學士)

國家自世祖奄有四海，凡名山大川，仙釋所託以神其教者，朴桓新弊，畢乘興運；鉅剎珠庭，天降地湧。蓋於以揚前人之休光，衍萬世之慶澤。浙東慶元之昌國，有山名補陀洛伽者，奇巒複嶂，幽洞靈巖，錯立層出。奔波駭浪之中，潮汐吞吐，烟霞變幻；虬龍黿鼉，蜿蜒呵護。《華嚴經》所謂善財二十八叅、觀音菩薩與諸大菩薩圍繞說法，此即其地也。寺曰寶陀，創始於宋元豐間。爾時靈蹟率隨緣影嚮，示現香花，與五臺、峩眉道塲實類；而旱潦風濤之禱，響答為尤捷。其在東南，故是佛法一大海會；亡論遐邇卑尊，靡不皈依瞻仰。皇后福德日盛，一念中間無慮皆佛事。乃大德二年春，特命中御府臣李英驛降御所祝香。使還，再命修繕其像設。之于明年春，宿衛臣孛羅等再馳祝香；內出中金百兩，飭江浙行中書省，遣寮吏同涖其役。又明年春，宿衛臣魏也先、太出三馳祝香，御命飯僧，周閱具典。竣事，寺之長僧如智津其徒言：「孜奉玉琢菩薩瑞相，表上內庭，以便瞻禮。」具歸美報。今年春，仍命太出偕李鐵木兒不花、魏也先持五綵旛旌，祐祝香以往，莊嚴其法筵。又出內寶幣二千緡，即其寺治演法之堂，暨廬舍之圮腐殘剝者。又飭行中書省，捐土田之在官者二十頃，畀之，益其徒食。俾每歲以建寅、午、戌月，諷誦祈禱。又下璽書，復其凡隸寶陀者。非寶陀者，禁其毋得怙以匿冒。如智亦因得被袈裟。內庭傳瑞流恩，曾無虛歲。至是命中正院傳命翰林臣，裨用文字而刻貞石，以垂永久。臣謹銓次如右。切謂象教之來中土，雖顯晦靡常；其所獲驗，亦不專係夫崇奉敬怠。陛下以寬簡而治民，殿下以慈祥而佐理，與往聖覺皇同符共貫，是宜圓精薦釐，方祈效祉。至若金湯迦維，亦曰我國家之常事。其所以迓續延洪之道，自有大本大原在也。因明其所在而繫之以詩曰：

皇元混一　其仁如天
好生惡殺　慈視竺乾
帝繩祖武　仁守大寶
曰臨曰御　書循堯道
后嗣徽音　所寶惟慈

力行萬善　念茲在茲
繄我補陀　法云真際
白衣如來　東漸南被
如來大智　無古無今
慧日滿月　無不照臨
天開崇因　祠香歲致
應復為感　匪除匪亟
布金檀幣　即而招提
舊仍新就　離立翬飛
僧智衣陳　如來照晰
玉琢妙嚴　象其光潔
補陀非遙　浙水之東
法身圓對　奚必梵宮
教旨崇之　勝旛是錫
申畫沃腴　益其香積
俾勤梵唄　為國禱祈
斂時五福　教賜靡私
誕降璽書　以鎮以護
山河大地　等為樂土
恩德新覃　震耀無前
帝仁后慈　億萬斯年
惟觀自在　非聞非見
圓通融性　神光畢現
優曇鉢花　瑞應孔彰
皇圖釋網　相為無疆
詞臣承命　頌述其職
揆厥本原　懋昭大德

## 皇明魯王補陀山碑記

神州之內有三大山，為震旦佛國，曰峩眉，曰五臺，曰洛伽。而洛伽獨在東南鉅海中，為觀音大士現真聖界。鴻波怒濤，萬里極目。寰中自垂髫黃髮，赤鬚白足，罔不擔躡聚糧，梯危絕徼，奔走香火者。而大士靈真玄鑒，隨力大小、緣厚薄、誠淺深輒應之。蓮花寶蓋，玉節珠幢，時時見雲濤中。或洞壑巖岫，恍惚出沒，靈異萬狀。以故見者、傳聞者、思至者、結茅來者，繭足欲一覿大士聖祕，拯萬劫之迷途，闢無方之朗照。歲丙戌，仁聖皇太后、慈聖皇

太后拱念靈庥，賜經一藏，遣中人齎送海上。而皇上復為文，明著聖母至意，碑勒在寺。予不敏，蓋督慕之，迺無由一望洋而禮，而歲輒致米飯大眾。近復鑄赤金像一座，重三十石，送新殿敬祝。嗟夫！觀音力鴻鉅周浹，大極須彌，小入蠁窌。顧予何人，敢以一念邀惠大雄力哉？唯聖母厚德載物，皇上玄祐彌天；大士實陰隲之，禔福海內。予譬飲河知滿，戴天思報，天何言哉？寺僧真表有戒行，其詣京恭謝，亦過予，予甚嘉之。夫天下事大不偶，明州故三佛地，而補陀復賜經顯於天下，光於萬世。予與表何幸躬逢，遂畧記其事，以告後來。萬曆十五年丁亥十月孟冬立石

## 重修補陀山寶陀禪寺記

汪鋐(鄞人　禮部尚書)

明郡，當溟渤之會，其東屬邑曰定海。補陀山在定海外二百餘里，遠望滄茫杳靄，隱見明滅，如鳧鳧帖帖伏水中。佛書稱「補陀洛伽山，海岸孤絕處」是也。或云「梅岑山」，即子真煉藥處，因以名焉。今皆不可考矣。自山東行，西折為潮音洞，迺觀音大士現化之地。石壁中裂，傍罅兩岐。又西為善財洞，石齒齒不容足。緣崖泉滲滴，若垂纓不斷。前入海數尋有礁，突起如瓶爐狀。又自山北轉，得磐石巖。頂上有竇，可以下瞰。海天孤闊，洞府幽深；波濤際空，茫無畔岸；烟霧晝冥，四景若一；倒影凌虛，排雲御風。誠上聖之窟宅，而非塵寰俗界所可彷彿者也。昔梁貞明間，日本僧惠鍔得觀音瑞相於五臺山，將迎歸本國。舟抵新螺礁，蓮花當洋，舟蔽不前。鍔禱之曰：「是我國無緣見佛，當從何所立建精藍？」有頃舟行，泊于潮音洞，遂於此地創建梵宇，馮依佛乘。宋元豐間，賜「寶陀寺」額。歷代因之，崇尚不廢。至我國朝，益加尊禮，世百千年休祥蒙賴，於戲盛矣哉！維我觀音大士，通明圓覺，神應變化；運慈悲定慧，以闡教利生、開迷救苦。奇功妙道，不可殫述。故能使千百萬億人，無貴賤賢愚，無遠近大小，起心歸向，開口誦念，合掌恭敬，焚香頂禮。四方善士及緇羽輩，每於春月，即洞中叅禮求現。而王侯妃嬪，貴戚貂璫，薦金寶以致誠，懺悔愆以祈宥。使者冠蓋，相屬於道。然乘筏渡海，觸犯風濤，竟無濡足之患，而為觀音必相之，則證應從可識矣。嘗聞故老說，補陀佛屢著靈異，凡我眾生意念精虔，徃徃聖像放光，金色身照耀天日；青蓮擁瑞，天樂發音；金橋矗空，祥烏繞樹；百靈秘恠，恍惚呈露；隨剎現身，形不可測識，亦異矣。嘉靖癸丑，島夷犯順，據為巢穴；軒搆摧圮，緇錫解散。國朝敕賜碑文俱斷裂，仆海中。所僅存

者獨聖壽寺、琉璃、無梁等殿。而梵音虛寂、鼎蒙塵蕪者垂數年。然教不終否，有五臺龍樹寺僧真松，北遊來京師，聞其事于禮部。時宮保大學士養齋嚴公為大宗伯，亟下其議于郡縣，俾給箚住管，崇奉香火，而演律儀，以資景福。靈山勝會，一旦光復，非我嚴公道契百靈、德兼三教，其能洽和幽明、興舉廢墜有如是哉？維時我郡侯太恒吳公、總戎草堂劉公，相與協贊規畫，次第修舉。一號令之餘，而改觀易聽矣。適御馬監太監松菴馬公景慕名山，起心發願，廼範金成佛，綉綵結旛，不惜重資，歸誠于佛。一時輻輳，增重叢林，豈非事有待而化有緣邪？而謂我觀音佛法力冥助，神功默相，誠不誣也。闡茲靈異，普濟羣生，其俾我四方息警，雨暘時若，災厲不興，物生蕃阜；環海內外，斷惡修善，佑我邦家，用臻康乂。則百千萬年永賴洪庥，酬德報恩者寧有紀極耶？鏜生長海濱，習聞靈蹟，且身享康寧，濫竽祿位。母氏年踰大耋，高堂無恙。藉此福德，敢忘厥自？故因真松之請，不諱鄙陋，為文以紀其事，而復系之以詩曰：

縹[緲-目+耳]靈山　嵯峨蹟石
迴抱滄溟　吞吐潮汐
石洞峭深　瓊泉滴瀝
爽氣飛揚　囂塵斷隔
佛祖壇塲　天神窟宅
昔我觀音　來自五臺
覩茲靈境　息駕徘徊
梵宮夜厥　寶剎朝開
金容璀璨　廣樂喧豗
星繁電爍　倏徃忽來
自昔稱奇　於今為烈
貝影扶踈　蘭缸明滅
百千萬人　無論愚哲
向山歸禮　嘆水致潔
蠢爾醜夷　據為巢穴
几席荒凉　棟宇摧裂
道無終否　感則必通
[夕*即]士協吉　上下和同
垂增雲搆　弘闡佛風
燕還舊壘　僧依故宮
光復盛美　伊誰之功
維我觀音　慈悲成性

我願眾生　咸歸清淨
聖壽綿延　帝圖昌盛
默佑陰扶　永綏吉慶
勝水名山　萬年輝映
小子顓蒙　稽首歌詠

## 補陀洛伽山記

屠隆

東海補陀洛伽山者，震旦中國第一大道場也。釋言「海岸孤絕之地」，又言「東大洋海西紫竹栴林」。《華嚴》言「善財第二十八叅，觀自在菩薩圍繞說法」，蓋此地也。華言「小白華山」，又云即「梅岑山」，迺梅子真煉藥處。東海甬句東，並海翁洲；北界山東登萊、之罘，接三神山、十洲諸島。安期、羨門飛仙羽人咸在。而洛伽佛道場，遠摽釋典，開朗宣揭，則自唐大中間梵僧來爇指感現始。由明州城桃花津，六十里至候濤山下，是為海門。東航海抵翁洲洛伽山，周圍百里，四際無岸，孤懸海中。赤縣神州不復記憶置在何處。穢土刼濁，邈焉隔絕。雖屬閻浮，亦造物之所以別立清涼界也。遠近諸山，大者如拳，小者如栗。三韓、日本島國，青螺一抹，杳靄烟際，乍有乍無。微風不動，天鏡涵空，澄碧萬里。海鳧鷗鴟，低飛亂鳴。驚颷下撞，洪濤上舂。銀山雪屋，簸蕩天地。五更望日出扶桑，巨若車輪，赤若丹砂。忽從海底湧起，赭光萬道，散射海水，奮鮮煜霅，晃耀心目。吳淵潁謂「空水弄影，恍若鋪金僧伽黎衣」，尤極形容，奇哉觀也。山有潮音洞，乃大士示現處。洞上有穴如天窓，仰窺日星，頫瞰海島。金沙細軟，石罅深黑，海濤日夜來嘯吼。其下又有善財洞，以善財二十八叅得名。[山*(免/免)]巖峭巀，表仄中窅。崖上珠泉，歃滴不斷，號「菩薩泉」。北轉得磐陀石，可踞坐望海外。又有龍女洞，以龍女獻珠故。有太子塔，以太子施捨故。有紫竹林、白華嶺、蓮花洋，以山所產故。有栴檀嶺，以佛香故。有獅子巖，以佛法無畏故。有妙應峰、圓通嶺，以觀自在圓妙故。有甘露潭，以妙法灑心故。有金剛窟，以威音降伏故。山上寶陀禪寺，奉觀音大士其中。上自帝后妃主、王侯宰官，下逮僧尼道流、善信男女，遠近纍纍，亡不函經捧香，搏顙繭足，梯山航海，雲合電奔，來朝大士。方之峩眉、五臺有加焉。江津海浦，風濤覆舟。哀空侯，酹波臣，亡時亡之。獨洛伽慈航，乘潮穩渡。開山以來，絕不聞有顛危之險。自非勝力默

持，慈心垂祐，胡能然矣？而眾生之朝禮皈依者，徃徃示現靈蹟神光。金身瑞相，白衣縞帶，紺目翠眉，五雲幢蓋，七寶瓔珞，香花勝鬘，仙禽佛燈，時時有之。婬污者望山而氷銷，狡凶者瞻容而霰化；慧根者頓悟而日朗，迷真者立撤而霧開。寶石乞靈于梵衲，金光睹異于王人；寶冠感瑞于蓬山，蓮花戢武于哈喇。唐宋累朝，咸知信向，至我皇代，益以尊崇。今上奉聖母慈聖宣文明肅皇太后命，印施藏經，裝塑金像，宣揚教典，衍暢宗門，穆哉盛矣！夫大士于現在賢聖刼中為觀自在菩薩，于過去莊嚴刼中為正法明如來。佛果本其法身，菩薩廼其權位。據法稱尊，道臻無上，因權度化，普度眾生。從聞思脩以入三摩，智超般若；本空寂以了二相，善得圓通。尋聲拯苦，卓矣大悲！隨念消災，熾然弘願。義密教深，見聞之妙如響；觀成機熟，耳目之用盡融。感而常寂，所觀之相何存？過以不留，能觀之心亦泯。故能各現身而說法，處處皆通；握一智以長存，如如不動。譬之萬波散[泳-永+(瓜-丶)]，元無萬波；千月分光，止惟一月。嗚呼！[虎*武]猛獷悍，王化之所不能伏，而慈氏攝之；蔽錮昏庸，師儒之所不能誨，而如來導之。十方欽崇，萬國蜂涌，夫豈偶然之故哉！

## 渡海記事

尹應元(漢陽人　浙江巡撫)

大明萬曆三十一年癸卯夏五月，督撫浙江都御史漢陽尹應元視師海上，時總戎都督僉事處州李承勛簡銳士數千以待。聞補陀山峙大海中，登此山，則諸凡險要，可指顧而知。又近歲，聖母、皇上特遣御用監太監張隨、內官監太監王臣，齎帑金重修普陀梵宇、經藏。前撫臣會疏請停留中，應元以為百聞不博一見，决策往焉。總戎具舟卒，諦風潮，訂行期。海道副使同安王道顯、叅將蘇州袁世忠、寧波府知府建安鄒希賢、同知金谿黃櫸、推官宜興何士晉、定海縣知縣漳浦朱一鶚，悉從都御史。以是月十三日解纜，十五日抵補陀。既焚香頂禮觀音大士，遂歷海潮，陟絕巘，望滄溟；擬睇扶桑，周咨海島。真三生奇覿哉！夫普陀、海潮寺等耳，又同在一山。海潮巨剎宛然，恬不為異。而普陀名號最著，因災脩復，殊非非常之原。一旦重以天子之命，勢必竦動遐邇。鯨波叵測，偵備宜嚴。乃屬叅總各官，整旅飭防，聞警即援，永期寧謐，萬萬弗遺君父憂。總戎暨諸司分猷共念，可為一時之盛。爰鐫石、紀歲月以告嗣來云。

# 普陀寺碑記

周應賓(鄞人　吏部侍郎)

惟我皇上，清寧得一，易簡函三。垂衣蜎蠖之中，馳化寰瀛之表。薄海內外，罔不咸熙。然猶崇尚西方清淨慈悲之教，用裨理道。萬曆己亥，迺遣御馬監太監趙永，頒藏經於東海普陀寺，俾供奉之。蓋聞震旦之國，名剎有三：文殊治五臺，普賢治峩眉，觀音治東海。而東海靈應尤異，以是皇上特垂意焉。維時寺燬於火，招提未立，無敢委君命於草莽。永具以聞，上乃遣人閱視故址，頒帑金一千兩，鼎建藏殿。仍令舉內侍中忠勤幹敏、堪任茲役者，左右以御用監太監張隨為對，上遂命之。甲辰三月，藏殿告成，隨報命闕下，繪圖以獻，上悅而賚焉。維時佛宇僧寮尚未具也。明年，上復發帑金二千兩，聖母所發贏其半，諸宮各捐金有差，以竟前績。賜額曰「護國永壽普陀禪寺」，仍遣隨徃涖之。隨奉上命惟謹，拮据經理，無日不身在土木間。鳩材度工，至親襍徒庸為伍。乃以丙午秋月已事而竣。丁未春，上復遣御馬監太監党禮，頒帑金一千兩，剏碑示禁，告土以畢役焉。夫皇上殷意茲役，四發命，三遣內臣；積歲所賚，意無慮數千金。于是棟宇巍峩，金璧輝暎。鹿苑鷲嶺有不得比盛者，秋毫皆上賜哉！應賓，東海波臣也，樂觀厥成，敢不對揚聖天子之休？竊惟大士以三十二應身入諸國土，現八萬四千臂目接引羣生，而尤顯瑞于東海。《華嚴》所說「善財南詢之處」，即今所也。佛本無相，非相無以攝凡心；亦本不住，非常住無以得眾止。使知彼岸不遙，有同海岸；梵音非渺，即是潮音。是以聖主當陽，古佛出世。總之綱維大化，以扶宇宙。況乎屢朝供奉，尤盛于茲；綸綍既赫，輪奐斯彰。降魔王於水擊，護法大千；效大眾以嵩呼，壽延億萬。詎行宮私築所可倣其一二耶？惟是四方善信，莫不俛首受戒。修蒲團之理者，列屋而居；輸香花之誠者，蔽江而進。豈盡神通之致哉？亦崇奉所自來矣！故其寺旋廢旋舉，山川寔式靈之。然曩時風雨之所摧頹，興復不難也。今煨燼之餘靡，一椽一瓦之留存，藉非邀寵皇上，何以復覩漢官威儀之盛若此？緇白之流，咸稽首崩角以讚功德。於是應賓搦管作頌，勒諸珉碑，頌曰：

猗歟大士　現靈東方
東有瀛海　寔度大荒
黃金布地　紫竹成行
既弘瑞炬　亦普慈航

祝融為厲　梵宇斯殃
崇法彰教　是維聖皇
內帑既發　內遣惟良
經之營之　迄今八霜
紺宮更始　寶相重光
蓮花奕奕　貝葉煌煌
爰清爰淨　彌熾彌昌
弘開壽域　載啟樂邦
是大功德　不可思量
敢告來裔　萬禩不忘

普陀山志卷五

庠生　陳九思　屠玉衡　同校

## 詩類

### 洛伽題咏

宋王安石

山勢欲壓海　禪宮向此開
魚龍腥不到　日月影先來
樹色秋擎出　鐘聲浪答囘
何期乘吏役　暫此拂塵埃

### 遊補陀

元趙孟頫

縹[緲-目+耳]雲飛海上山　掛帆三日上潺顏
兩宮福德齊千佛　一道恩光照百蠻
澗草巖花多瑞氣　石林水府隔塵寰
鯫生小技真榮遇　何幸凡身到此間

### 遊補陀

盛熙明

驚起東華塵土夢　滄洲到處即為家
山人自種三株樹　天使長乘八月槎
梅福留丹赤如橘　安期送棗大於瓜
金仙對面無言說　春滿幽巖小白花

## 夕泛海東尋梅岑山觀音洞遂登磐陀石望日出處

吳萊

山月出天末　水面生晚寒
扁舟劃然徃　萬頃相渺漫
星河白搖撼　島嶼青屈盤
遠應壺嶠接　深已雲夢吞
蟠木繫予纜　扶桑纓我冠
寸心役兩目　少試鯨魚竿

其二

起尋千步沙　穹石塞行路
怒濤所撗擊　徒以頑險故
卓哉梅子真　與世良不遇
上書空雪衣　燒藥廼烟樹
玄螭時側行　縞鶴一迴顧
從之招羨門　滄海晝多霧

其三

茫茫瀛海間　海岸此孤絕
飛泉亂垂纓　險峒森削鐵
天香固遙聞　梵相俄一瞥
魚龍互圍繞　山鬼驚變滅
舟航來旅游　鐘磬聚禪悅
咲撚小白花　秋潮落如雪

## 國朝遊補陀

張信(翁洲人　狀元)

浮生同一夢　感槩憐我情
文章祇覆缶　鉛槧總頑形
拂茲蘅竇下　凌彼天之層
和風洒雲龍　清樾培佳程
睠言遊仙侶　趣趾成蓬瀛

## 洛伽山望海

陳獻章(新會人　從祀名臣)

元氣茫茫混太虛　天吳簸撼蕩坤輿
千年木石勞精衛　百谷波流會尾閭
月下明珠鮫女泣　雪中飛觀羽人居
秋風吹老珊瑚樹　不見麻姑錦字書

其二

一花初起白龍堆　萬騎長驅石壁開
碧海有山都是雪　青天無雨只聞雷
秋高鴻鵠排雲去　夜靜蛟龍出穴來
借問乘槎向何處　五雲咫尺是蓬萊

## 寶陀禪寺漫興

寶塔凌空十丈高　倚欄南望際鯨濤
天花散處皆金地　海月生時見玉毫
夜氣澄清龍在窟　秋風蕭爽鶴鳴皐
丹梯咫尺諸天近　香霧霏霏濕苧袍

## 補陀山

陸光祖(嘉興人　太宰)

天抱琉璃宮　鼇柱不見底
誰騎香象來　明月弄空水

其二

山椒石壁寒　沙岸水痕泐
濤聲日夜喧　禪心自空寂

其三

白馬駝經來　乃在大海外
誰知震旦中　有此無色界

其四

寶殿低秋浪　踈鐘入夜風
身心無處着　始悟本來空

## 遊補陀

張子瑶(鄞人　少卿)

嶙峋僊界錦城堆　寶樹瓊花面面廻
勢壓海門鼇背重　光搖島嶼蜃樓開
層巒徧向雲間出　飛瀑全疑天上來
自是修真奇絕處　何須弱水問蓬萊

## 禮洛伽山

沈明臣(鄞人)

三神山遠不能尋　惟有洛伽名古今
萬里扶桑開四照　九天靈鷲削孤岑

一枝鸚鵡多饒舌　遍海蓮花不染心
謁罷潮音靈洞口　皈依願發晚濤深

## 題補陀

萬表(鄞人　都督)

掛席凌湍湃　長風兩鬢颼
俄然見宮殿　出沒在波濤
龍女呈珠貝　如來現玉毫
直將超世界　詎獨解天弢

其二

不為名山住　將因法喜探
波聲撼佛座　松色暗經函
天女咸悲仰　童真亦屢叅
捨家猶畜髮　長此事瞿曇

## 禮洛伽山

沈一貫(鄞人　少傅大學士)

積水中開梵帝宮　孤帆高引列仙風
始知四大浮空住　別有三天護法雄
肅拜聖儀明滅裏　廻看人世有無中
殷雷欲裂潮音洞　何處西方更發蒙

其二

近有三生紫竹緣　何須十地與諸天
獨騎香象開龍國　故擊靈鼉撼蜃川
銀浪秋掀天影澹　金輪朝發海光圓
但將一勺澄心地　舉目千花盡是蓮

其三

妙應峯頭披世氛　磐陀石上攬晴曛
大千毫髮空中見　諸佛威音定裏聞
虛唄自隨龍鬱律　天香惟與鶴氤氳
三山近立祥河外　盡為金僊駐彩雲

其四

巢頂孤僧坐似懸　更無色相與區緣
蓮花寶界龍腥薄　薝蔔香林鳥性圓
[糸*(免/免)]唾巖珠尋到海　乍飛月鏡已升天
真無水色寒能照　假有山光亦自鮮

## 遊寶陀寺

黃猷吉(山陰人　僉憲)

直為探奇過上方　居然臺殿水中央
到知海岸真孤絕　遙望瀛洲亦渺茫
石洞寒潮鳴梵唄　竹林明月放圓光
鯨波一洗烽烟息　仰見慈靈遍八荒

## 夢遊補陀山

姜子羔(餘姚人　少卿)

忽然飛渡海雲東　海色澄清霄漢通
借問此心何所似　白雲映水月當空

## 遊補陀山

馮夢禎(嘉興人　祭酒)

西教東流到補陀　金蓮花發映娑羅
星河歷歷黏青漢　島嶼纍纍浸白波
龍獻寶珠歸象罔　僧留香飯與黿鼉
我來欲發如來藏　老傍寒松學鳥窠

## 登補陀

劉尚志(皖人　海道副使)

欲問如來何處尋　寶輪空裏海濤深
朝看絕島開龍象　夜聽寒潮落梵音
萬頃風雲浮碧玉　九天日月布黃金
閻州恍在藤蘿外　夢入西方不住心

## 題洛伽

龍德孚(武陵人　寧波府同知)

望來鼇柱淼無涯　海上孤懸小白華
說法臺高開寶藏　潮音洞迥湧金沙
扶桑夜沸二更日　祇樹光生五色霞
我亦有冠慚未掛　梅岑何處覓丹砂

## 寄題補陀

宋應昌(仁和人　大司馬)

洛伽山浸海波中　大士西來彼岸通

不是世人迷苦海　肯教說法到天東

## 禮補陀大士八韻

傅光宅(聊城人　提學)

翠壁千重盡　滄溟萬里開
龍宮吞日月　蜃氣擁樓臺
五嶽誰飛錫　三生此度杯
地疑人境外　身似梵天囘
紫竹藏鸚鵡　青蓮見善財
海神聽法至　天女獻花來
慧眼觀千界　潮聲振九垓
皈依持半偈　甘露灑塵埃

## 沈家門阻雨

雲海慈航一葦輕　身隨大士踏空行
波光東去通夷國　烟島西來擁化城
夜吼潮音千壑應　寒飛花雨四天明
塵心到此清如水　文室吾將擬淨名

## 喜晴

海風吹雨失千山　幾日藏舟翠壑間
忽放光明遍三界　青蓮一葉水雲閒

## 望補陀

顧充(上虞人　工部郎中)

我家世漁瀛海東　烟波滿眼青濛濛
我生夙抱探奇癖　十洲五嶽期過從
金閨一旦謬通籍　矯首滄洲思無極
馮誰寄我仙山圖　開卷神飛渺南國
秋濤灝瀚秋雲賒　紫翠中浮小白花
瑤光遠映三摩地　金色平鋪千步沙
蛟宮鰲極出贔屭　寶相珠纓示神異
慧炤孤縣震旦中　慈航飛渡閻浮際
一襟水月共澄鮮　真歇關頭好息緣
泡影河山忽明滅　恒沙世刼幾逃禪
馬首京塵幾十丈　西風吹滿青袍上
苦海溟溟日望洋　津梁咫尺徒神王
題緘為報大將軍　莫[木*枚]磯頭白鳥羣
他日浮槎指南海　相携同禮白巖雲

## 題洛伽(時寺徙侯濤山)

李攀龍(濟南人　憲使)

洛伽山上古祇林　白馬西來峽口深
月出爾時樓閣影　風還如是海潮音
若非鸚鵡元能語　誰解蓮花不染心
五十三貟知識盡　可勞踪跡問浮沉

## 題補陀

李言恭(盱眙人　臨淮侯)

五嶽三山總浪遊　法門高敞海天秋
窓前雲氣蛟龍起　檻外波濤島嶼浮
月映寶珠明上界　星隨燈火散中流
黃塵白髮真無賴　彼岸慈航何處求

## 寄題補陀

蔡貴易(同安人　總憲　前寧波太守)

憶昔分符日　相依祇樹林
天留最勝地　佛照不淄心
海日蒼崖曉　蓮花碧水深
為民遙頂禮　願普恒沙金

## 龍女善財洞

梅魁(叅將)

雪膚蒼貌紫霞裾　幾駕蒼虬下碧虛
踪跡尚留青海上　珮環遙向玉樓居
雲封洞口塵氛寂　潮漲沙頭月影孤
欲就此中求至理　本來妙相一明珠

## 寶陀寺禮大士

屠隆(鄞人　禮部主事)

瀛堧浩亡極　滀宕簸块圠
靈巖邈孤懸　際斷神境別
海鳿渴蛟飲　磴道凍虹折
白日浸曾波　晴空翳膠[月*曷]
剎那雲島獻　儵忽烟鳧滅
山足落潮痕　沙明浩如雪
兜羅敞銀界　七寶嵌金闕
寺影倒空水　永與喧囂絕
龍來殿門腥　夜冷霜鍾咽
大士坐香臺　青蓮映紺髮

琱窓繞琅玕　函經護松栝
天花雨繽紛　高僧時說法
有去即有住　無解亦無結
福慧不唐捐　能所俱了徹
西教自東流　津梁此娑竭
何必迦毘羅　然後得寶筏
余今討空宗　萬念總抹撥
願聞微妙言　庶啟廣長舌

其二

巍巍法王子　天人所師尚
菩薩乃應權　佛果證無上
遠從身毒國　大法來龍象
孤高託厓厲　浩蕩乘溟漲
詎應愛空闊　無乃愍流浪
人生墮苦海　神識昏潺湲
哀哉萬刼中　業趣日醞釀
輪轉何繇超　泥犁深萬丈
慈氏興大悲　弘誓度羣妄
微言深奧衍　妙義蔚遐暢
不廢耳目用　而忘耳目相
世音乃以觀　觀徹理無障
三千及大千　桴鼓答靈貺
蠛蠓音咿嚶　洪鐘響嘹喨
尋聲捄苦難　茲理實非誑
周徧法界中　咸令滿所望
無情亦知歸　有識那不向
如來滅度久　疇為發寶藏
繙經悟真諦　我願如玄奘

## 遊補陀

蘭若孤懸大海中　山根四面插蛟宮
浪推旭日排天出　風靜凉蟾照影空
異鳥聲和仙樂細　靈鼇背閃佛燈紅

神州別有三摩地　況與蓬萊咫尺通

其二

不斷潮音響石淙　蒼厓陡絕杖孤笻
天浮島嶼雲帆亂　殿壓黿鼉雪浪舂
曾共鳥窠叅了義　還依龍藏討玄宗
日斜空水澄如鏡　微有冷風送暮鐘

其三

獨上磐陀四望寬　青螺一帶抹烟巒
樓沾蜃氣全疑濕　潮落沙痕半未殘
波面紅蓮開十丈　巖前紫竹長千竿
竭來頓悟圓通理　手挈銅瓶汲巨湍

其四

不因禮佛到翁洲　那識乾坤屬一漚
欲就此中超幻刼　更從何處覓閻浮
雲光佛日三千界　海色仙人十二樓
幢蓋蕭蕭金磬冷　碧山黃葉寺門秋

其五

翡翠臺吞島樹冥　珊瑚簾控海峯青
香船暮客帆投浦　寶塔霜鍾月在瓶
聖主紫泥封賜詔　內官黃帕捧函經
人非人等俱聽法　夜半龍來殿不腥

其六

扶桑日出曉蒼茫　淼淼行空一葦航
誰劈銀濤開寶界　直扶鼇柱駕金梁
僧歸水府袈裟濕　女散天花佛座香
悟得無邊先及岸　了知東土是西方

其七

何來鷲嶺削千尋　大士端居紫竹林
日月高窓懸石扇　烟霞古洞響潮音
五雲瓔珞莊嚴妙　七寶琉璃般若深
菩薩泉名功德水　但教一洗盡凡心

其八

凍巢時有鶴來歸　舟楫雖多雞犬稀
絳月夜侵龍女襪　碧雲秋冷梵僧衣
祇因海浪兼天遠　轉覺香臺與世違
塵土刼灰都不到　蓮花開落是禪機

## 補陀十二景

### 梅灣春曉

梅尉丹爐火不溫　踈枝淡月島烟昏
只愁海叟吹龍笛　攪落羅浮萬樹魂

### 茶山夙霧

龍宮蛟室霧絪緼　幾樹珊瑚認未真
雪裏頮霞高十丈　紅綃恐是獻珠人

### 古洞潮音

海濤飛雪復舂雲　寶殿踈鐘入夜分
潮自砰鍧僧自定　悟來原不是聲聞

### 龜潭寒碧

清江使者夢冥冥　五兆空嗟朽甲靈
豈是來遊蓮葉上　水天凉冷月痕青

## 天門清梵

野衲齊繙貝葉書　磬聲遙度暮沙虛
神龍聽法妖蛟舞　親見如來金臂舒

## 磐陀曉日

黃烟黑霧罩潺湲　忽破天昏海色殷
誰駕火輪推雪浪　赤光如矢射千山

## 千步金沙

黃如金屑軟如苔　曾步空王寶襪來
九品池中鋪作地　祇疑赤脚踏蓮臺

## 蓮洋午渡

波上芙蕖盡著花　香船蕩槳渡輕沙
珠林只在琉璃界　半壁紅光見海霞

## 香爐翠靄

博山突兀海孤懸　日對軍持大士前
不用栴檀燃佛火　曉來嵐氣自生烟

### 鉢盂鴻灝

應器東行大眾從　遍施香飯說禪宗
更看一酌滄溟竭　此物由來制毒龍

### 洛伽燈火

熒熒一點照迷津　光奪須彌日月輪
萬刼靈明應不滅　五燈傳後與何人

### 靜室茶烟

蕭蕭古寺白烟生　童子烹茶煲石鐺
門外不知飄急雪　海天低與凍雲平

### 題補陀

黃之璧(上虞人)

名山梵剎海東開　金作禪宮玉作臺
萬點慈雲青雀下　半空法雨白龍來
依微石室窺無相　彷彿珠幢見辨才
誰似神僧杯可渡　摩尼自取照蓬萊

其二

蒼蒼磴道控瑤岑　大士遙瞻亘古今
雪檻琅函開閣淨　松門燈火隔窓深
鯨波澄作蓮花藏　蜃氣噓為蒼蔔林

燒罷香烟龍女去　天風吹送海潮音

## 夢遊補陀

葛曉(上虞人)

水國稀微古殿開　天空夜靜海潮來
摩尼始覺明真性　叅禮行常學善財
不[這-言+歹]秦皇嗟藥草　轉憐漢武企蓬萊
何如此地求聲聞　遂上瓊樓碧玉臺

## 潮音洞

盧純學(通州人)

大海靈山迥　龍宮豈易尋
萬年垂妙相　孤洞啟潮音
天削峯成玉　沙鋪地是金
泠泠俱作梵　蚤已滌凡心

## 題補陀

龍膺(武陵人　戶部郎)

洞口曇花夜不昏　多羅舍利萬年存
魚龍跋浪連林屋　鐘磬和雲出灌門
色界豈知天下大　香臺惟見世中尊
更憐末法誰梁棟　為有生公石可論

## 題補陀

丁繼嗣(鄞人　總憲)

天下名山說補陀　孤懸海曲傍巖阿
雲蒸遠岸龍光躍　日照層巒蜃氣多
晴晝幢旛開霧靄　清宵鐘磬起黿鼉
滄溟地僻人稀到　喜共胡僧逐隊過

## 題補陀

吳禮嘉(鄞人　御史)

萬里滄茫一寺門　慧光千丈擁朝暾
孤懸寶相空塵刼　不斷潮聲到竹根
風靜靈旛鯨海晏　月籠祇樹蜃樓吞
登臺長嘯烟雲裏　掃却凡塵道自存

## 禮補陀山

董光宏(鄞人　刑部郎)

東南澤國中　徃徃饒異迹
巨海峙補陀　大士下所適
俯瞰天溟池　懸崖九千尺
當時現法身　青蓮大如席
龍神日來朝　洪濤恣噴射
滅沒數點烟　天盡地無圻
波湧山勢搖　日蒸海氣赤
境內萬里舟　域外三韓舶
乘潮破巨浪　亂颿互相躑
皈德[難/火]異香　拱手晉名璧
昨年詔使至　幡幢映巖石
真如故無言　眾生自奔迫
遂令濬涕中　今古長赫奕

西方有聖人　東海乃其宅
我今飛渡來　膜拜恍今昔
摩娑蒼蔔花　四望曉天白
忽憶生前事　廿年此面壁

## 題潮音洞

盧元選(餘姚人　武進士)

靈竅何年着化工　嶙峋倒插水雲中
浪花飄瀑飛晴雪　海月浮光夜現虹
石壁雨餘泉出竇　栴林秋老樹吟風
虔誠欲叩如來面　雙鶴盤旋下碧空

## 寶陀寺

李應詔(南昌人　都督)

茫茫鷲嶺水雲賒　今古莊嚴大士家
檻外碧空垂法象　月明島嶼盡蓮花

## 遊補陀

徐啟東(上虞人　主事)

夢想名山久　因之駕海來
潮從天上湧　剎向嶼中開
金粟山為鉢　蓮花水作臺
磐陀望三島　咫尺是蓬萊

## 題洛伽

呂胤昌(餘姚人　吏部郎)

絕島波間嶼　空門嶂裏懸
齋厨隨雀至　野衲近蛟眠
叢蔚蘿侵戶　縈紆竹溜泉
玻璃千萬頃　水月暎人天

## 題補陀

張邦岱(鄞人　序班)

法界何從覓　招提別有方
羣峰依日小　一水入雲長
蹟以蓮花著　林將竹葉藏
何時登彼岸　側想在慈航

## 題補陀

李先嘉(鄞人)

憑虛聊騁望　面面荻蘆秋
坐攄三生石　心隨萬里流
黿鼉爭出沒　日月自沉浮
向夕烟氛斂　珠光似可求

其二

法界元無着　茫茫空水雲
鐘聲潮外住　佛相鏡中分
經為魚龍說　人將鸛鶴羣

慈航如可借　不厭徃來勤

## 題補陀

張邦侗(鄞人　署丞)

海上神州一剎奇　珠宮紺殿五雲披
雙林祇樹三千界　絕岸潮聲十二時
月白滄溟鼉鼓振　風廻大壑梵鐘遲
波濤浩渺諸天淨　幾見游龍覲法師

## 再遊普陀

程時望(新安人)

為憐淨海妙蓮華　幾度相從泛遠槎
龍象應窺曾到客　法臺重雨舊時花
無邊慧日懸祇樹　不盡慈雲接洛伽
更見寶光金色麗　令人滌慮問三車

## 洛伽山

葉舜臣(鄞人)

駈石連鼇事有不　蒼茫天地總輕漚
乘潮夜覺星河覆　破浪時驚日月流
百谷龍蛇歸大壑　空王香火屬孤洲
邀僧施食龍窺鉢　拄杖看雲蜃結樓
老蚌戲珠宵出浪　文魚吹霧晝迷舟
傍通異域應無數　咫尺神山若可游
坐想飛仙乘蹻去　行逢老衲借杯浮
如來若許親摩頂　願得誅茅最上頭

## 題補陀

董大晟(鄞人)

滄溟無際望中舒　寶月孤輪匝太虛
坐聽鼉更通法鼓　從看龍女舞靈胥
磐陀石上三生偈　優鉢羅花四照餘
到此不知何彼岸　經聲天語自如如

## 潮音洞

汪學信(新安人　太學生)

山根盤結水縈迴　大士當年作法臺
礁滑平波翻雪浪　巖懸白日生風雷
龍從洗鉢洋邊化　蓮就然檀定裡開
紫竹滿林看不見　恆來偏向石中栽

## 磐陀石

飛來一石大如舟　占得羣峯最上頭
已識無根真面目　懸知點額指滄洲

## 遊補陀

陸鯉(上虞人　知府)

洪濤萬頃泛艟艨　浴日吞天一望空
十日心齋朝海岱　三生夢覺悟真宗

白蓮花吐潮音洞　紫竹苞生景命宮
笑我此來無個事　洛伽山裏聽傳鐘

## 題洛伽

施敷(歸安人　同知)

海嶠東南障九垓　凌空梵宇鏡中開
經函萬卷黃金詔　地迴千重白玉臺
鐘磬清音超彼岸　禪林明月照如來
莊嚴寶藏咸瞻仰　萬古乾坤一壯哉

## 題洛伽

徐國瑞(上虞人　大學生)

朝禮齋心二十年　于今始得了斯緣
遙驚海上留金鉢　忽訝洋中開玉蓮
遠島千重環聖剎　澄波萬頃護松禪
願將無量菩提水　遍洒人間作福田

## 海門望補陀

薛三才(定海人　布政)

大界名山盡道場　獨看祇樹接扶桑
轆轤萬刼留香火　龍象雙馴護法藏
鉼水迸添潮汐上　爐烟散入海雲蒼
蛟門直望天門迥　幾度迷津問去航

## 和家兄寄題補陀

薛三省(檢討)

磐陀咫尺幾時攀　曠[日*荒]天關開闔間
日濯瑠璃明十界　水含宮殿動三山
蓮花隱見搖波白　竹葉參差著石斑
莫道莊嚴消息遠　月明滄海聽潺湲

## 潮音洞

陳王賓(定海人)

層巒迤曲徑　石竅瞰長虹
大士棲霞所　神僊煉石宮
水梳瑤草滑　風掃白雲空
悟入三摩地　瀟然興味同

## 遊靜室

周應宸(鄞人)

大觀知不極　小築愜幽情
石恠多題字　僧深不識名
依山茅徑仄　到處竹泉清
祇是供隨喜　新茶煮石鐺

## 題補陀

鄭有學(嚴州人　訓導)

相傳大士此中都　共說真如今有無
隱見月光呈瑞相　氤氳花氣學香爐
迷津可渡舟檣滿　聖水無邊島嶼孤
我若有觀應自在　何湏錦字問麻姑

## 題補陀

屠玉衡(鄞人)

孤峯巖嵽帶蒼苔　紫竹林端講席開
擊鼓馮夷驅浪至　獻珠龍女挾潮囘
經繙貝葉聞清梵　座擁金蓮結寶臺
一片空明浩無際　遙瞻宮闕近蓬萊

其二

瀚海安瀾蜃氣消　流鈴偃樂奏雲韶
輝煌宮彩銖衣肅　澹蕩爐香絳節朝
慮淨萬緣歸寂滅　心持半偈息團瓢
了知水月元空相　瓔珞慈容近可邀

其三

花雨繽紛璧月懸　精藍清供普人天
莊嚴古佛垂螺髻　定慧名僧啟法筵
寶誌幻來八面相　圓通印入四乘禪
性靈何止周沙界　功德還應遍大千

其四

磐陀石上散晴霞　金粟林間四照花
日落巖前發踈磬　夜深水際泛孤槎
千秋香火真如地　萬國梯航大士家
媿我凡夫遙頂禮　欲從蘭若問三車

## 寄題普陀

余詠(鄞人)

孤絕緜來佛力尊　蒼茫宮殿控朝暾
法幢影動青虬舞　僧梵聲來白翅鶱
濤激屢驚翻日月　塵揚幾見別乾坤
不知彼岸原何處　乞得天恩下九閽

## 寄題補陀洛伽

李竣(鄞人)

目極補陀勝　名山大海東
歲時千里客　來徃一帆風
波湧金蓮界　林依紫竹叢
何緣謝塵網　膜拜與僧同

其二

絕岸風烟接　層巒日月開
聖燈時出現　慈照暫應囲
陽谷千年木　陰崖萬古苔
遙瞻金碧麗　彷彿近蓬萊

## 題補陀

屠大諒(鄞人　庠生)

曉日射珠林　清光映遠岑
寶旛雲外落　石磬雨中沈
琪樹叅禪觀　迦陵語梵音

金容如可見　灑灑遍甘霖

## 禮洛伽

周應宸

一剎中懸積水間　依然法寶護慈顏
已聞地籟潮生浦　若墜天花春滿山
佛以應權多著相　僧因領眾不成關
為儒未許皈依甚　捨得齋錢亦自慳

## 登補陀山

屠大誼(鄞人　庠生)

一望蒼汀遠樹連　羣山羅列寺門前
紅蓮冉冉生香海　紫竹離離遶梵筵
天女散花叅聖諦　應真渡筏叩玄詮
慈航一一資龍藏　稽首金僊了俗緣

## 題補陀

柴懋賢(鄞人　庠生)

大壑深林知幾重　沉沉紺殿瑞烟濃
眾香縹緲摶華盖　七寶莊嚴捧聖容
風動繡旛看鳳舞　雲生畫棟欲飛龍
徘徊忽上千峯月　海印光寒起暮鍾

## 題鎮海寺

汪學信

梅岑拳石[書-曰+皿]成玄　誰聚浮漚結大千
潮自雷喧心自寂　海同天際性同圓
吞舟恆物知皈法　破浪蒼虬識引年
即欲買山隨遁隱　牛磯無用爨犀船

## 遊補陀山寺

邵鳳來(定海人)

好將大海濯塵埃　梵剎孤當寥廓開
翠岫薜蘿清色界　碧天水月淨樓臺
夜光破溟旭初上　晴雨飛空龍欲來
妬殺名山僧[書-曰+皿]占　閒敲鐘磬在雲隈

## 題洛伽

吳學周(崇仁人　象山縣知縣)

水雲千頃極蒼汀　島嶼平吞日月光
紫籜扶踈開竹色　紅衣掩映發蓮香
欲叅大士真空偈　好泛如來般若航
見說九重頒象教　恩波蚤晚遍遐荒

## 題補陀

黃正達(華亭人　象山縣教諭)

萬里蒼汀蜃色開　琳宮寶殿欝崔嵬

夜寒風雨龍聽法　日落波濤僧渡杯
大海總名功德水　法身元是妙明臺
望中直接蓬萊境　[書-曰+皿]是楊枝洒處來

## 遊補陀山寺

邵輔忠(定海縣人　主事)

洛伽巖外水悠悠　大士蓮臺自一洲
佛火三摩傳不夜　鐘聲萬里徹清秋
天澄虛白遙連壑　山淨空青下滿樓
剩得禪心同莽蕩　那知消息問泥牛

## 梅灣春曉

幾樹踈梅倚石斜　問梅開落屬誰家
東風昨夜頻吹俏　也作如來小白華

## 茶山夙霧

菩提那不是蓮花　雷莢雲林長露芽
山氣誰噓晴不散　半籠祇樹半籠茶

## 古洞潮音

削壁懸崖作海門　波濤萬叠恍鯨吞
上方諸品都空寂　水石聲聞亦是喧

## 龜潭寒碧

洛水曾聞兆聖明　由來靈跡寄山泓
溶溶漾漾秋光冷　照徹禪心不二清

## 天門清梵

石扉空敞日無扃　僧向諸天齊誦經
滿岫白雲封不住　隨風直與老龍聽

## 磐陀旭日

梅岑石石[書-曰+皿]成禪　片石凌虛占水天
多少雲山迷宿障　夜深紅日此峯前

## 千步金沙

霏霏如屑復煌煌　容易祇陀布地黃
豈是滄浪淘洗出　恒沙世界遍金剛

## 蓮洋午渡

滿洋雪浪白翻天　何處香船是鐵船
大願總知神力在　千帆日下[書-曰+皿]紅蓮

## 洛伽燈火

漠漠孤峯浸海國　日沉海氣昏山色
蒲團燈火放光明　點破一天烟霧黑

### 香爐翠靄

大冶何年鑄博鑪　馮夷端捧向浮屠
天香化作青烟起　昧火看來水不濡

### 鉢盂鴻灝

釋種家風惟一鉢　那從雲外空生活
食殘香飯洗波中　囲首汇汇海天濶

### 靜室茶烟

入定頭陀不下龕　老松脩竹閉茅庵
山童汲水烹山茗　只見烟飛併作嵐

### 遊補陀山寺

邵輔明

澤國烟霞駐聖靈　六鰲駕一破滄溟
山頭晴雪半涵白　水面寒波長送青
雲擁祇林凝蜃氣　香飄佛殿散龍腥
總知極樂西方界　萬頃銀濤一淨瓶

### 題洛伽

劉堯賓(定海人　知縣)

龍宮蛟室雪濤堆　併是空王梵宇開
淨色青山塵不着　寒光白夜日先來
蓮洋人渡蓮為楫　雲水僧居雲作臺
到岸了無機事事　沙鷗慣熟也忘猜

## 題洛伽

周俊元(定海人)

突兀千峯望不留　梵宮迴與白雲浮
靈鰲駕日光先到　古洞吞潮響暗流
夜半踈鐘清帶梵　天空一水碧澄秋
莫言苦海無涯際　彼岸分明在上頭

## 題補陀

王世仁(定海人)

正法弘慈遍九垓　道場遙向海東開
波光日色金銀界　松響濤聲晝夜雷
貝葉繙時禪幌靜　天花飛處慧香來
須知色相原無着　水上蓮花是法臺

## 題洛伽

陳王賓(定海人)

白華古剎白雲隈　燁燁靈光燭上台
東土原知皆淨土　香臺誰識是蓮臺
諸天燈火三生諦　一粒摩尼萬刼廻
今日頓空塵網念　此身金粟舊如來

## 題洛伽

劉廷璿(定海人)

妙覺真如啓法藏　祇園珠樹映扶桑
滄溟四望鋪晴練　燈火諸天燦夜光
人到名山知佛國　誰從苦海渡慈航
一聲鐘磬空雲水　九品蓮開萬斛香

## 遊補陀

金鍔(鄞人)

須彌山頂住諸天　佛掌如何現大千
海影[書-曰+皿]含空外色　潮音不雜定中禪
金沙灘上僧歸月　紫竹林中鳥破烟
只辦直心皈大道　無煩寶筏度迷川

## 題洛伽

管萬里(鄞人)

煉藥何年到梅岑　紫雲為幕竹森森
藏真咫尺蓬萊島　護法莊嚴薝蔔林
[絳-糸+火]靜磐陀開寶界　日舂崖洞湧潮音
頻迦異鳥聲聞切　但說排山地布金

## 再守茲土重登普陀

劉炳文(台州人　寧紹叅將)

浪遊兩度謁山靈　風景依然一望平
古寺潮音聽落月　深林竹色隱踈星
泥封彩絢丹沙鼎　蜃氣香浮大士經
說法夜闌人未倦　可知東海絕長鯨

## 渡蓮華洋

楊德政(鄞人　編脩)

浩蕩開真旦　微汀隱化城
山隨奔浪湧　水向遠天傾
雙樹雲中出　千花空裡生
超然登彼岸　未論濯塵纓

## 題洛伽

潘景元(杭州人　訓導)

峭壁崚嶒天帳開　海雲重叠起樓臺
仙人掌在琪林外　幾度推雲上石苔

## 春日游補陀洛伽山

楊德遵(鄞人)

夢寐籌清海气氛　戴星梅櫓出雲屯
桑田匝緑迎江口　鷗鳥浮晴點嶼豐
入步名山空色相　聽潮前筏小軋坤

當來誰是分香者　目下長生第　門

## 遊補陀

朱一鶚(漳浦人　乏海知縣)

西教至自龍象國　東方隱此黿鼉窟
峰巒一點青螺浮　沙堤千步黃金築
紫竹林開小白華　秋風[皮-(丨　/又)+(王/匆)]處優曇花
烟霞別是人間世　水月孤縣大士家
大道悠悠潮漫漫　獨望汪洋成浩歎
分明砥柱在中流　直引迷途登彼岸
臺殿風高響鈴鐸　淵靜[魚-(烈-列)+大]龍聽說法
官使傳經雲錦張　山僧揮麈天花落
自慚身是宰官身　囲首空憐車馬塵
為仰慈霧叅大士　一泛僊槎牛女津

## 遊補陀

柴瑛(鄞人　舉人)

鼓棹飛征娑竭洲　真如勝界一浮漚
澄波漾日空王麗　疊岫連雲幻象幽
蒲[序-予+(咒-几+土)]郎聞師吼偈　楊枝惟洒雚同舟
憐余剩有蓮心淨　滿路曇香擁不流

## 寄題補陀

樊王家(江陵人　乏海縣知縣)

寶剎凌空路轉深　洪濤春雪見叢林
波光倒影窺明鏡　晚籟含風響暗琴

寂寂香雲成浹界　離離紫竹見禪心
名山應有神霧護　龍氣長吹落日陰

## 遊補陀

李一鳴(乏海人　指揮使)

大道元無我　浮生委此形
客来秋結社　僧過夜譚経
虚室月生白　空庭雨送青
憐余攖世網　寧不媿山霧

## 今上敕賜護國鎮海禪寺奉題一首

陳九思(鄞人)

東表神洲浸大瀛　盤根無地臣鼇擎
琳宮又刱天開境　寶號新頒帝賜名
佛火夜縣龍藏曉　海霧朝結蜃樓明
香舩萬里颿千葉　得渡爭跨彼岸行

## 題補陀（四首）

周應治(鄞人　憲副)

娑竭波濤遶洛伽　氤氳香鉢護烟霞
空中墨點三千界　天際金鋪萬刼沙
龍女獻珠依法苑　僊人煑鼎煉丹砂
由来佛土多奇幻　貝葉銖衣涌白華

其二

大地浮空自古今　翠雲深處敞禪林
雲封兜率青蓮濕　潮咽鮫宮紫竹陰
湛海長澄三昧印　蒼山點證六如鍼
跋跌忽悟無生諦　真歇巖頭咲陸沉

其三

一上天門望不窮　諸天縹緲有無中
露瓢寂歷懸危蹬　伽室參差嵌碧峰
叠巘松濤清梵唄　干霄薜影露真宗
獨憐臺上磐陀石　花雨紛飛散遠空

其四

穿雲直入路驂驔　紺闕巍峩逼蔚藍
地壓扶桑吞日月　樓成蜃市吐煙嵐
叅方野衲来天竺　入定神僧閉石龕
遍禮玉毫瞻法相　恍垂金臂接瞿曇

## 題普陀

張如蘭(秣陵人)

縹緲来探大士宮　諸天突兀為誰雄
蒼龍偏壯鴻荒石　白馬流傳漢殿工
地闢東南秋色老　天開海島夕陽空
生平究竟猶堪訝　佛力相兼造化功

其二

鷲嶺秋高大陸前　盤空寒影踏遙天
羣峰不断浮雲色　絕障長留落日懸
地險關門銜急峽　山奇削壁挂飛泉
無人得遇青精飯　有客先歌白石篇

## 遊普陀長律八韻

何士晉(宜興人　工科給事中　前任寧波司理)

琳宮絕壑駕蛟鼉　萬里烟光擁黛螺
乾闥忽傳天　樂細　迦陵時送鳥聲和
御函別啓新蓮藏　浩刼重開舊寶陀
水月觀中龍子出　旃檀林外雁王過
潮音作梵山齊吼　埜衲棲巖雲滿窩
玉筍點班留片石　金沙疋練護恒河
莫言島嶼津梁少　翻覺風濤世路多
兩度(壬寅、癸卯歲，余曾兩到)祝釐登彼岸　願言千載不揚波

## 題補陀洛伽山（一首）

董大晟

震旦滄淵湧洛伽　大螺吹徹演三車
龍宮灼爍珊瑚樹　象教繽紛小白華
空外坐來隨世界　幻中邡處是天涯
潮音還徃何終極　覺海應知轉浴華

## 咏洛伽

薛三台(定海人　舉人)

孤插滄溟小白華　烟濤千步湧金沙
雪衣大士元常現　雲頂高僧別是家
翠竹嫩滋山寺雨　紅蓮艷奪海天霞
由来一葦堪航地　莫道茫茫未有涯

## 謁補陀

陳時化(西吳人)

雪浪霏霏寶筏来　莊嚴法海梵王臺
皈心欲證無生偈　開士休因有髮猜

龍蔵兩頒明主詔　鶡冠仍作寶山佃
遠從娑竭頻搔首　太息閻浮儘刼灰

## 渡海

無際烟濤接混茫　誰知終古幾滄桑
三生欲叩諸天法　一粟初窺百谷王
宕漾高空龍子怒　砰湖濁浪蜃樓長
島夷豈得虐稱貢　萬里今看波不揚

## 禮洛伽山大士遍閲大海諸勝

丁繼嗣(鄞人　巡撫都御史)

日淨齋壇禮上台　孤懸絕島殿中開
九天龍象擎雲下　萬里黿鼉駕海來
佛火檀燃超色界　蓮洋花簇護香臺
願分一勺澄心水　洒遍楊枝度草萊

其二

孤峰突兀五雲攢　清供人天廠法壇
夜聽龍来腥不到　日叅猿立膽常寒
煙霞迴別人間世　水月如懸大士盤
了徹圓通觀自在　冷風高引駕青鸞

其三

[糸*(免/免)]從物外謝冠纓　却向天邊問化城
夕照雲穿窺塔影　夜鈴風遞入松聲
僧施香飯天厨淨　佛散華燈梵界明
到處如來親見面　何須煉藥跨蓬瀛

其四

盤陀石上倚朝暾　四顧汯汯勢若吞
萬國梯航猶不絕　千年香火自常存
側身旁睨扶桑小　囲首懸知大塊尊
此是無根真面目　飛来獨立鎮乾坤

其五

大士莊嚴下碧岑　[山*(免/免)]嵁陡絕海濤深
煙籠洞扈青蓮濕　日破林開紫竹陰
天女獻花叅石竇　龍神聽法吼潮音
何如此地皈依切　洗濯塵凡不二心

其六

天門紺闕曉蒼蒼　金粟恒沙布地黃
露頂團瓢僧乞供　皈心珠履客拈香
御函特下龍光護　浩刼重開鶴馭翔
我亦欲離苦海去　誰先彼岸渡慈航

其七

白衣殿外構為庵　兩地虔供一駐驂
欲旃壇超幻刼　別無塵境覓瞿曇
光明[書-曰+皿]布三千滿　善識曾餘五十叅
寶盖淨瓶都是法　眾緣普渡必生男

其八

尋真結侶獨扶笻　峭石叢林歷幾重

龍樹金身新法相　梅僊丹鼎舊玄宗
照廻淨室參差見　雲護閑關寂滅封
總是如來三寶界　勤脩何地不傳鐘

## 登白華山曲徑靜憩

一入山門自不凡　白華點點墮空巖
逶迤直上青蘿合　薈蔚徐看翠竹毵
老衲陀頭坐石　小童薙髮亦披衫
傾談正好明心性　天為呼風促去帆

## 初至普陀即景（二首）

徐如翰(上虞人　憲副)

樓船破浪快乘風　轉入迴巒絕磴中
編竹間桃脂帶黛　驚濤嚙石雪搏空
蜃樓杳靄香雲暖　紺殿叅差[這-言+歹]照紅
更愛是人皆禮佛　始知無水不朝東

其二

誰見三山與十洲　即看佛國在炎州
波濤夜靜龍聽法　巖壑春晴石點頭
鼎篆絲絲幢影馥　髻螺個個鏡花浮
何須更問無生法　来往潮聲聚散漚

## 遊磐陀歸遇雨

細雨勒新花　相求興轉賒
穿雲衫影重　沾濕步痕斜
倦借僧眠榻　渴分佛供茶

尚思憑願力　彈指遍恒沙

## 雨中尋普陀諸勝

緣崖度壑各擔簦　翠合奇環賞不勝
竹內鳴泉傳梵語　松間剩海露金繩
山當曲處皆藏寺　路欲窮時又遇僧
更笑呼童扶兩掖　遡風直上最高層

## 朝陽庵

樹密逕幽深　禪房春晝陰
斷雲寒宿檻　流水靜穿林
僧說前朝事　人多象外心
翻悲出門去　鐘磬有餘音

## 晚晴見月偶述

暮雨初收紫翠重　松扃瀉影鎖千峰
漸看淨滿庭心月　却似莊嚴佛面容
散入萬波圓處處　攝来一照夜溶溶
相看正話陰晴事　又聽潮聲響梵鐘

## 望海

目力有時極　水光何處窮
但知川谷往　誰識尾閭終
曉氣唯占旭　濤聲不借風
舟行無里道　帆挂任西東
忽過夷王島　還浮龍女宮

亂雲疑列嶼　孤鳥指驚篷
世界空明[書-曰+皿]　神州杳靄同
有時明鏡迥　倏爾怒霆雄
琛恆紛難紀　昏朝望轉蒙
量包乾奧外　脉入地維中
河伯宜長嘆　天潢自有宗
聖朝波不溢　佛國路常通
願借慈航力　皈依不壞空

## 潮音洞

羣公共禮潮音洞　莫作潮音洞口詩
縱有繡腸描不出　直須絕倒叫神奇

## 育恩院山石奇勝當為普陀諸靜室之冠

山勝皆藏石　石奇各肖形
地當幽絕處　寺露半開扃
小檻援飛霧　閒牕瞰落星
曲階苔細細　危竇水泠泠
竹罅斜通穴　雲標別染青
密陰時護逕　麗影欲充庭
挹海懸雙鏡　開山問五丁
漸疑霞作屋　翻訝蘚為屏
坐卧俱成適　攀躋覺有靈
穉僧舐呪鉢　僊子解談經(時有一小沙弥，舐持〈施食呪〉。而定海楊冠軍以扶鸞術召吕純陽，談佛法，頗妙。)
面壁宜深定　鐫題各辯銘(石上刻泐甚眾，故云。)
最憐齋報午　粳粒笋芽馨

## 題普陀

張可大(秣陵人　寧紹叅將)

海雲面面護禪宮　屹立中流砥柱雄
巨石有靈疑說法　長林無碍只聞鐘
寒潮作梵連松韻　明月焚香透竹叢
白鶴下来秋色靜　支公玄度此心同

其二

精廬彷彿類天宮　紫竹青蓮蜃市中
客以乘槎遊汗漫　僧從卓錫住虛空
盤雲恆石疑将墮　噴雪潮音勢自雄
水月任教觀自在　松窓半偈釋塵籠

其三

萬里濤聲繞翠微　松門蘿幌到人稀
黿鼉隱見珠林寂　龍象経行佛日輝
紫竹已同群木秀　白鷗猶帶晚潮飛
梅仙倘寄長生藥　欲向滄浪問息機

## 無邊禪師避靜磐陀石下以詩為贈

王元翰(滇南人　給諫)

卓錫名山截爰河　結庵猶自傍磐陀
遠公捷徑開蓮社　陶令靈心中酒魔
紫竹林中原有相　白洋海上近無波
爐烟茗椀盤桓處　領畧無生法已多

## 過禮補陀

陳天錫(鄞人　封問卿)

首剎層巒著八荒　皈依今始訊慈航

霞明祇樹天門曉　煙繞扶桑海國香
佛意每從靈鵡會　禪功已見竭龍蔵
留連經月探奇遍　尚企高深嘆望洋

## 舟過補陀

曾經瞻眺夢常搖　决策重来豈畏遙
慧旭無陰如有待　晴嵐多翠寔相招
眸新道岸通三昧　身媿恩波歷四朝
說偈不忝天保賦　如来應許頌神堯

## 補陀十二詠

陳朝輔(鄞人　侍御)

### 梅灣春曉

摇摇僊嶠泛滄溟　曉霽芙容片片明
怪底子真成汗漫　直從吳市作春行

### 茶山宿霧

日挂扶桑宿霧消　垂垂花乳綴叢條
宊中老衲餘清思　縹緲爐烟柏子燒

### 古洞潮音

海壖靈窟最幽深　宛若歸墟不易尋
潮退乍窺空是谷　潮来忽聽梵為音

## 龜潭寒碧

人世何曾有豫且　寒潭澄碧自如如
冷看今日刳腸者　總為當年未卜居

## 天門清梵

琳宮貝闕白雲飛　隱隱鐘聲出翠微
七寶林中聞梵唄　靈光都入芰荷衣

## 磐陀曉日

誰將磐石拄晴空　仙界虛明一線通
初日未離滄海底　翠微千丈已先紅

## 千步金沙

澄光萬頃躍天吳　香象遙浮帝釋都
應是給孤神力鉅　直令沙界亦金鋪

## 蓮洋午渡

慧日澄圓覺海中　白蓮香滿獻花風
何人不道天香杳　已自樓舡面面通

## 香爐晴靄

爐峰高處總奇觀　瑞靄濛濛六月寒
夜半空中雲盖結　多應天女爇旃檀

### 鉢盂鴻灝

七珍綴鉢錦紋斑　歷刼深藏雞足山
竟是何年浮海上　毒龍無復溷塵寰

### 洛伽燈火

上方臺殿挂空青　閃爍居然不夜城
知是不生叅大士　心燈五百點波明

### 淨室茶烟

幽壑沉沉春色回　虛堂陰雨長莓苔
新烟數縷穿雲竇　石鼎茶香客遠来

## 遊磐陀菴登點頭石之作

古鄮李德孚

峭壁倚晴嵐　散步涉幽澗
躡磴攀層峦　四顧蒼桑膺
偶憩聽爽籟　哀茲忽飄瓣
仰睇浮雲流　重悲聚跡幻
舉首向危石　拭目泣精盼
嵬嵬置磐巔　詎觖易摧鏟
撫手曰輕按　搖動與時慣
緬想生公辰　點頭實希見

邇来說浹誰　夫乃眾力墠
大士駈神工　獲免形勞患
晤言不知處　感嘆自朝晏

普陀山志卷六

庠生　陳九思　屠玉衡　同校

## 詩類

### 送僧禮普陀

宋石屋珙禪師

春潮日夜吼雷音　耳聽何如眼聽親
小白華山觀自在　頻伽鉼裡現全身

### 贈補陀僧

陳獻章

僧言海上來　曾上妙高臺
瑞相天浮月　潮音地送雷
沙如金粟布　山似碧蓮開
雨帶龍腥過　雷隨鶴影廻
幽探還得寶　徑度不須杯
我有登臨興　南還識善財

### 贈一乘上人

傅光宅

海山深處有高僧　妙法曾叅第一乘
方寸自舡清似水　浮雲底事愛還憎

## 贈大智師

袁福徵(華亭人　刑部郎)

慧燈西竺發　分向海中懸
入定渾無相　出關覺有緣
經翻龍淨鉢　禪就鶴開筵
我適天然趣　圓通亦復然

## 贈大智師

黎民寰(廣東人　布政)

偶來雙樹下　依止遠公房
薝蔔飄香氣　娑羅露月光
風幡如暫解　雲水自相忘
欲證無生義　惟須徧十方

## 贈南海翠崖師

胡涍(無錫人　御史)

幾年幽夢關山棲　水月禪心媿自迷
歸到普陀因問我　白雲深處海潮西

## 補陀僧真語應詔入京受賜還山謁予鄂渚兼致緯真儀部書賦此為贈

常居敬(湖廣人　巡撫)

械書忽爾破愁顏　杖錫何由逗楚關
天語向為龍藏譯　帝城應許鶴飛還
赤霞海色迎宮錦　白雪秋吟到鬢斑
乍覺寒濤江上發　丹楓吹遍洛伽山

## 送無用法師禮五臺歌

沈泰鴻(鄞人　尚寶司丞)

五頂峯頭失炎熱　六月清凉積氷雪
溶溶土石燦晶光　閃閃樓閣濯金碧
南臺北臺聳入天　東西次第相鈎連
中峯直與靈鷲接　山河大地縹緲髣髴如浮烟
龍騰虎嘯不可攀　小池浴佛波汎瀾
奇花細草黃金界　銀樹瓊柯白玉團
巍哉妙德曼殊叟　獅子無聲日夜吼
毛吞不[書-曰+皿]海濤寬　掌握恒沙若培塿
諸天翠盖紛相送　羣真紫芝足清供
拈槌那擯萬億身　飛鉢遍飽祇陀眾
掃盡聖解與凡情　脫離煩惱歸虛空
妙智洞明不思議　自他兼利超無生
無成無現亦無名　圓通萬德纖塵清
劃然昏塗朗慧炬　金剛窟底翻冥冥
峩眉嵯峨俯玉壘　洛迦孤絕娑竭海
刼火洞燒天地灰　此三真相何曾改
釋子無用師普門　磐陀石下隨朝昏
芒鞋踏破孤雲根　遠來燕都訪陸沉
擬謁清凉不動尊　悲智雙運翳其倫
我聞文殊不在五臺山　爾今獨往何為者
五臺由來是洛迦　無即非真有即假
滄溟漏乾沃焦溺　赤日當空暘谷黑
阿難悟入只一霄　少林九載還面壁
莖草誰知死活得　利劍剛把如來逼
是非二相了不繫
屈伸臂　頃粉碎　印度將安去
請君為我讀長句　且還我一箇無文殊處

## 過海潮贈大智禪師

傅光宅

寶地新開大海邊　法壇長日擁諸天
慈光會滿三千界　苦行先經六十年
五岳煙霞孤錫迥　萬川水月一燈懸
不知再見應何日　一片心依智者禪

## 竹菴師住持補陀賦贈

屠隆

俠氣縱橫汾晉間　忽然披衲掩松關
宮中親賜朱衣出　海上遙賚丹詔還
佛土已收為上足　君恩更許住名山
玉毫光裏如來現　十丈蓮花雪浪灣

## 寂菴上人歸補陀以二詩送之

沈泰鴻

缾屨隨緣上國遊　禪心不繫[這-言+歹]翁洲
青蓮一片依龍藏　紫竹千竿散蜃樓
錫響霜鐘空水寂　燈懸曉日海天秋
五雲重覩莊嚴相　無數烟巒盡點頭

其二

團瓢苦行久逃名　幻刼悲看到化城
小果不湏輕有漏　大家那得話無生

金沙布地幢旛動　雪浪浮空島嶼平
好護紫泥封佛座　威音萬里跨長鯨

## 寂菴法師新膺常住寄贈（一首）

屠隆

喜師領眾住名山　新搆雲堂空水間
虎豹守門花雨合　魚龍聽法暮潮還
冥心覺觀成雙照　禮佛清齋受八關
靜夜跏趺磐石上　親瞻大士降慈顏

## 送廓哉上人歸普陀

顧養謙(通州人　總制)

出山從作客　經歲亦思家
行泛東滄海　言歸小白華
聖光來水月　旋思賦風沙
竹色看仍紫　潮音聽更賒
但知禪慧力　忠信未須誇

## 贈竹菴師住補陀

王穉登

水月澄慈性　風塵暗法顏
詔從金殿出　袒掛紫衣還
蜃氣浮香剎　鼇身負寶山
秦川天萬里　何處是鄉關

## 送烟侍者禮普陀

釋德清

孤懸不動白華山　滿目寒空大士顏
若到崖邊相遇着　分明莫作等閒看

## 竹菴上人自　闕還山賦贈

龔勉(無錫人　布政)

為檢蓮花藏　乘潮報至尊
獲沾新露澤　仍[這-言+歹]舊雲門
錫振山頭月　杯浮海上村
此來應有悟　去去復何言

## 贈敏菴上人

管志道(長洲人　僉事)

竹杖芒鞋百衲衣　飄然山海片雲飛
為探龍藏傳心印　寒雨空巖自掩扉

## 江夏逢竹菴上人還補陀贈以四偈

潘之恒(新安人)

爾乘海潮來　還乘海潮去
欲識去來心　潮音無所住

其二

破衲緣百結　緋衣綴六銖
比丘咲相迎　還看如意珠

其三

江路颯楓丹　海色流天碧
凌空一送之　黃鶴隨飛錫

其四

海客白帢巾　坐嘯紫烟閣
庭前栢樹枝　相看對搖落

## 送忠公自楚禮普陀

釋洪恩

窮諸玄辯究三車　烟水南詢問洛伽
月滿吳江孤杖履　雲深楚澤拭袈裟
鯨浮島嶼觀非相　蜃結樓臺幻有家
到處總堪成汎應　寧知縱跡是天涯

## 贈遜吾上人

王立程(臨海人　舉人)

開山初出定　狎海久忘機
身後能生慧　燈前可付衣
潮空千佛現　鍾午萬僧歸
喝下青蓮坐　烟霞獨掩扉

## 贈遜吾上人

汪學信

曾將飛錫動天臺　一笠雲萍自去來
欲證如來親說法　白華依舊滿山開

## 禮南海過無用師靜室

釋圓復

幾年禁足向巖阿　茆堂土壁藏烟蘿
恆路崎嶇不可到　孤峯突兀懸殘照
風度栴檀徧海香　雨滋下界盡清凉
修竹陰森為淨土　寒流涓滴成甘露
刺血揮毫滿梵筵　我一見之心茫然
信心苦行真超異　諸佛同聲授師記
趺坐經行歲月長　苔侵瓦鉢石支牀
休論彈指超無學　會見心空齊妙覺
何當分手各西東　悵望雲山千萬重

## 贈翠崖上人

王立程

大士端居紫竹林　高僧入定翠崖深
翻來貝葉將千遍　證得蓮花不二心
頂上泥巢迦鳥殼　耳邊瓶瀉海潮音
燈前欲問西來意　衣鉢何年直到今

## 贈僧遜吾詣闕還

屠隆

飛錫朝天闕　浮杯到海東
行蹤都不住　教觀本來空
寶月潮音外　經臺花雨中
精修久自悟　覺性了圓通

## 秋日送昱光上人還歸南海

王渾然(永平人　知府)

杖錫雲為侶　西風玉作林
鴈橫天外路　霜斷月中碪
不住因緣趣　無端來去心
一航仍大海　還聽舊龍吟

## 贈守拙上人

董應震(鄞人)

靈潮濆湧洛伽峯　高衲西來訂覺宗
滿座清風閒掛錫　一軒明月自扶笻
經翻貝葉堪消晝　饌煲伊蒲可作供
我愛逃禪惟剩髮　不妨寶筏每相從

## 贈遜吾上人

王穉登

衲衣籐笠遠從師　足踏蓮花渡海時

高浪如山心似水　右肩褊袒執軍持

## 贈寂菴法師

屠隆

戒德都無缺　冥心久閉關
佛長臨法席　帝許住名山
定水紅蓮夕　磐陀紫竹斑
近聞中使出　聖主布金還

## 一瓢行贈海潮玉田上人行脚

屠隆

手中持一瓢　四海在脚底
衣染南浦雲　口汲西江水
大士跏趺蓮花灣　文殊高坐清凉山
袈眉層氷雞足雪　甘露竹院高峯關
震旦沱沱不問路　洪波一葦便徑渡
王侯將相及廝養　華屋朱門等蓬戶
鐵鞋踏穿世界空　孤雲野鶴何定踪
瞥然回頭發大笑　明珠只在衣領中

## 廓哉上人陪遊補陀

呂胤昌

溟涬沱無際　崚嶒峻可攀
草團多傍石　樹蔦自成關
鐘磬叢林外　簞瓢趺坐間
茶巖高絕處　歷指海中山

## 送了然上人歸補陀

陳大科(通州人　侍郎)

劍鍔霜寒又拂衣　梅花香處送君歸
他年叅得無生訣　小白華山共掩扉

## 補陀潤渠昱光二上人行脚之燕訪余邸舍遂禮五臺賦此送之

沈泰鴻

緑陰滿戶雲峯老　白業忘言鳥雀清
忽有真僧雙駐錫　誰當大隱一逃名
觀空好借炎涼色　對月長遮去住情
月落蒼蒼五頂寂　金獅不吼得無生

## 贈萬容上人

余詠

溟海仍尊百谷王　法流東土已爭長
一心萬有容何相　印却中宵水月光

## 贈三藏上人

思昔玄奘久寂寥　傳來三藏歷清朝
君應聽令前身是　每發鼉音蕩海潮

## 送補陀潤渠師自長安禮五臺

沈泰冲(鄞人　舉人)

海雲無端百千色　為向吾師送飛錫
蓮花洋畔香滿衣　泠然御風來北極
憐予寂莫不得意　乍吐玄言解愁慤
玻璃鏡底照重昏　鵰鶚綱中開六翮
片時置我松風間　滌盡煩襟坐蕭颯
却月之遊未便忘　倏忽棄去心轉惻
五頂名山亦化城　師今一徃問消息
文殊拈草梵剎竟　何事恒沙勞羽翼
試與海中洛伽山　誰是如來真託跡

## 贈守拙上人

余寅(鄞人　太常寺少[夕*即])

汝復揚帆海上行　高天寥霩候濤生
新成法界參龍藏　遠涉恩波出鳳城
時梵屢聽紅旭蚤　雨花長接翠螺平
慇懃更許酬賢達　使者遙知徹聖明

## 昱光道兄禮五臺還南海為歌贈之

釋真一

道人今自五臺來　還同昔日五臺去
若言去是昔時蹤　我心不得去時處
若言今是來時路　我心飄颻渾無住
翹足南望洛伽山　依舊洋洋娑竭海

佇思六月清涼寺　塞風栗栗何曾改
兩山情境俱不遷　道人去住亦何言
但令心無去來想　此山可北彼可南
君不見
昔有真人居南嶽　一鉢翛然出行脚
偶然掛錫大慈山　雙虎移泉童子涸

## 贈無邊上人

余詠

從君說法了玄機　相憶檀欒坐翠微
覺海無邊誰悟得　自臻彼岸始皈依

## 贈大乘上人

碧浪粘空蜃海平　芙蓉朶朶繡如城
請看夜月蓮臺上　若個真騎大象行

## 本行上人

萬行歸宗未易論　梵網忍辱本初門
半天廣樂張瓊島　出聽魚龍水國渾

## 寄萬容上人

章載道(鄞人)

叢林有開士　空相歸離滅
何時印恒沙　吐出蓮花舌

## 三藏上人

吾聞大海南　眼界都無染
安得從師涉　迷方一朝點

## 贈昱光上人

管萬里(鄞人)

飛鉢何年到海懸　六時鐘磬法王前
天生一片珊瑚舌　遍說三千與大千

## 無邊上人讚

章載道

佛性廣無邊　迷川畏相失
所謂心地超　一言三願畢
師也真其人　證果波羅密

## 贈大乘上人

幾度曾逢海上僧　禪心一片水雲澄
也知開覺都名理　妙法還須禮大乘

## 送千如法師之補陀山

釋佛引

一葦波濤穩　團瓢隱洛伽
火龍歸綴鉢　海蜃避袈裟
紫竹朝迷霧　青蓮晚暎霞
夜深山殿寂　皓月印金沙

過普陀晤潤田諸兄作

釋性冲

紺宇鬱崔嵬　彤雲映碧輝
龍將海藏出　馬負竺書歸
天樂尋香牒　濤聲撼翠微
高僧禪寂處　鳧鳥傍人飛

潤渠法友禮五臺歸南海賦此贈之

釋鎮澄

上人本住補陀崖　大悲光裏普門開
更求文殊無相智　一錫翩翩入五臺
窮幽直上最高頂　俯仰塵寰發深醒
忽聞一聲獅子鳴　萬象森羅增威猛
大悲大願俱不着　一超直入毘盧境
上人果到此境界　百億須彌內纖芥
天堂地獄總如如　令心所向皆無礙
芒鞋拄杖却歸還　問訊如來觀自在

春日歸普陀

釋如泉

擔簦北海客蹉跎　皷枻南溟放浩歌
厭俗懶於譚小品　待時偏擬泛長波
鐘鳴曉日開香積　雨過春池長芰荷
到此最宜堪大隱　且將瓢笠掛藤蘿

## 同秘藏、休遠、慧舟禮南海

釋正昇

白華遙望海中央　一葦波濤泛夕陽
千步金沙從地湧　百尋寶塔入天長
龍宮幢盖侵琪樹　蜃閣烟雲襍梵香
喜與同袍叅大士　晴空親覩玉毫光

## 昱光上人自南海來清凉將圖南別賦此送之

釋鎮澄

清凉南海兩名山　萬里區區獨徃還
信有如來真勝蹟　肯將行色畏艱難
大悲深廣誰能到　妙智孤高爾欲攀
為憶善財珎重去　丈夫須透死生關

## 贈玉峯上人

王立程

一片禪心定雪山　欄杆千尺翠淘灣
袈裟影裡金光聚　知是長安日下還

## 贈勝林法侶

釋德清

普陀崖下白花村　日夜潮音誦普門
試問菴居何所事　幾囘鸚鵡報黃昏

## 補陀歌為勝林上人賦

韓上桂(廣東　舉人)

普陀之山大士宅　金光幻作蓮花色
簸空雪浪洗扶桑　相去蓬壺看咫尺
中有彌天大慧僧　欲續如來不滅燈
繙經了義無一字　卓錫人間自在行
閒過南海叅龍象　水月光中窺寶相
廣施甘露灑菩提　永超苦海無邊量

## 同充菴師禮南海

釋弘寅

為禮慈悲相　隨師泛海航
鉢分寒浪月　衣染白華香
振鼓神龍集　鳴鐘怖鴿翔
願持甘露水　徧洒獲清涼

## 贈大智師

王立程

誰識空門不易修　羨君末刼早囘頭
披来布衲峨眉雪　坐處蒲團滄海秋

龍象上方開佛土　金銀下界見閻浮
却留紫竹林間影　五十三叅何日休

## 贈守拙師

章載道

山中聞空香　迎風忽然会
是身作是觀　是心豈兼注
爺叩支公禪　備知清淨趣
問津踰慾河　曰芽結心樹
斷茲煩惱根　導叭升沈路
妙義来慈風　清詞灑甘露
心空耳益聰　業淨神不遽
方知正浴宗　愚者尤曷悟
一悟浔無生　吾何為不豫

## 游補陀贈素明上人

屠隆

一葦渡娑竭　栖遲梅嶺岑
相依許玄度　再来支道林
獨往丘中寂　雙跏石上深
潮音明月夜　虛白印禪心

## 贈補陀元初上人

屠玉衡

聊爾混塵俗　超然絕世氛
青天飛一錫　白氎入孤雲

海際黿鼉窟　山根麋鹿群
名藍留半偈　言下了聲聞

禮補陀訪守拙師

董光燁(鄞人　舉人)

翛然宇內一探奇　佛界慈航任所之
島嶼擢摽孤剎勝　皈依共向浹王滋
崢嶸臺殿輝金碧　馥郁香煙結虎螭
欲叩靜廬何所問　巖扉邂逅慰襟期

贈浹界上人

高萃(鄞人　知府)

無事経年別遠公　帝城鐘曉憶西峰
爐煙消盡寒燈晦　童子開門雪滿松

守拙上人兼董補陀志成率爾為贈

陳九思

得竣名山志　吾師念頗辛
徵求出波浪　考核歩風塵
佛域規圖大　天朝賜額新
神洲超永刼　典故豈沈淪

題補陀并贈守拙上人

柴瑛(鄞人　舉人)

天水茫汇渾無極　浮芬附蟻增太息
朗然芒履曳孤笻　踏徧僊瀛并佛國
錫卓三山說法臺　洛伽東睇亘蓬萊
大士馮波觀自在　梅真丹竈火初開
玉柱高擎一卷石　崩濤噴雪吼晴雷
縣匡削壁梵宮出　磐陀旭日曝鰲顋
古洞陰森苔蘚淨　月痕青暎如来性
圍繞此地亂天花　二十八叅見氷鏡
纓珞玻璃煙霧濃　大神扈[序-予+(咒-几+土)]祥光紅
頻伽聲度三摩偈　龍女聽経入碧空
白華遙帶黃沙色　飽飡甘露凌秋風
牛吞鐵蓮驚大眾　慈航普渡危中逢
開士薰脩結善果　擷取曇葩千萬朵
舍身亭外放生池　誰是浮軀誰是我
麾塵譚禪守拙僧　肩披百衲坐枯藤
口吐玄珠眉鎖霧　惠分香積共朋燈
寂了不湏繙貝葉　聊看鸚語莫雲興
乘潮下上營瓊紺　復紀霧奇慰遠探
紫竹澄鮮並曜垂　勞勤功成心自澹
玅圓通體證菩提　慧印相親覺破迷
囲頭彼岸應只尺　願效南詢[社-土+丘]樹栖

## 贈普光上人

屠玉衡

優曇華發乏中香　衣裏明珠是密藏
黃葉止啼都不著　悟来本地好風光

其二

日落澄波影太清　楊枝甘露注磁罌
晚来初出那伽乏　一片銀蟾水上明

## 贈守拙師

昔聞晉人尚玄邈　名理吾愛支道林
清言揮麈闡玅義　時賢往往相追尋
師也海陵稱上足　卓錫名山遠塵俗
空王寶殿傍巖阿　大士華宮遵海曲
近訪梅僊煉赤砂　遠望扶桑麗丹旭
画棟珠瓔未足誇　多君功行浩無涯
階前已長菩提樹　館外新開蘧蒢花
我本皈依學無諍　何事攢眉彭澤令
瞥然一咲海天秋　與爾同乘般若舟

## 無窮上人索贈言示叭二偈

海中何所奇　面面蓮華蓏
一葦渡神僧　明月弄空水

其二

琉璃開寶界　花鬘護慈容
捴是西来意　何分南北宗

## 贈奇峰上人

韓昌祺(慈谿人　庠生)

豈曰吾道轉將南　錫杖芒鞋登獨擔
野徑何[泳-永+芝]尋幻跡　禪心原自印空潭
雲籠草樹枝枝綠　日照峰巒點點藍
獅象座前聽說法　天香爛熳是優曇

## 贈補陀山無邊上人

周應賓(吏部侍郎)

海上名峰幾度逢　久從初地叩南宗
青山不厭逃禪客　白社能容嗜酒翁
雙樹聽經依鷲嶺　一杯持鉢入龍宮
月明千里潮如砥　遙憶維那住海東

## 贈太空上人募塑諸大士像

丁繼嗣(巡撫都御史)

欲續名山四大天　隨方抄化結諸緣
西僧曾渡江邊葉　南海應開火裏蓮
但得莊嚴皈象貌　何妨重繭涉蛟川
對談觧悟無生諦　願汎蓮葉妙法船

## 初到普陀偕奇峰素明上人閱慈雲石次周君衡韻

皈心来寶地　躡足上慈雲
泉溜穿厨入　香曇滿院聞
縱觀蛟蜃窟　閒集鳳凰羣
何幸逢林遠　幽探絕世紛

## 遊白華山菴精舍為昱光上人題

證果白華巔　超然出世先
望空開寶刹　枕石聽山泉
花發傳燈後　龍皈說法前
吾將掃塵慮　對爾共安禪

## 將歸仍赴昱光精舍偕奇峰素明大願諸上人一齋而別

浮玉新開小白華　禪宮歷歷綴丹霞
一山外嘱波臣護　萬象中羅釋子家
片石祇林仍竹葉　孤雲佛座並蓮花
此来何幸逢支遁　搔首重過興未賒

## 贈玉峰上人

周應賓(吏部侍郎)

性僻從来懶見人　掩關不出動経旬
科頭亂帙花陰下　慣看庭前燕雀馴

## 題白華菴贈昱光禪師（一首）

袁茂英(句章　方伯)

白華山上香雲邏　青蓮窩裡高僧坐
一鉢能將龍性馴　隻履不向虎谿過
蒼靄平分紫竹陰　清幽首壓双樹林
幾片天花簷外雪　幾陣風鈴松下陰
栽松種竹知何意　色空妙相應如是
大海波濤只淨瓶　浩刼乾坤元寸地
波濤不撼寸地氷　長松午夜一龕燈
笑撥烟霞進孤影　五岳名山踏幾層
茫茫下界紅塵苦　恒河沙眾不可數
老我香山居士流　欲傍茅菴問宗祖

## 贈白華菴昱光禪師

張可大(秣陵人　副総戎)

不識青蓮界　山花白幾重
松關窺澹月　竹迳逗微風
人語龍天外　僧帰蜃市中
支公譚小品　趺坐任從容

## 遊白華庵贈朗徹禪兄(二首)

徐如翰(上虞人　副使)

幾轉層楹倚翠微　目覜心搆出天機
碧垣曲曲蔵幽径　紫竹深深護短扉
林罅海光遙入座　窗前花影故侵衣
縣知一覺禪床夢　又聴潮聲去復歸

幽居難得雅人憐　処處玲瓏處處偏
洸出雲根青欲染　移来丹樹碧扵烟
笠瓢窩裡蔵春塢　罨畫圖中默照禪
我欲與師供先鉢　祇愁無福借餘椽

## 別白華菴朗公後阻風蓮花洋却寄

欲擬君為詩慧休　休公未必解禪修
生成鶴骨癯而秀　搆得蝸廬巧更幽
松壓玉霏寒草座　石床花雨泛茶甌
轉憐十載睽違事　故仗天風滞去舟

## 寄題洛伽

李檉(鄞人　司馬)

遠闢靈壤鎮海東　參差臺殿出寒空
窗臨翠碣晴含雨　岸撼銀濤夜吼風
羈絁自憐帰鈍質　皈依尚許晤圓通
霜鐘午夜聲初徹　坐看扶桑日擁紅

## 寄贈昱光禪師

遙從皈大士　白業老名山
根利超三昧　心空悟八還
林深依月靜　海曠度雲閒
自恨塵劳縛　無緣覲法王

## 白華庵方丈落成贈朗徹上人

孤嶼嵌空落　飛濤逐岸平
慈悲普弘願　寶筏如毛輕
白華擅其勝　扼要揚其名
乃有禪悅侶　矢志學無生
利根称鶖子　聞復良已精
方丈擴十笏　秋杪煩経営
土垣借鬼築　鳩工疑神成
崔嵬切雲入　宏敞麗日晴
佛灯涵樹影　梵語襍潮聲
說法人共集　施食鳥眾鳴
遐邇獲隨喜　功徳流嘉聲

## 白華菴贈朗徹上人

林士雅(寧波府通判)

清磬孤懸最上岑　興闌薄暮偶追尋

閒窺摩詰詩中畫　欲結皎然物外情
幾度滄溟桑変海　依然花白玉成林
石尤漫說迷歸路　不遇石尤不賞音

## 題洛伽山（二首）

徐申乾(鄞人　字孝則)

鯨波浩渺信無涯　帆外名山小白華
路入天門清梵近　僧歸石洞碧蘿斜
暝霞常映三生石　旭日初開四照花
消[書-曰+皿]浮生苦海厄　應知功徳遍恒沙

其二

晨鐘暮鼓度来頻　雲隱花宮法界新
不但乘危開覺路　直從據險濟迷津
梅湾月碧生寒夜　茶島烟清遞暁春
更聴潮音如梵語　千秋涔倒渺無垠

## 宿白華菴訪贈朗徹禪師

釋来向

未覲慈顔到白華　白華林裡道人家
峭崖鑿透千年石　古樹耡開萬丈霞
舌卷潮音談妙義　麈揮雲影笑空花
相逢洗我風塵色　夜靜燒鐺雪煮茶

## 游法華洞

別是一天地　蒼茫入望間

白雲翻石浪　青靄斷松山
迳倒扶藤上　林深撥霧攀
洞門塵迴絕　皓髮老僧閒

## 題十二景

### 梅湾春曉

李桐(鄞人　字封若)

萬樹梅花開滿湾　冥濛春色駐枝間
囲思仙尉成丹日　開落隨時待九還

### 茶山夙霧

山山爭說采香芽　撥霧穿雲去路賒
製就漫將爐火試　絪緼佳氣遍僧家

### 古洞潮音

怒濤何事激崖深　為禮觀音紫竹林
喧寂聲聞都不繫　似將吞吐滌凡心

### 龜潭寒碧

一泓寒玉浸神龜　空濶光涵月半規
見說聽経能掉尾　蔵真元與甲蟲岐

### 天門清梵

天生片石立為門　縹[緲-目+耳]風中遞法言
縱使黃昏鐘磬杳　耳根猶有梵音存

## 磐陀曉日

石頭高眺旭初臨　瑩色渾如躍冶金
好是羲和能浴日　金烏翻跳出波心

## 千步金沙

黃金布地豈虛傳　滿目看来捴是禪
清淨日来煩悩去　逍遙端擬步生蓮

## 蓮洋午渡

浪花幻出白蓮花　彼岸須從一泛槎
佛日中天人共仰　洋洋望裡法王家

## 香爐翠靄

鑪峯長起四時烟　不断心香在目前
燒野偶然和翠靄　結跏似對博山然

## 鉢盂鴻灝

龍神托鉢献如来　水勢汪洋無[書-曰+皿]迴
曾向此間杯渡去　湏臾翹首是香臺

## 洛伽燈火

燈燈相授在前山　明眼人知指顧間
堪笑燈蛾爭赴燄　不將慧炬照靈閑

## 靜室茶烟

雀舌龍團揔擅名　敲氷煮雪滿茶鐺
僧家清福看如此　一縷藍烟竹外生

## 梅灣春曉

丁鴻陽(丹陽人　吏部主事)

扶桑旭日射朝霞　春入踈梅瘦影斜
一自星龕依雪竇　只今鎝認是曇花

## 茶山夙霧

珊瑚幾樹傍蓮臺　薄靄氤氳鎖不開
謾向定中窺色相　分明龍女献珠來

## 古洞潮音

捲雪春雲自古今　湊溯洞口澹禪心
聽來悟入無生處　始信潮音即梵音

## 龜潭寒碧

聞說神龜駕石尤　三韓使者阻中流
即今已證如來果　一碧寒潭萬頃秋

## 天門清梵

衲子齋心禮六時　天門漂渺磬聲遲
夜深疑有蛟龍聽　一道腥風度水湄

## 磐陀曉日

彌陀峰亦是磐陀　片石孤懸聳黛螺
忽見火輪騰海底　千山曙色射金波

## 千步金沙

平沙十里軟如茵　一片黃沙淨絕塵
步步蓮花聞覺路　到來都是泜王身

## 蓮洋午渡

浩渺波光似掌平　亂帆飛渡午風輕
皈依咫尺三摩地　冉冉青蓮十丈生

## 香鑪翠靄

大士莊嚴現上方　博山遙峙海中央
氤氳豈是旃檀爇　翠巘孤寒紫霧長

### 鉢盂鴻灝

應詔東傳無上宗　如何朝暮水雲春
不因香飯施來倦　留却波心制毒龍

### 洛伽燈火

洛伽孤絕迥難登　夜半誰然大智燈
為語靈明觀自在　箇中無減亦無增

### 靜室茶烟

歷歷雲龕紫竹叢　茶烹石鼎火初紅
禪閑[書-曰+皿]日無人到　一縷茶烟裊碧空

### 題補陀（四首）

陳繼疇(上虞人　工部主事)

鷲嶺迢遙何處尋　渡杯今始到梅岑
琉璃萬頃涵金界　水月中天證道心
大地山河空色相　六時梵唄海潮音
從知彼岸元非遠　漫向人間歎陸沉

其二

獨上峰頭說浹臺　経行趺坐復徘徊

奔濤怒挾罡風引　薄霧徐收寶鏡開
雨作天花當席下　龍随香鉢聽経來
欲圓聖果無難事　不二門中仔細栽

其三

刦後莊嚴小白華　金錢詔許出官家
浤輪霻轉三摩地　龍蔵齊頒五色霞
古洞千秊猶竹葉　香林無處不蓮花
等心随順如相許　蚤向門前駕大車

其四

島嶼微汒望不窮　片颿天際破鴻濛
潮吞碣石蛟宮近　雲擁金輪海日紅
萬國皈依來寶筏　十年開剏頌神功
欲窺之後西歸意　松栢蕭蕭一壑風

## 寄題補陀

王嗣奭(鄞人　舉人)

幾廻飛目海東頭　天水滄茫擁寶洲
旭日晴霞金界迥　長風巨浪紺宮浮
雲生磐石空中色　月到旃林象外幽
寄語香嵒問耆臘　前生曾結淨因否

## 禮普陀

李玉華(定海人　庠生)

南海宜從此問津　輕随折葦渡江濵
一栝蕩漾天為岸　四色滄茫海作埌
定有來恣恠　即看罔象自清塵

娑羅佛國非難到　親見金光現泫身

## 禮補陀

釋道貞

攢峰峭壁勢排空　大海中間山最雄
蛟唇結楼雲湧黑　黿鼉撾浪日翻紅
潮音夜落龍吟外　天籟時吹僧梵中
何又辛勤尋觧脫　耳根觸處即圓通

## 贈守拙上人

吳士瑋(鄞人)

卓錫何年忽來　彼岸無邊孤絕
清言我周我旋　高談卿用卿泫

其二

潮生海日初懸　天倒芙蓉半插
石磬臨風自鳴　迦陵聲裡再叶

## 贈守拙師

薛二表(乏海人)

金界旃檀泫海身　談空說偈驚鬼神
亂落天花可亭月　清光一碧照波臣
睥睨宇內日悠悠　兩眉不挂人間愁
乘虛飛渡慈航忽　直欲駕破海天秋
貌樸才奢心獨古　更事殘編任辛苦

洛迦華乘多汗漫　第恐名贙久塵土
青黃[糸*丘]上[書-曰+皿]萬刼　浮名安博不朽業
優鉢欲比十輪圓　曇雲滿楮流千葉
西陵高士歸此僧　遙遙彼岸誰先登
我亦喜入蓮花社　馮將半壁了傳燈

## 送昱光上人歸南海

張四岳(蒲州人　內閣中書)

錫駐長安道　言歸小白華
一心忘厺住　雙鬓怯塵沙
已覺浮生幻　寧辭厺路賒
慈航應不遠　遙望海天霞

## 普陀山寺鼎新住持迥公爰拜左善世之命　　賦此為贈

周應賓(鄞人　吏部侍郎)

紺宮崒嵂海中開　更有東林大辯才
[社-土+丘]舍界分成淨土　昆池刦盡識餘灰
鍾聲遠振黿鼉窟　幢影高懸日月臺
何幸聖皇知宿德　紫衣降自九重來

## 贈寂菴上人

王一鶚(鄞人　庠生)

空水潮音護法居　禪心不動自如如
金山寶剎曾飛錫　碧海洪濤止折蘆
紫竹紺光通寂照　萬松清梵悟玄虛
羨公永作迦維主　一片雲林帶月鋤

## 妙用禪師西竺庵重題賦贈

章載道

莧陸納浡彌　洛伽何處覓
大士普三千　應身而示律
身本無所住　律今本無適
萬用諸境空　妙性總玄寂
我叅西竺庵　還証波羅密

# 聯絡我們

財團法人
佛教電子佛典基金會（CBETA 基金會）
CBETA Comprehensive Buddhist Electronic Text Archive Foundation


service@cbeta.org
(02)2383-2182 轉分機 12
官網 https://cbeta.org/
CBETA Online https://cbetaonline.dila.edu.tw/
立即贊助 https://cbeta.org/quick-donate/


# 贊助資訊

CBETA 長年來陸續將歷代重要佛典數位化為「CBETA 電子佛典集成」，不僅收錄了大量的珍貴文獻，更致力於校勘考證用字及增添新式標點，提升佛典的文獻品質及易讀性。「CBETA 電子佛典集成」是大眾廣為運用的公共資源，此成果也獲得國際學界的重視及肯定。

對於一個從事佛法志業的非營利團隊來說，能夠長期埋首理想、踏實耕耘，實屬不易。為了提供更優質的服務，CBETA 基金會擬增聘專業人力，擴大組織規模，懇請大家慷慨解囊、熱情贊助，讓未來有更多更好的電子佛典。

贊助捐款

「水滴雖微，漸盈大器，凡福充滿，從纖纖積。」
—— CBETA 2024.R2, T04, no. 210, p. 565a5-6